

# 青葉区民意識調査 報告書

平成 17 年 2 月  
横浜市青葉区役所

# 目 次

調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査項目	3
3 調査設計	3
4 回収結果	3
5 地域区分	4
6 標本誤差	4
7 報告書の見方	5
質問と回答	9
調査の結果	29
1 回答者の属性	29
(1) 性別	29
(2) 年齢	29
(3) 居住年数	30
(4) 前住地	30
(5) 住居形態	30
(6) 家族構成	31
(7) 居住地	31
(8) 職業	33
2 通勤・通学について	34
(1) 通勤・通学先	34
(2) 最寄り駅	36
(3) 自宅から最寄り駅まで行く方法	39
(4) 最寄り駅までの所要時間	42
3 買い物について	46
(1) 買い物に行く場所・主な交通手段	46
(2) 店舗以外の買い物手段	53
4 日常生活について	57
(1) 生活環境評価	57
(2) 日常生活で不足・不便と思う事	62
5 地域活動・地域社会について	66
(1) 地域活動参加状況	66
(1-1) 参加していない理由	70
(2) 職業以外の社会的活動参加状況	72
(3) 自治会・町内会への加入の有無	73
(3-1) 加入していない理由	76
(4) 自治会や町内会の加入に対する考え	77

( 5 ) 近所づきあいの程度 -----	79
( 6 ) 施設の利用状況 -----	81
6 情報・インターネットについて -----	85
( 1 ) 最もよく利用している情報源 -----	85
( 2 ) インターネットの利用状況 -----	87
( 2 - 1 ) 利用場所・利用機器 -----	89
( 2 - 2 ) 利用目的 -----	92
( 2 - 3 ) 利用していない理由 -----	94
7 区役所との関わりについて -----	96
( 1 ) 横浜市や青葉区の広聴の利用経験 -----	96
( 2 ) 青葉区役所への訪問頻度 -----	97
( 2 - 1 ) 訪問した目的 -----	99
8 防災・防犯について -----	101
( 1 ) 災害への備え -----	101
( 2 ) 街頭で犯罪に遭わないために気をつけている事 -----	103
( 3 ) 空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事 -	105
( 4 ) 犯罪を防止するための有効な取り組み -----	108
9 ごみ減量について -----	111
( 1 ) ごみを減らすために気をつけている事 -----	111
( 2 ) ごみを減らすためにすべき事 -----	114
( 3 ) 家庭ごみの分別収集品目が増える事に対する考え ---	116
10 自由意見 -----	118
調査票 -----	127

# 調査の概要

# 調査の概要

## 1 調査目的

この調査は、区民の日常生活について意識と行動の両面から捉え、区民の生活意識や生活構造を明らかにすることを目的に実施した。

## 2 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性、年齢、居住年数、前住地、住居形態、家族構成、居住地、職業
通勤・通学について	通勤・通学先、最寄り駅、自宅から最寄り駅まで行く方法、最寄り駅までの所要時間
買い物について	買い物に行く場所・主な交通手段、店舗以外の買い物手段
日常生活について	生活環境評価、日常生活で不足もしくは不便と思う事
地域活動・地域社会について	地域活動参加状況、参加していない理由、職業以外の社会的活動参加状況、自治会・町内会への加入の有無、加入していない理由、自治会や町内会の加入に対する考え、近所づきあいの程度、施設の利用状況
情報・インターネットについて	最もよく利用している情報源、インターネットの利用状況、利用場所・利用機器、利用目的、利用していない理由
区役所との関わりについて	横浜市や青葉区の広聴の利用経験、青葉区役所への訪問頻度、訪問した目的
防災・防犯について	災害への備え、街頭で犯罪に遭わないために気をつけている事、空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事、犯罪を防止するための有効な取り組み
ごみ減量について	ごみを減らすために気をつけている事、ごみを減らすためにすべき事、家庭ごみの分別収集品目が増える事に対する考え

## 3 調査設計

- (1) 調査対象 区内在住の満20歳以上の青葉区民3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 調査期間 平成16年9月16日～9月30日

## 4 回収結果

調査対象者数	有効回収数	有効回収率
3,000	1,727	57.6%

## 5 地域区分



## 6 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、比率算出の基数（ $n$ ）、回答の比率（ $P$ ）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

$N$  = 母集団（青葉区の20歳以上人口）  
 $n$  = 比率算出の基数（回答者数）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率 ( P ) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,727	± 1.44	± 1.93	± 2.21	± 2.36	± 2.41
1,500	± 1.55	± 2.07	± 2.37	± 2.53	± 2.58
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

上表は  $\frac{N - n}{N - 1} = 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

#### 注 / この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが上記の表である。見方としては、例えば、問12「最寄り駅までの所要時間」の回答者数が1,727で、「10分程度」との答えが38.2%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.36%以内(35.84～40.56%)であるとみることができる。

## 7 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、(n)として表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」や「無回答」は掲載していない。
- (6) nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。

# 質問と回答

# 質問と回答

総数 = 1 7 2 7 票  
回答肢の前の数値は %  
%の基数はその質問の該当者

## 【あなたご自身について】

---

問1 あなたの性別は。( は1つだけ)

(n=1,727)

42.0% 男性

56.9 女性

1.1 無回答

---

問2 あなたの年齢は。( は1つだけ)

(n=1,727)

4.3% 20～24歳

9.6% 50～54歳

7.1 25～29歳

10.2 55～59歳

11.3 30～34歳

9.5 60～64歳

11.2 35～39歳

5.9 65～69歳

10.0 40～44歳

4.9 70～74歳

9.4 45～49歳

6.1 75歳以上

0.6 無回答

---

問3 あなたは、青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)に、いつからお住まいになっていますか。  
( は1つだけ)

(n=1,727)

1.2% 昭和19年(1944年)以前

10.7% 平成2年～6年(1990～1994年)

1.2 昭和20年～29年(1945～1954年)

17.1 平成7年～11年(1995～1999年)

1.2 昭和30年～39年(1955～1964年)

13.9 平成12年～14年(2000～2002年)

11.8 昭和40年～49年(1965～1974年)

10.3 平成15年以降(2003年～)

20.5 昭和50年～59年(1975～1984年)

0.2 わからない

11.3 昭和60年～平成元年(1985～1989年)

0.8 無回答

問4 あなたが青葉区に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。

( は1つだけ)

(n=1,727)

5.3% 生まれてからずっと青葉区内	7.8% 宮前区、麻生区を除く川崎市内
7.1 緑区、都筑区	7.2 横浜市、川崎市を除く神奈川県内
10.8 緑区、都筑区を除く横浜市内	25.5 東京23区内
7.8 宮前区、麻生区、町田市	28.0 その他
	0.5 無回答

---

問5 あなたのお住まいはこの中のどれにあたりますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

47.1% 持家一戸建て
23.9 持家共同住宅[分譲マンション等]
2.5 賃貸一戸建て
18.4 賃貸の民間共同住宅[賃貸マンション、アパート等]
2.9 賃貸の公的共同住宅[公営・公団・公社等]
4.5 社宅、寮、公務員住宅等
0.5 その他
0.3 無回答

---

問6 あなたの世帯の家族形態は、現在、この中のどれにあたりますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

7.0% ひとり暮らし
21.3 夫婦だけ
62.5 親と子 [二世帯]
7.6 親と子と孫 [三世帯]
1.6 その他
0.1 無回答

問7 あなたの住んでいる町は次のうちどちらですか。以下の選択肢は五十音順になっています。

( は1つだけ)

(n=1,727)

【あ】

1.7% 青葉台一丁目	2.2% 美しが丘一丁目	0.5% 荇田北一丁目
0.8 青葉台二丁目	1.9 美しが丘二丁目	0.5 荇田北二丁目
0.5 あかね台一丁目	1.3 美しが丘三丁目	0.5 荇田北三丁目
0.6 あかね台二丁目	2.2 美しが丘四丁目	1.0 荇田西一丁目
1.2 あざみ野一丁目	2.0 美しが丘五丁目	1.0 荇田西二丁目
1.3 あざみ野二丁目	0.3 美しが丘西一丁目	0.8 荇田西三丁目
2.5 あざみ野三丁目	1.2 美しが丘西二丁目	0.5 荇田西四丁目
1.6 あざみ野四丁目	1.5 美しが丘西三丁目	0.6 荇田西五丁目
0.5 あざみ野南一丁目	1.6 梅が丘	2.0 榎が丘
0.4 あざみ野南二丁目	0.2 荇子田一丁目	2.8 大場町
0.5 あざみ野南三丁目	1.0 荇子田二丁目	1.4 恩田町
0.3 あざみ野南四丁目	0.5 荇子田三丁目	
7.6 市ヶ尾町	2.9 荇田町	

【か】

1.8 柿の木台	0.1 上谷本町	0.8 黒須田
0.7 桂台一丁目	3.3 鴨志田町	
1.0 桂台二丁目	0.6 鉄町	

【さ】

2.6 桜台	1.3 新石川一丁目	1.0 すずき野二丁目
1.0 さつきが丘	0.9 新石川二丁目	1.1 すずき野三丁目
0.1 寺家町	0.9 新石川三丁目	1.7 すみよし台
- 下谷本町	1.1 新石川四丁目	
2.1 しらとり台	0.7 すずき野一丁目	

【た】

0.6 たちばな台一丁目	1.4 田奈町	2.3 つつじが丘
1.1 たちばな台二丁目	1.7 千草台	

【な】

5.0 奈良町	0.8 奈良三丁目	- 成合町
0.2 奈良一丁目	1.0 奈良四丁目	
0.4 奈良二丁目	0.5 奈良五丁目	

【は】

1.5 藤が丘一丁目	2.5 藤が丘二丁目	
------------	------------	--

## 【ま】

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 2.3 松風台   | - 緑山     | 0.7 もみの木台 |
| 0.3 みすずが丘 | 1.3 もえぎ野 |           |
| 1.6 みたけ台  | 0.9 元石川町 |           |

## 【わ】

- |         |         |
|---------|---------|
| 1.0 若草台 | 0.1 無回答 |
|---------|---------|

問8 あなたの職業はどれにあたりますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

- 6.6% 自営業
  - 2.0 自営業の家族従事者
  - 36.1 勤め(全日)
  - 10.6 勤め(パートタイム)
  - 0.7 内職
  - 3.1 学生
  - 21.0 家事
  - 18.1 無職
  - 0.7 その他
  - 1.1 無回答
- (問11へ)

## 【通勤・通学について】

(問9～問10は、問8で「1」～「6」のいずれかを回答した方のみお答えください。)

問9 あなたの通勤、通学先はどちらですか。( は1つだけ)

(n=1,021)

- 6.1% 自宅
- 15.8 青葉区内
- 6.8 緑区、都筑区
- 7.8 青葉区、緑区、都筑区を除く横浜市内
- 5.0 宮前区、麻生区、町田市
- 3.6 宮前区、麻生区を除く川崎市内
- 3.9 横浜市、川崎市を除く神奈川県内
- 44.5 東京23区内
- 4.2 その他
- 2.4 無回答

問 10 通勤・通学のため、自宅からどちらの駅を普段利用していますか。( は1つだけ)

(n=1,021)

12.2% たまプラーザ駅	2.3% 田奈駅	-% センター北駅
14.5 あざみ野駅	1.4 長津田駅	- センター南駅
3.1 江田駅	0.6 恩田駅	2.3 玉川学園駅
7.8 市が尾駅	2.1 こどもの国駅	- 柿生駅
7.1 藤が丘駅	1.2 十日市場駅	1.9 その他
17.2 青葉台駅	- 中山駅	20.6 普段、駅は利用しない
		5.8 無回答

問 11 あなたの自宅から最寄り駅まで(問 10 で回答した方はその駅まで)は主に何を利用して行きますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

56.2% 徒歩	1.3% バイク	8.6% 自家用車
3.6 自転車	22.9 バス	0.3 その他
		7.1 無回答

問 12 あなたの自宅から最寄り駅まで、上記の交通手段で通常(出社・登校するとき)何分かかりますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

5.0% 3分以内	22.8% 15分程度
17.1 5分程度	6.8 20分程度
38.2 10分程度	1.7 25分以上
	8.3 無回答

【生活環境評価】

問 13 ふだんの買い物や、たまに行く買い物の買い物先は、主にどちらですか。また、その際の主な交通手段は何ですか。( はそれぞれ1つずつ)

(n=1,727)

(1) 買い物に行く場所

	青葉台、たまプラーザ、あざみ野	その他の青葉区内	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	新横浜駅周辺	横浜・桜木町・元町	1～5以外の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	京都内	渋谷、青山、銀座、新宿などの東	その他	無回答
(ア)ふだんの買い物	61.1%	26.1	4.1	-	0.4	0.7	2.3	0.6	1.7	1.2	1.7	
(イ)たまに行く買い物	16.1%	4.7	18.9	0.8	9.0	0.7	10.3	13.4	21.7	0.8	3.6	

(2) 主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他	無回答
(ア)ふだんの買い物	39.4%	5.4	1.7	7.3	39.7	5.0	0.6	0.9
(イ)たまに行く買い物	2.0%	1.0	0.7	5.2	43.8	43.7	0.2	3.4

問 14 この1年間で以下のような方法での買い物をしたことがありますか。( はいいくつでも)

(n=1,727)

- 49.1% 通販カタログ
- 10.1 テレビショッピング
- 32.7 インターネット
- 11.8 共同購入
- 18.0 お店の配達
- 27.9 いずれも利用していない
- 0.8 無回答

【日常生活について】

問 15 あなたは、次の（ア）～（ケ）の生活環境についてどの程度満足していますか。  
（ はそれぞれ1つずつ）

(n=1,727)

	満足	やや満足	いどちらないとも	やや不満	不満	無回答
（ア）自然環境 -----	29.0%	42.7%	14.5%	7.9%	3.0%	2.9%
（イ）歴史・文化 -----	7.4	17.8	59.3	7.4	3.1	5.0
（ウ）良好な街並み -----	25.8	42.0	17.1	8.2	2.8	4.0
（エ）日常の買い物の便利さ -----	29.9	36.0	13.0	13.4	5.5	2.2
（オ）医療サービスの状況 -----	12.7	30.3	36.9	13.0	4.1	3.0
（カ）福祉サービスの状況 -----	4.3	12.7	62.5	10.2	5.7	4.6
（キ）教育や文化水準の高さ -----	10.0	28.7	47.4	6.3	3.4	4.3
（ク）近所とのつきあい -----	12.1	27.9	46.7	6.9	3.7	2.7
（ケ）通勤・通学の便利さ -----	18.2	30.4	20.3	15.6	7.4	8.1

問 16 あなたが日々の生活の中で、不足もしくは不便と思われる事は何ですか。（ は3つまで）

(n=1,727)

8.0% 公園・緑地	12.4% 病院・診療所
12.2 ごみのリサイクル・減量化	26.6 図書館
15.2 道路の幅員	15.3 スポーツ施設
16.7 駅の駐輪場	4.9 公民館・地区センターなど
24.1 駅の駐車場	5.2 女性の働く場所
15.4 日常の交通手段（バス・鉄道）	9.3 高齢者のための施設
6.2 保育園・幼稚園	2.0 障害者のための施設
4.3 小学校、中学校	16.0 交番・警察
8.3 子どもの遊び場や子育て支援のための施設	7.7 その他
13.1 日用品の店	8.0 特にない
	1.7 無回答

【地域活動・地域社会について】

---

問 17 あなたは、今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげるような地域の活動に参加した事がありますか。（はいいくつでも）

（n=1,727）

- 26.8% 自治会・町内会活動
  - 27.8 まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション
  - 22.4 道路や公園・マンションの庭などの清掃活動
  - 7.6 子供会・婦人会・老人クラブへの参加
  - 4.2 福祉・保健のボランティア活動
  - 1.9 自然環境や公園・河川の保全に関する活動
  - 1.3 街づくりに関する活動
  - 6.8 地域の防災や防犯に関する活動
  - 7.4 音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動
  - 8.6 共同購入・生協活動などの消費者活動
  - 4.1 子育てサークル
  - 8.8 P T A活動
  - 6.1 古着の回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動
  - 10.6 隣近所の人たちとのホームパーティー等の交流
  - 0.7 その他
  - 40.9 特になし 特になし →（問 17 - 1 へ）
  - 0.7 無回答
- 

（問17で「16 特になし」とお答えの方に）

問 17 - 1 参加していない理由は何ですか。（は2つまで）

（n=706）

- 21.5% 興味がない
- 45.6 仕事などが忙しく参加する暇がない
- 33.3 近所づきあいがいい
- 5.4 近所と関わりを持つことが煩わしい
- 7.5 住んでいる地域以外で活動をしている
- 15.7 その他
- 0.8 無回答

問 18 あなたは、この 1～2 年の間に職業以外の社会的活動( ボランティアや N P O〔民間非営利団体〕  
など、自分の持つ力を社会に役立てようと市民自らが行う活動) を行ったことがありますか。  
( はいいくつでも)

(n=1,727)

- 4.8% 社会福祉に関する活動( 高齢者や障害者等の介護、身の回りの世話、給食、保育など)
- 0.9 保健・医療に関する活動( 病院ボランティア、検診の手伝いなど)
- 2.5 学習活動に関する指導等の活動( 料理、書道、語学の指導など)
- 2.1 国際交流・協力に関する活動( 通訳、技術援助、留学生援助など)
- 0.9 児童・青少年育成に関する活動( ボーイスカウト、ガールスカウトの指導など)
- 3.4 スポーツ・レクリエーションに関する活動( スポーツレクリエーション指導、学校クラブ活動指導など)
- 3.4 防災・災害救助に関する活動( 自主防災活動、災害ボランティアなど)
- 4.5 防犯・安全に関する活動( 児童生徒の通学途上における防犯、高齢者交通安全活動など)
- 1.3 まちづくりに関する活動( 建築協定や地区計画に関する活動など)
- 4.9 自然・環境保護に関する活動( 自然観察、環境美化、リサイクル活動など)
- 0.3 人権擁護に関する活動( 男女共同参画、平和促進など)
- 9.5 その他
- 70.1 無回答

---

問 19 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか。( は 1 つだけ)

(n=1,727)

- 77.4% 加入している
- 13.0% 加入していない →( 問 19 - 1 へ)
- 9.1 わからない
- 0.6 無回答

---

( 問 19 で「 2 加入していない」とお答えの方に)

問 19 - 1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。( は 2 つまで)

(n=224)

- 12.9% 加入することの利益を感じないから
- 9.4 いろいろな役をやらされそうだから
- 7.1 近所づきあいが煩わしい
- 25.4 加入を勧誘されなかったから
- 19.6 その他
- 8.9 自治会・町内会がない
- 24.6 活動をしているかわからない
- 2.7 無回答

問 20 あなたは、自治会や町内会の加入について、どう思われますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

- 17.2% 住民全員が加入すべき
  - 35.4 できるかぎり住民全員が加入すべき
  - 32.0 自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき
  - 6.5 任意なのだから加入してもしなくてもよい
  - 6.9 わからない
  - 2.0 無回答
- 

問 21 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

- 1.0% 家族のように親しくつきあっている
- 14.1 家に行き来したり、親しく話をする
- 32.7 ときどき話をする程度
- 44.4 あいさつをする程度
- 7.4 ほとんどつきあいがいい
- 0.5 無回答

問 22 あなたは、この1年の間に、下記の施設を利用したことがありますか。( はいいくつでも)

(n=1,727)

14.9% 山内地区センター	1.7% 青葉区生涯学習支援センター (区役所別館内)
6.7 藤が丘地区センター	
6.2 若草台地区センター	1.1 市民活動支援センター市が尾プラザ (区役所別館内)
6.5 美しが丘西地区センター	
4.8 奈良地区センター	3.5 青葉区民文化センター(フィリアホール)
5.2 大場みすずが丘センター	0.9 くろがね青少年野外活動センター
0.7 鴨志田コミュニティハウス	5.6 美しが丘子どもログハウス
0.9 さつきが丘コミュニティハウス	24.7 山内図書館
0.9 山内コミュニティハウス	3.5 緑図書館(緑区)
1.0 桂台コミュニティハウス	1.1 ユートピア青葉(老人福祉センター)
1.0 すずき野コミュニティハウス	0.3 荏田地域ケアプラザ
3.8 青葉台コミュニティハウス	1.2 もえぎ野地域ケアプラザ
13.6 青葉公会堂	1.0 奈良地域ケアプラザ
6.8 青葉スポーツセンター	1.1 さつきが丘地域ケアプラザ
0.5 新石川スポーツ会館	1.3 美しが丘地域ケアプラザ
10.9 寺家ふるさと村四季の家	1.0 大場地域ケアプラザ
1.7 青葉国際交流ラウンジ (区役所別館内)	0.5 鴨志田地域ケアプラザ
	0.1 長津田地域ケアプラザ(緑区)
	40.0 無回答

#### 【情報・インターネットについて】

---

問 23 あなたが、普段、最もよく利用している情報源は何ですか。( は1つ)

(n=1,727)

54.7% テレビ	2.2% ラジオ
24.3 新聞	13.3 インターネット
1.6 本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	1.2 友人・知人など
1.6 ミニコミ紙・タウン情報紙・広報誌など	0.2 その他
	1.0 無回答

---

問 24 あなたは、現在、電子メールのやりとりやホームページの閲覧などインターネット(携帯電話・PHSによるEメールを含む)を利用していますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

71.2% 利用している	—————>(問24-1へ、問24-2)
27.9 利用していない	—————>(問24-2へ)
0.9 無回答	

(問24で「1 利用している」とお答えの方に)

問 24 - 1 あなたは、インターネットをどちらで利用していますか。また、その際どのような機器を利用していますか。

(n=1,230)

【利用場所】(はいくつでも)

90.2% 自宅  
43.1 職場・学校  
18.9 上記以外の外出先・移動中  
0.5 その他  
1.3 無回答

【利用機器】(はいくつでも)

88.9% パソコン  
56.6 携帯電話・PHS  
0.5 その他  
1.1 無回答

(問24で「1 利用している」とお答えの方に)

問 24 - 2 インターネットをどのような目的で利用していますか。(はいくつでも)

(n=1,230)

83.0% 電子メール	10.2% チャットや掲示板
76.0 ホームページの閲覧	10.6 ホームページを通じたの情報発信
21.2 ソフトのダウンロード	2.8 その他
29.8 インターネット通信販売	3.1 無回答

(問24で「2 利用していない」とお答えの方に)

問 24 - 3 利用していない理由は何ですか。(は2つまで)

(n=482)

33.0% インターネットを利用できる情報機器を持っていない  
6.2 インターネットにかかる料金が高い  
11.8 インターネットを利用するための手続き・作業が面倒  
22.0 操作方法などが難しい  
51.0 インターネットを利用する必要性を感じない  
6.2 その他  
3.1 無回答

【区役所との関わりについて】

---

問 25 あなたは、横浜市や青葉区の広聴を利用した事がありますか。( はいくつでも)

(n=1,727)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1.6% 市長への手紙      | 0.7% 区役所あてに電子メールの送付 |
| 0.6 明日への提案箱(青葉区) | 0.9 その他             |
| 0.6 インターネット市政提案箱 | 91.7 利用した事はない       |
|                  | 4.3 無回答             |
- 

問 26 あなたは、この1年の間に、青葉区役所に何回いらっしゃった事がありますか。( は1つだけ)

(n=1,727)

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 3.5% 月1回以上              | →(問26-1へ) |
| 33.8 数ヶ月に1回程度           |           |
| 33.9 年に1回程度             |           |
| 26.5 この1年の間には区役所に行っていない |           |
| 2.3 無回答                 |           |
- 

(問26で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問 26 - 1 その時の用事は何でしたか。( はいくつでも)

(n=1,230)

- 48.1% 住民票の手続き
- 14.8 戸籍の手続き
- 14.1 予防接種、健診など
- 33.8 税金の手続きや証明書の取得
- 21.1 健康保険や年金の届出・請求手続き
- 14.1 その他の各種制度の申請手続き(子育てや高齢者介護、医療助成など)
- 4.8 戸籍・年金・税金に関する相談
- 5.8 福祉・保健・生活衛生に関する相談
- 0.9 地域活動やまちづくりなどに関する相談
- 3.0 団体の活動
- 7.3 区で行われる行事への参加
- 6.8 その他
- 0.6 無回答

【防災・防犯について】

---

問 27 あなたは、普段、災害への備えを何かしていますか。( はいいくつでも)

(n=1,727)

- 48.9% 消火器を備えている
  - 39.3 非常食・非常用飲料水を備えている
  - 29.4 医薬品を備えている
  - 32.7 避難場所を確認している
  - 23.0 家具の転倒防止等をしている
  - 7.6 地域の防災訓練に参加している
  - 13.2 家族で年に1～2回は災害時の事について話し合っている
  - 1.0 その他
  - 21.7 特に何もしていない
  - 1.0 無回答
- 

問 28 あなたは、ひったくり、強盗などの街頭の犯罪に遭わないため、どのようなことに気をつけていますか。( はいいくつでも)

(n=1,727)

- 56.5% 夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている
- 3.6 自転車に乗るときは、カゴに防犯ネットを使用している
- 27.2 バッグは車道と反対の方に持つようにしている
- 2.8 防犯ブザーなどを所持している
- 14.0 家の人に自動車などで送り迎えをしてもらう
- 4.6 その他
- 28.4 特に何もしていない
- 2.3 無回答

問 29 あなたは、空き巣狙いなどの被害に遭わないため、どのようなことをしていますか。

( はいくつでも )

( n=1,727 )

- 21.5% 玄関のドアの鍵・錠を高度なものに換えた
- 33.2 玄関のドアに鍵・錠を 2 個以上取り付けた
- 3.0 防犯カメラを設置した
- 9.8 留守にするとき近所に声かけをする
- 6.6 番犬を飼った
- 16.3 窓に補助の鍵・錠をつけた
- 8.4 窓に格子をつけた
- 13.0 垣根や生垣を低くして、玄関や窓を周囲から見通せるようにしている
- 8.0 塀の周りには足場になるものを置かない
- 28.1 明かりをつけたままにする
- 6.4 警備会社のサービスを導入した
- 4.7 その他
- 26.7 特に何もしていない
- 2.3 無回答

---

問 30 あなたは、犯罪を未然に防止するためには、区民としてどのような取り組みが有効だと思いますか。( は 2 つまで )

( n=1,727 )

- 52.5% 犯罪発生情報の提供
- 5.3 防犯講習会の実施
- 14.4 学校・幼稚園・保育園での生活安全教育の実施
- 38.1 地域ぐるみの防犯パトロールの強化
- 55.6 防犯灯などの防犯設備の充実
- 3.7 その他
- 3.2 わからない
- 2.2 無回答

【ごみ減量について】

---

問 31 あなたの家庭では、ごみを減らすために普段から何か気をつけていることはありますか。

( はいいくつでも )

( n=1,727 )

- 40.8% 余分なものを買わないようにしている
  - 5.8 自宅で生ごみ処理をしている
  - 21.5 使い捨て商品はなるべく買わないようにしている
  - 36.9 過剰包装は断るようになっている
  - 67.6 詰め替え製品をよく使う
  - 22.6 丈夫なものを選び長く使う、修理して使う
  - 46.2 ごみの分別を徹底し、資源を集団回収や市の回収に出している
  - 28.0 買い物に行く時は買い物袋を持参している
  - 0.7 その他
  - 6.4 特に何もしていない
  - 1.0 無回答
- 

問 32 あなたは、ごみを減らすために、特にどのようなことをするべきだと思いますか。

( は1つだけ )

( n=1,727 )

- 5.6% ごみの回収を有料化すべきである
- 32.8 リサイクルする分別収集品目を拡大すべきである
- 9.4 家庭内で生ごみをたい肥化するようにさらに進めるべきである
- 44.6 企業にごみが出ない、分別しやすい製品づくりを働きかけるべきである
- 2.7 その他
- 5.0 無回答

問 33 青葉区では、平成 17 年 4 月より、家庭ごみの分別収集の品目が次のように増えます。あなたは、このことについてどのようにお考えですか。( は 1 つだけ)

(n=1,727)

【分別種類】

家庭ごみ	スプレー缶	燃えないごみ	使用済み乾電池	プラスチック製容器包装
缶・びん・ペットボトル		小さな金属類	古紙(新聞、雑誌類、段ボール、紙パック)	
古布	粗大ゴミ			

58.4% 区民として当然、協力するつもり

32.3 できる範囲で協力したい

5.6 主旨はわかるが、協力できるか自信がない

1.3 手間ひまかけて、分別する必要はない

0.8 わからない

1.7 無回答

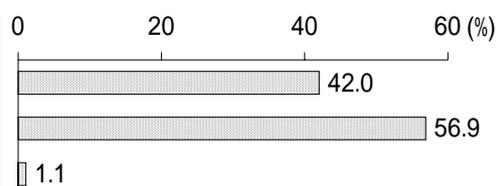
## 調査の結果

# 調査の結果

## 1 回答者の属性

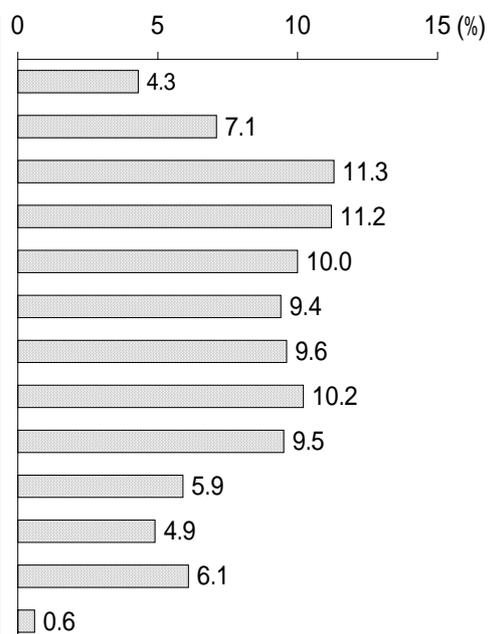
### (1) 問1：性別

	基数	構成比
1 男性	726	42.0%
2 女性	982	56.9
(無回答)	19	1.1
全 体	1727	100.0

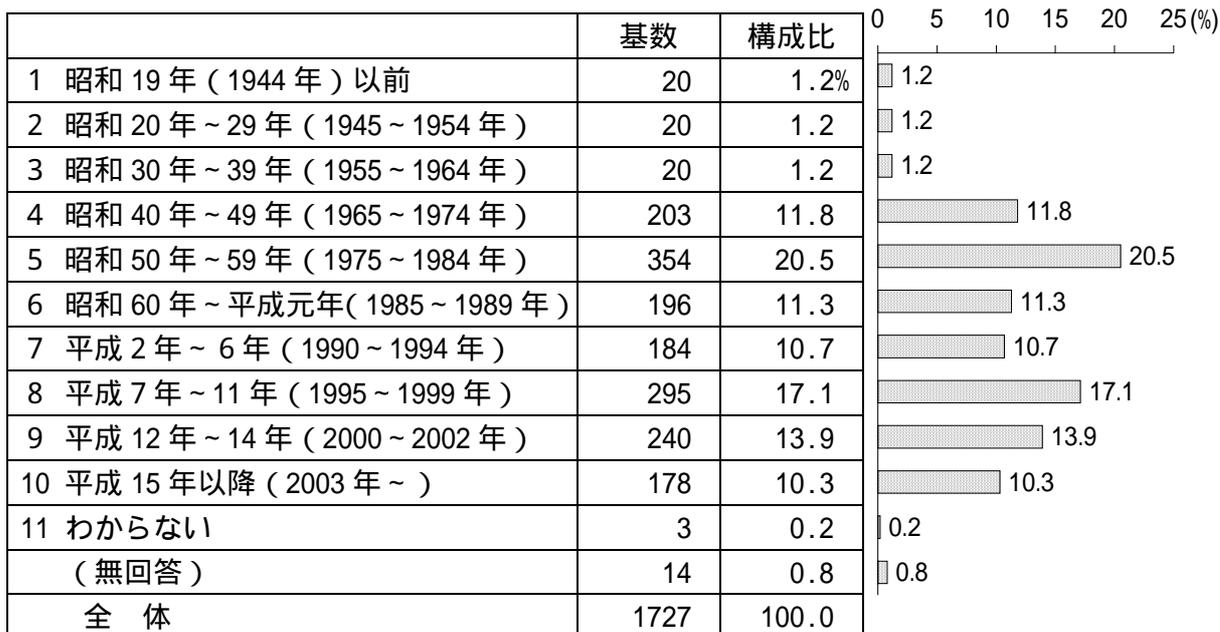


### (2) 問2：年齢

	基数	構成比
1 20～24 歳	75	4.3%
2 25～29 歳	122	7.1
3 30～34 歳	196	11.3
4 35～39 歳	193	11.2
5 40～44 歳	172	10.0
6 45～49 歳	162	9.4
8 50～54 歳	165	9.6
9 55～59 歳	176	10.2
10 60～64 歳	164	9.5
11 65～69 歳	102	5.9
12 70～74 歳	84	4.9
13 75 歳以上	106	6.1
(無回答)	10	0.6
全 体	1727	100.0



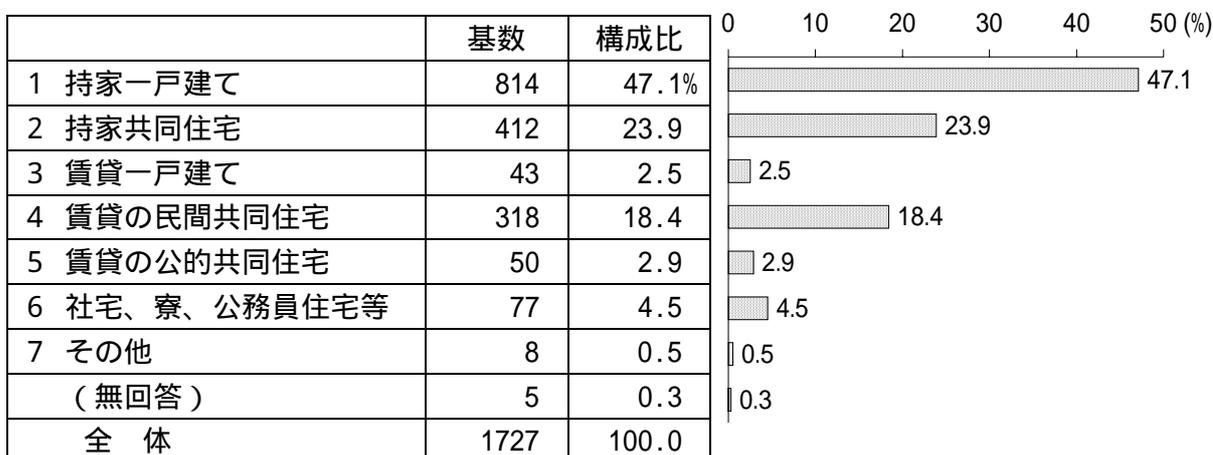
( 3 ) 問 3 : 居住年数



( 4 ) 問 4 : 前住地

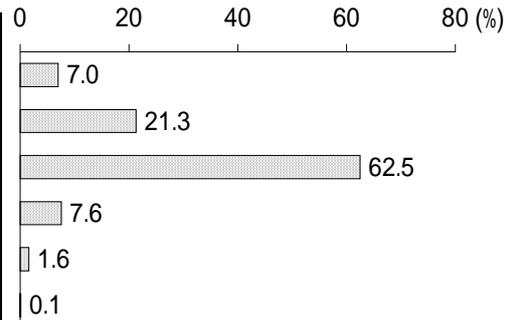


( 5 ) 問 5 : 住居形態



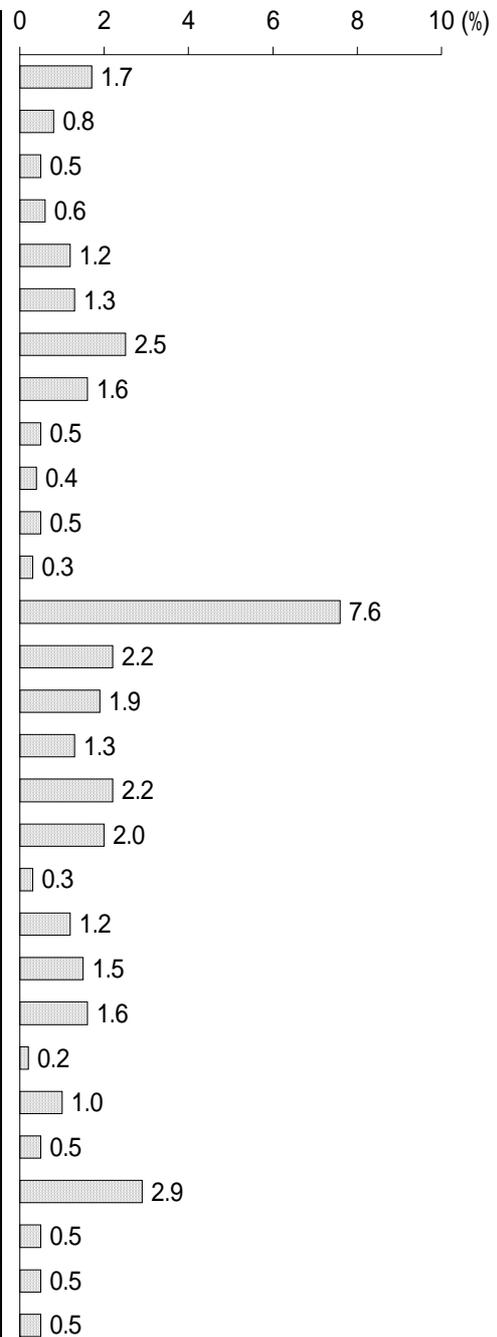
( 6 ) 問 6 : 家族構成

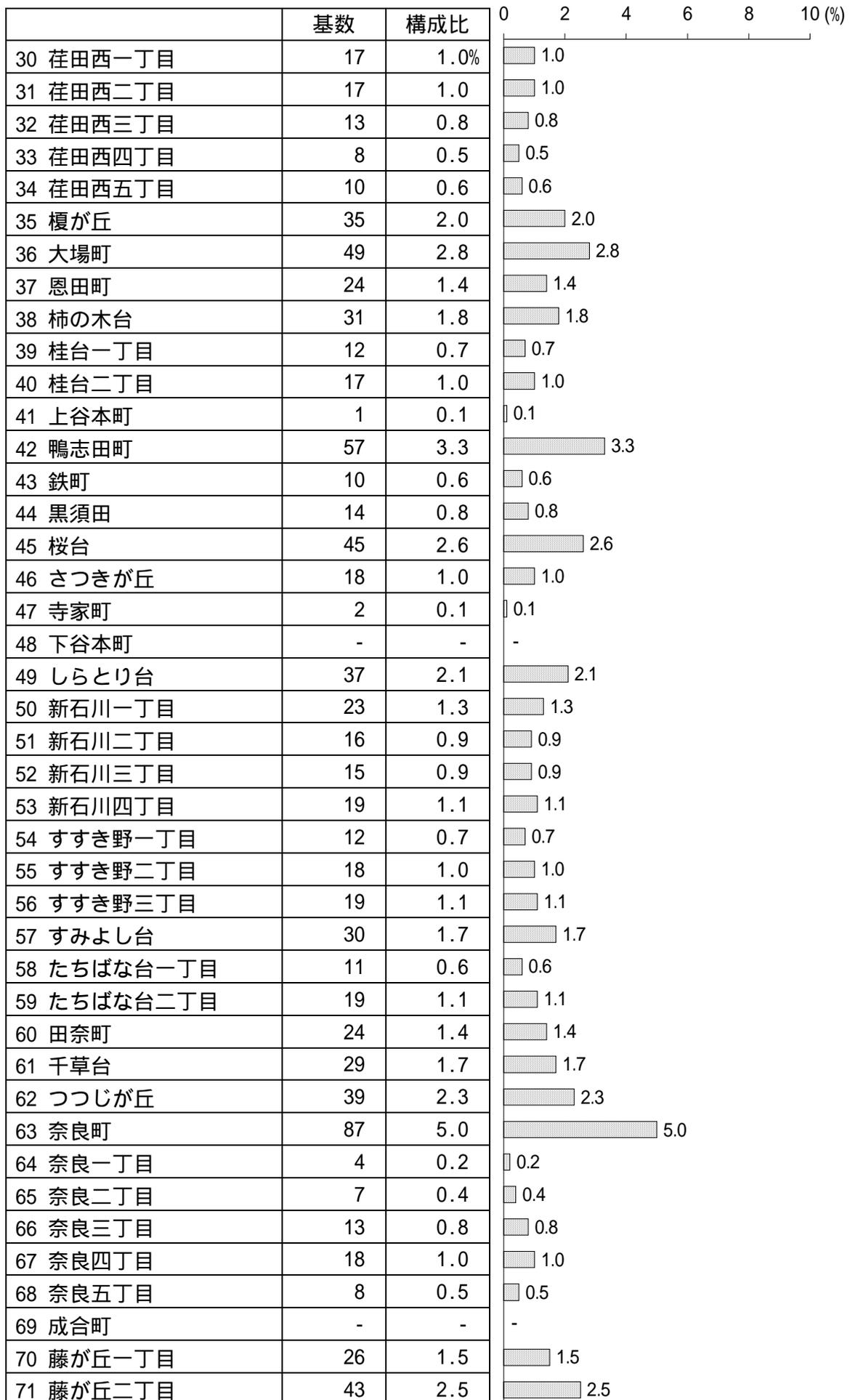
	基数	構成比
1 ひとり暮らし	121	7.0%
2 夫婦だけ	368	21.3
3 親と子[二世帯]	1079	62.5
4 親と子と孫[三世帯]	131	7.6
5 その他	27	1.6
( 無回答 )	1	0.1
全 体	1727	100.0

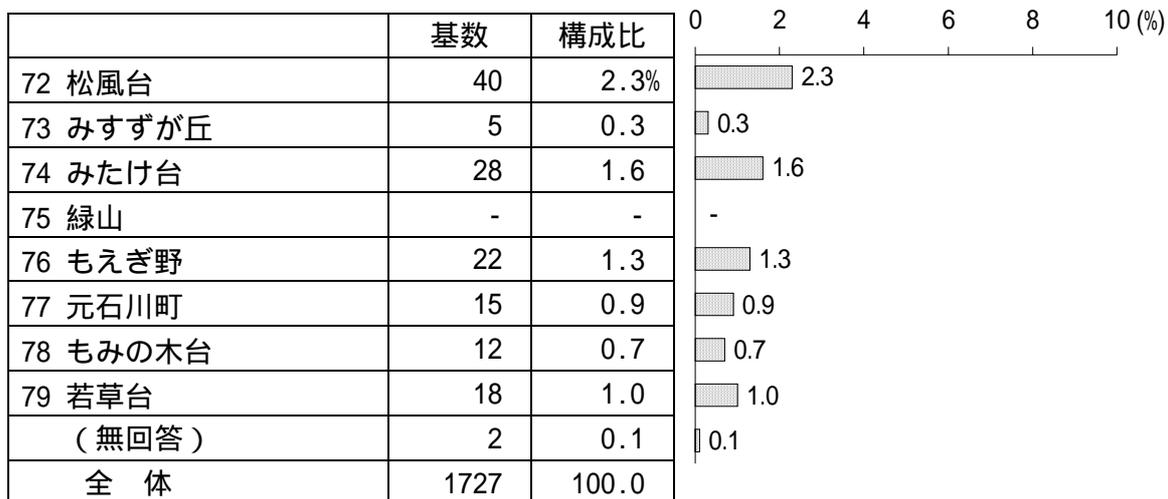


( 7 ) 問 7 : 居住地

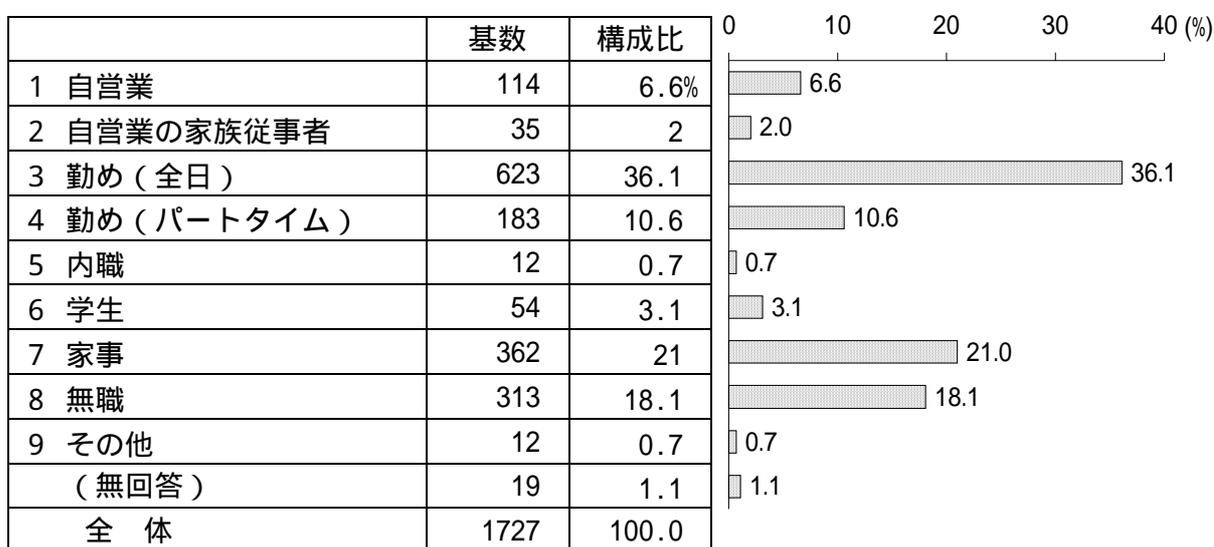
	基数	構成比
1 青葉台一丁目	30	1.7%
2 青葉台二丁目	14	0.8
3 あかね台一丁目	8	0.5
4 あかね台二丁目	10	0.6
5 あざみ野一丁目	20	1.2
6 あざみ野二丁目	22	1.3
7 あざみ野三丁目	44	2.5
8 あざみ野四丁目	27	1.6
9 あざみ野南一丁目	8	0.5
10 あざみ野南二丁目	7	0.4
11 あざみ野南三丁目	8	0.5
12 あざみ野南四丁目	6	0.3
13 市ヶ尾町	132	7.6
14 美しが丘一丁目	38	2.2
15 美しが丘二丁目	33	1.9
16 美しが丘三丁目	22	1.3
17 美しが丘四丁目	38	2.2
18 美しが丘五丁目	35	2.0
19 美しが丘西一丁目	6	0.3
20 美しが丘西二丁目	21	1.2
21 美しが丘西三丁目	26	1.5
22 梅が丘	27	1.6
23 荳子田一丁目	4	0.2
24 荳子田二丁目	18	1.0
25 荳子田三丁目	9	0.5
26 荳田町	50	2.9
27 荳田北一丁目	8	0.5
28 荳田北二丁目	8	0.5
29 荳田北三丁目	9	0.5







( 8 ) 問 8 : 職業



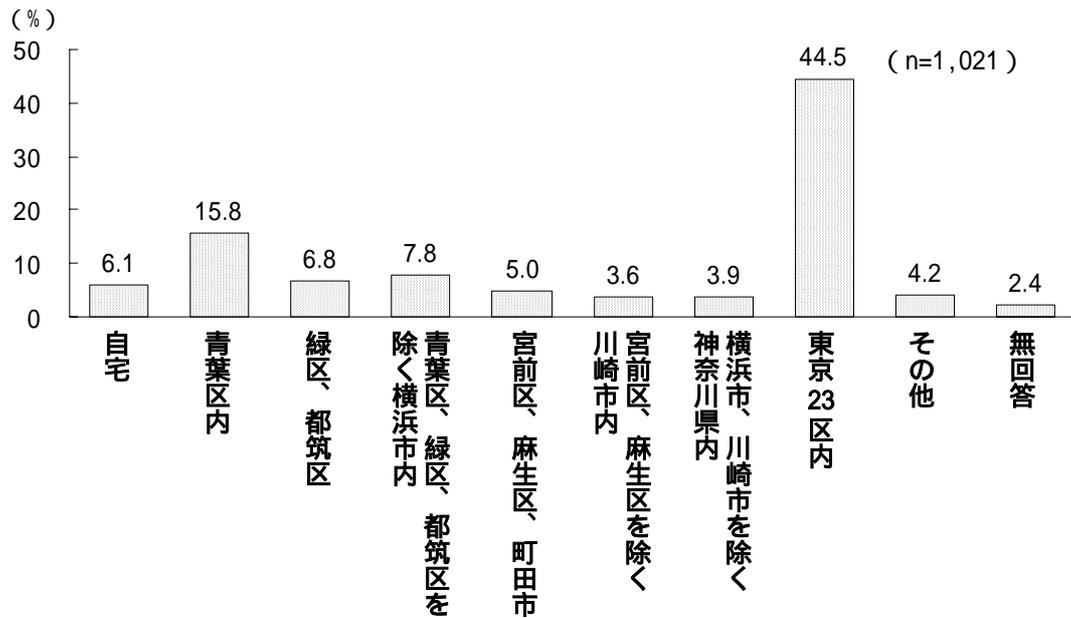
## 2 通勤・通学について

### (1) 通勤・通学先

(問8で「1」～「6」のいずれかをお答えの方に)

問9 あなたの通勤、通学先はどちらですか。( は1つだけ)

<図表2 - 1> 通勤・通学先



問8で「働いている」、または「学生」と回答した人に通勤・通学先について尋ねたところ、「東京23区内」(44.5%)が最も多く、半数近くを占めている。次いで「青葉区内」(15.8%)となっている。(図表2 - 1)

性別でみると、男女ともに「東京 23 区内」が最も高い割合を示している。特に、男性では 55.3% と過半数を占めている。女性では「東京 23 区内」(30.2%) と並んで「青葉区内」(28.6%) が高い。

年齢別では、いずれの年代も「東京 23 区内」が最も高い。20 歳代と 30 歳代では「東京 23 区内」が半数近くを占めている。(図表 2 - 2)

< 図表 2 - 2 > 通勤・通学先 / 性別、年齢別

(%)

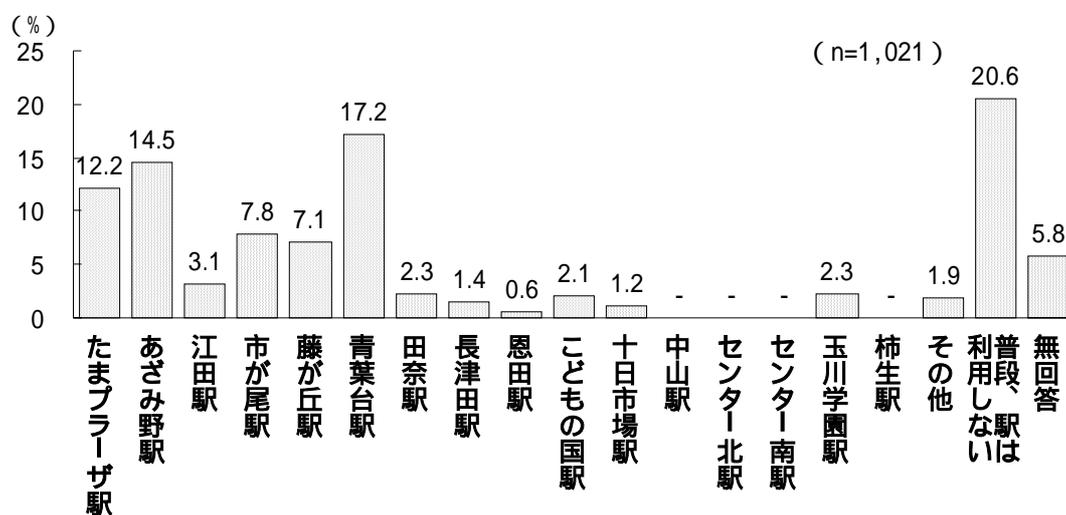
		n	自宅	青葉区内	緑区、都筑区	青葉区、緑区、都筑区を除く横浜市内	宮前区、麻生区、町田市	宮前区、麻生区を除く川崎市内	横浜市、川崎市を除く神奈川県内	東京 23 区内	その他	無回答
全体		1,021	6.1	15.8	6.8	7.8	5.0	3.6	3.9	44.5	4.2	2.4
性別	男性	580	5.0	6.4	4.8	9.1	3.6	4.5	5.0	55.3	5.2	1.0
	女性	434	7.4	28.6	9.4	6.0	6.9	2.3	2.5	30.2	3.0	3.7
年齢別	20 歳代	166	0.6	12.0	9.0	10.8	6.0	1.2	5.4	48.8	5.4	0.6
	30 歳代	241	2.9	14.5	8.3	8.3	3.7	4.1	3.3	49.8	3.7	1.2
	40 歳代	250	4.4	20.8	6.8	6.0	7.2	2.0	4.8	42.4	4.0	1.6
	50 歳代	223	8.1	15.2	5.8	6.7	4.9	7.2	2.7	41.7	5.4	2.2
	60 歳代	111	17.1	12.6	3.6	9.0	2.7	2.7	3.6	41.4	2.7	4.5
	70 歳以上	26	23.1	19.2	-	3.8	-	3.8	3.8	23.1	-	23.1

## ( 2 ) 最寄り駅

( 問 8 で「 1 」～「 6 」のいずれかをお答えの方に )

問 10 通勤・通学のため、自宅からどちらの駅を普段利用していますか。( は 1 つだけ )

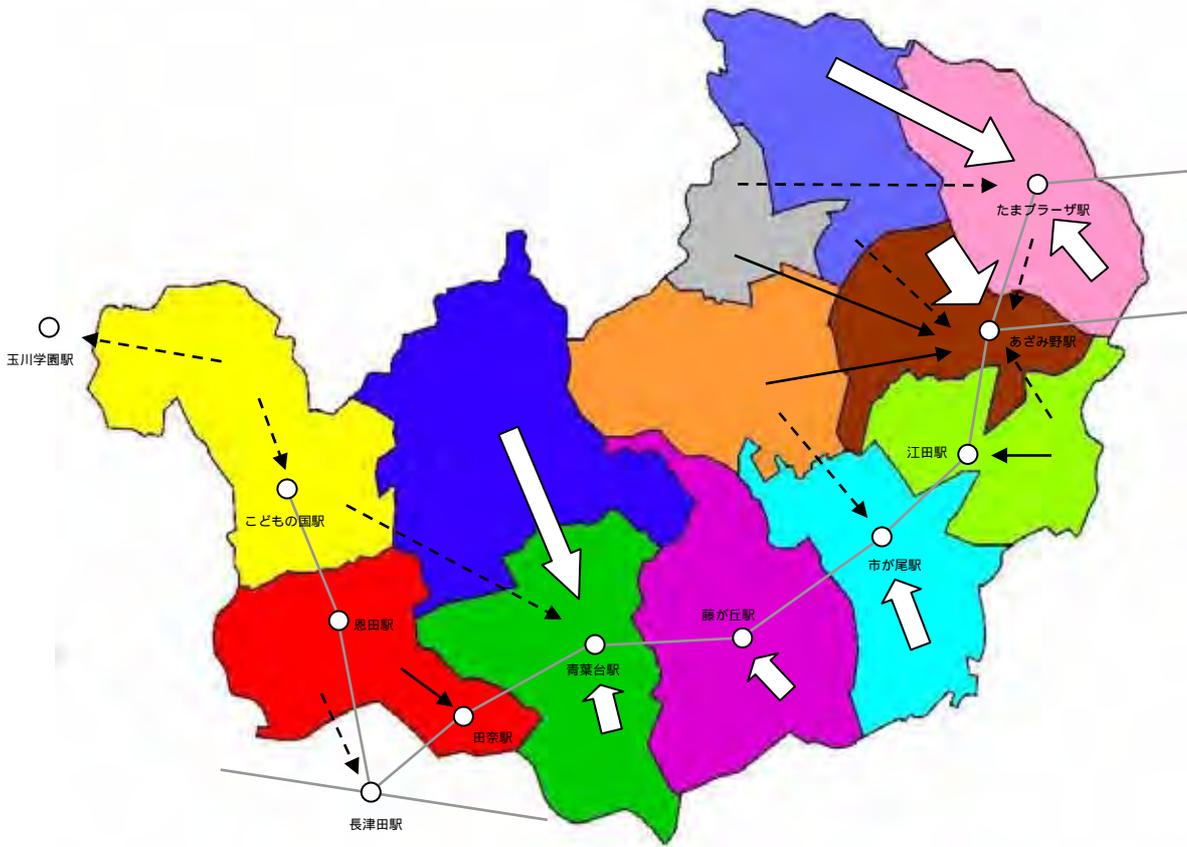
< 図表 2 - 3 > 最寄り駅



問 8 で「働いている」、または「学生」と回答した人に最寄り駅について尋ねたところ、「青葉台駅」(17.2%) が最も多く、次いで「あざみ野駅」(14.5%)、「たまプラーザ駅」(12.2%) となっている。なお、2 割の人は「普段、駅は利用しない」(20.6%) と回答している。( 図表 2 - 3 )

居住地区別の利用動向をみると、「あざみ野駅」は“あざみ野駅地区”の利用者が 70% を超えるのに加え、“鉄・大場地区”や“すすき野・もみの木台地区”など幅広い地区から利用されている。「青葉台駅」は“青葉台駅地区”の利用者が多いのはもちろん、“寺家・鴨志田地区”からの利用も多い。「たまプラーザ駅」は“たまプラーザ駅地区”の利用者が多いのに加え、“保木・美しが丘西地区”の人も多く利用している。( 図表 2 - 4、図表 2 - 5 )

< 図表 2 - 4 > 最寄り駅 / 居住地区別利用動向



利用している率	奈良地区	鉄・大場地区
70% ~	田奈・恩田地区	江田駅地区
50 ~ 70%	寺家・鴨志田地区	あざみ野駅地区
30 ~ 50%	青葉台駅地区	すすき野・もみの木台地区
10 ~ 30%	藤が丘駅地区	たまプラーザ駅地区
	市が尾駅地区	保木・美しが丘西地区

< 図表 2 - 5 > 最寄り駅 / 居住地区別

(%)

		n	たまプラーザ駅	あざみ野駅	江田駅	市が尾駅	藤が丘駅	青葉台駅	田奈駅	長津田駅	恩田駅
全体		1,021	12.2	14.5	3.1	7.8	7.1	17.2	2.3	1.4	0.6
居住地区別	奈良地区	108	-	-	-	-	-	12.0	3.7	3.7	3.7
	田奈・恩田地区	40	-	-	-	-	-	-	40.0	25.0	5.0
	寺家・鴨志田地区	92	-	1.1	-	-	6.5	58.7	-	-	-
	青葉台駅地区	151	-	-	0.7	-	0.7	64.9	1.3	-	-
	藤が丘駅地区	103	1.0	-	-	1.0	64.1	9.7	-	-	-
	市が尾駅地区	119	-	1.7	3.4	62.2	-	-	0.8	-	-
	鉄・大場地区	40	-	47.5	2.5	12.5	-	-	-	-	-
	江田駅地区	61	4.9	26.2	39.3	-	-	-	-	-	-
	あざみ野駅地区	84	3.6	73.8	1.2	-	-	-	-	-	-
	すすき野・もみの木台地区	47	14.9	40.4	-	-	-	-	-	-	-
	たまプラーザ駅地区	125	66.4	17.6	-	-	-	-	-	-	-
	保木・美しが丘西地区	51	54.9	13.7	2.0	-	-	2.0	-	-	-

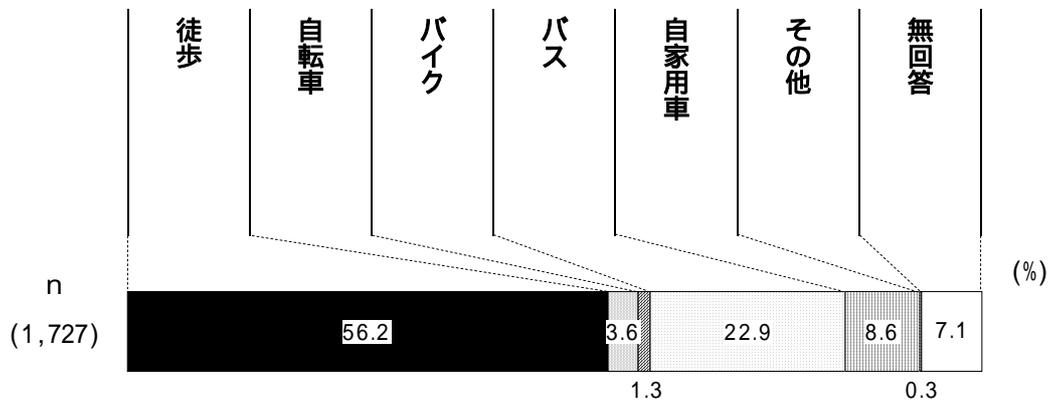
(%)

		こともの国駅	十日市場駅	中山駅	センター北駅	センター南駅	玉川学園駅	柿生駅	その他	ない、普段、駅は利用し	無回答
全体		2.1	1.2	-	-	-	2.3	-	1.9	20.6	5.8
居住地区別	奈良地区	18.5	0.9	-	-	-	21.3	-	6.5	25.0	4.6
	田奈・恩田地区	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	5.0
	寺家・鴨志田地区	1.1	-	-	-	-	-	-	-	27.2	5.4
	青葉台駅地区	-	6.0	-	-	-	-	-	0.7	18.5	7.3
	藤が丘駅地区	-	1.9	-	-	-	-	-	1.0	15.5	5.8
	市が尾駅地区	-	-	-	-	-	-	-	0.8	26.9	4.2
	鉄・大場地区	-	-	-	-	-	-	-	2.5	27.5	7.5
	江田駅地区	-	-	-	-	-	-	-	3.3	18.0	8.2
	あざみ野駅地区	-	-	-	-	-	-	-	2.4	14.3	4.8
	すすき野・もみの木台地区	-	-	-	-	-	-	-	4.3	36.2	4.3
	たまプラーザ駅地区	-	-	-	-	-	-	-	0.8	8.8	6.4
	保木・美しが丘西地区	-	-	-	-	-	-	-	2.0	19.6	5.9

### ( 3 ) 自宅から最寄り駅まで行く方法

問 11 あなたの自宅から最寄り駅まで（問 10 で回答した方はその駅まで）は主に何を利用して行きますか。（ は 1 つだけ）

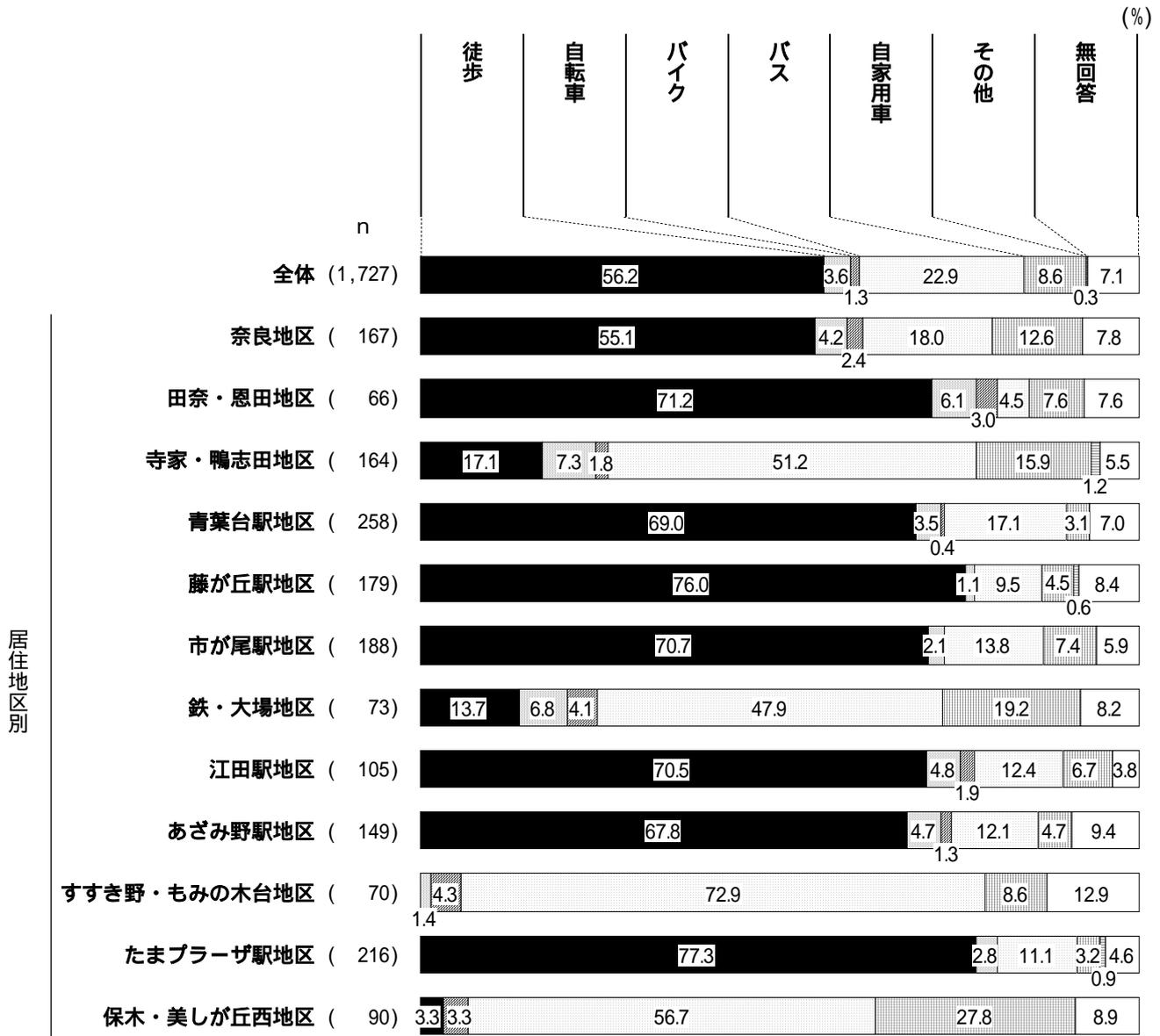
< 図表 2 - 6 > 自宅から最寄り駅まで行く方法



自宅から最寄り駅まで行く方法は、「徒歩」が 56.2%と過半数を占めている。次いで「バス」が 22.9%、「自家用車」が 8.6%となっている。（図表 2 - 6）

居住地区別でみると、「バス」の利用率は“すずき野・もみの木台地区”“保木・美しが丘西地区”“寺家・鴨志田地区”“鉄・大場地区”の4地区で高く、それ以外の地区では「徒歩」の割合が高くなっている。このことから、最寄り駅までは「徒歩」か「バス」のどちらかを選択するケースが多いことがわかる。(図表2-7)

<図表2-7> 自宅から最寄り駅まで行く方法/居住地区別



問 10 でたずねた最寄り駅別で違いをみることにする。

「徒歩」の割合は“ 藤が丘駅 ”と“ 市が尾駅 ”で特に高く、いずれも 8 割を超えている。「バス」の利用率は、“ たまプラーザ駅 ”“ 青葉台駅 ”“ あざみ野駅 ”で他の駅に比べ高くなっている。( 図表 2 - 8 )

< 図表 2 - 8 > 自宅から最寄り駅まで行く方法 / 問 10 「最寄り駅」別

( % )

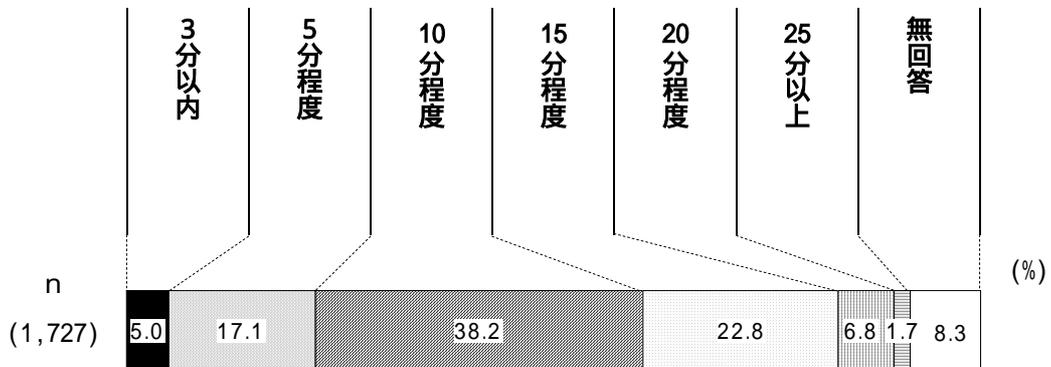
		n	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	その他	無回答
全体		1,021	57.2	4.5	2.2	20.7	8.4	0.2	6.9
問 10 最 寄 り 駅 別	たまプラーザ駅	125	57.6	-	2.4	31.2	7.2	0.8	0.8
	あざみ野駅	148	54.7	6.8	2.7	28.4	7.4	-	-
	江田駅	32	87.5	-	3.1	-	9.4	-	-
	市が尾駅	80	81.3	3.8	-	15.0	-	-	-
	藤が丘駅	73	89.0	2.7	-	6.8	1.4	-	-
	青葉台駅	176	52.8	8.0	2.3	29.0	7.4	0.6	-
	田奈駅	23	69.6	8.7	-	4.3	17.4	-	-
	長津田駅	14	28.6	28.6	14.3	7.1	21.4	-	-
	恩田駅	6	83.3	16.7	-	-	-	-	-
	こどもの国駅	21	95.2	-	-	4.8	-	-	-
	十日市場駅	12	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	中山駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	センター北駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	センター南駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	玉川学園駅	23	91.3	-	4.3	-	4.3	-	-
	柿生駅	-	-	-	-	-	-	-	-

注 1 / “ 江田駅 ” “ 田奈駅 ” “ 長津田駅 ” “ 恩田駅 ” “ こどもの国駅 ” “ 十日市場駅 ” “ 玉川学園駅 ”については、基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

#### (4) 最寄り駅までの所要時間

問12 あなたの自宅から最寄り駅まで、上記の交通手段で通常( 出社・登校するとき )何分かかりますか。( 〃 は1つだけ )

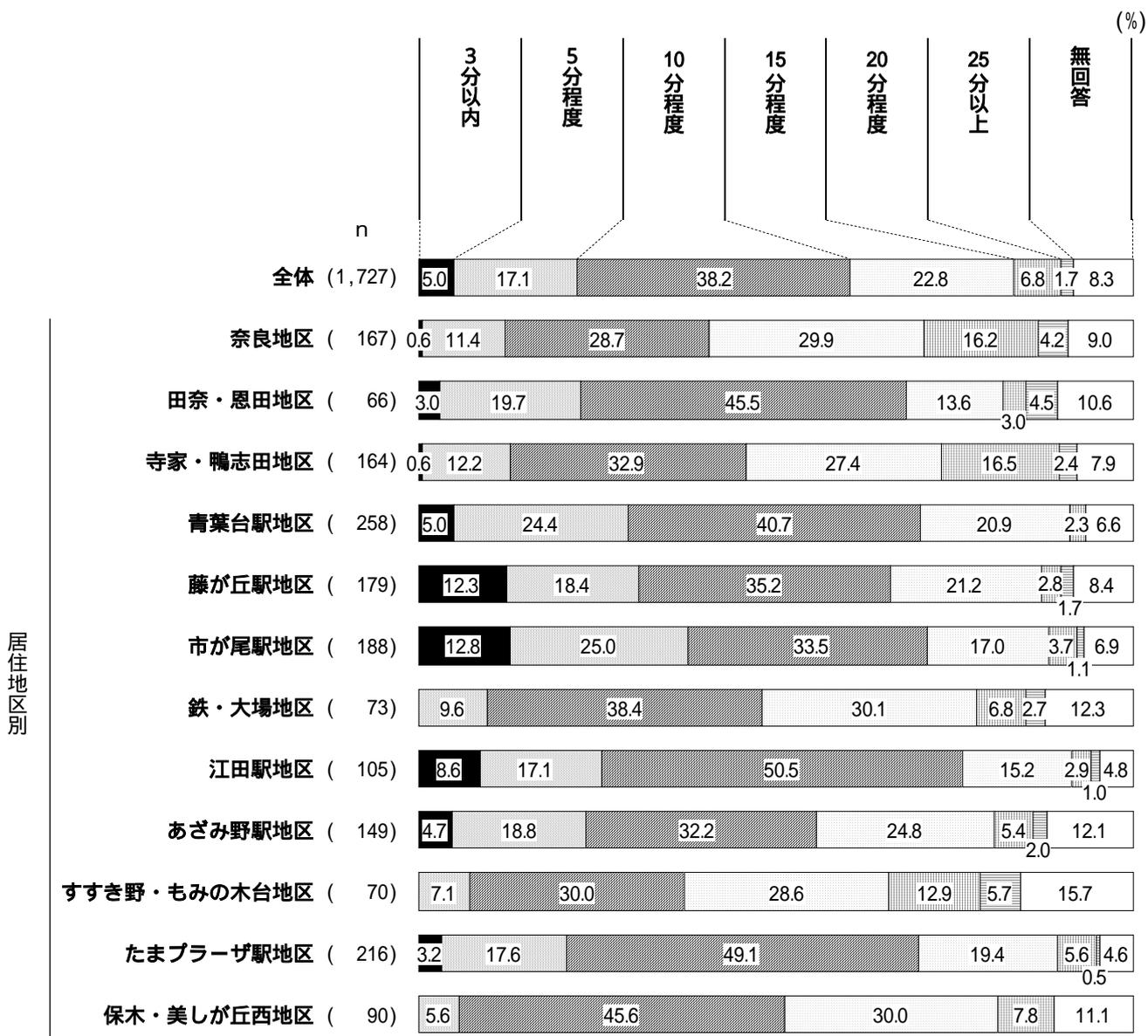
< 図表 2 - 9 > 最寄り駅までの所要時間



最寄り駅までの所要時間は「10分程度」が最も多く、38.2%となっている。次いで、「15分程度」が22.8%、「5分程度」が17.1%となっている。( 図表 2 - 9 )

居住地区別でみると、5分以内の割合は“市が尾駅地区”で最も高く、これに“藤が丘駅地区”、“青葉台駅地区”が続いている。10分以内になると、“田奈・恩田地区”、“青葉台駅地区”、“藤が丘地区”、“市が尾駅地区”、“江田駅地区”、“たまプラーザ駅地区”で6割以上となっている。(図表2-10)

<図表2-10> 最寄り駅までの所要時間/居住地区別



注1 / 5分以内 = 「3分以内」 + 「5分程度」

10分以内 = 「3分以内」 + 「5分程度」 + 「10分程度」

問 10 でたずねた最寄り駅別で違いをみることにする。

5分以内 の割合が高いのは“市が尾駅”で、38.8%の人が回答している。10分以内 では“たまプラーザ駅”、“あざみ野駅”、“市が尾駅”、“藤が丘駅”、“青葉台駅”で6割を超えている。  
(図表 2 - 11)

<図表 2 - 11> 最寄り駅までの所要時間 / 問 10 「最寄り駅」別

(%)

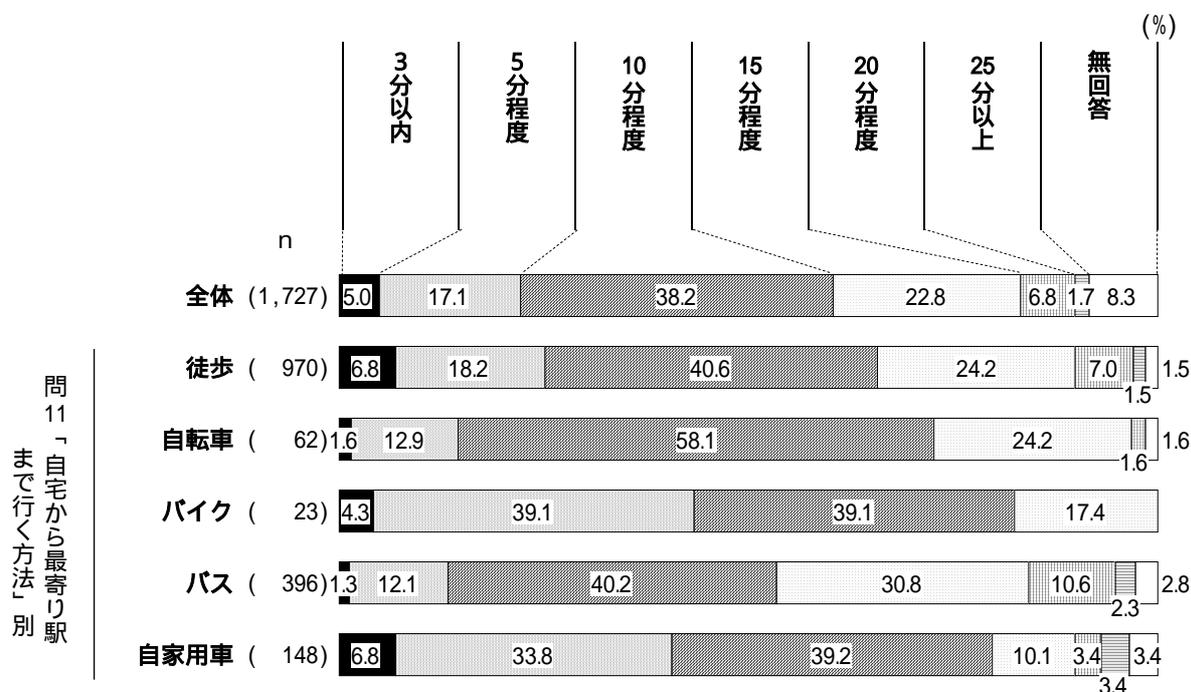
		n	3分以内	5分程度	10分程度	15分程度	20分程度	25分以上	無回答
全体		1,021	5.4	16.7	39.7	22.2	7.5	2.0	6.6
問 10 最寄り駅別	たまプラーザ駅	125	1.6	13.6	48.8	27.2	8.0	0.8	-
	あざみ野駅	148	4.1	13.5	48.0	23.6	8.8	2.0	-
	江田駅	32	6.3	28.1	62.5	3.1	-	-	-
	市が尾駅	80	10.0	28.8	27.5	28.8	3.8	-	1.3
	藤が丘駅	73	13.7	20.5	32.9	27.4	5.5	-	-
	青葉台駅	176	4.0	18.8	42.0	24.4	9.7	1.1	-
	田奈駅	23	-	13.0	65.2	13.0	8.7	-	-
	長津田駅	14	-	-	35.7	35.7	21.4	7.1	-
	恩田駅	6	-	33.3	50.0	16.7	-	-	-
	こどもの国駅	21	4.8	28.6	61.9	4.8	-	-	-
	十日市場駅	12	16.7	8.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-
	中山駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	センター北駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	センター南駅	-	-	-	-	-	-	-	-
	玉川学園駅	23	-	4.3	21.7	52.2	17.4	4.3	-
柿生駅	-	-	-	-	-	-	-	-	

注 1 / “江田駅” “田奈駅” “長津田駅” “恩田駅” “こどもの国駅” “十日市場駅” “玉川学園駅”については、基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

問 11 でたずねた自宅から最寄り駅まで行く方法別で違いをみることにする。

5分以内 は“ 自家用車 ”を利用している人で割合が高く、4割を占めている。 10分以内でも“ 自家用車 ”の利用者で最も高く、全体よりも約 20ポイント上回っている。( 図表 2 - 12 )

< 図表 2 - 12 > 最寄り駅までの所要時間 / 問 11 「自宅から最寄り駅まで行く方法」別



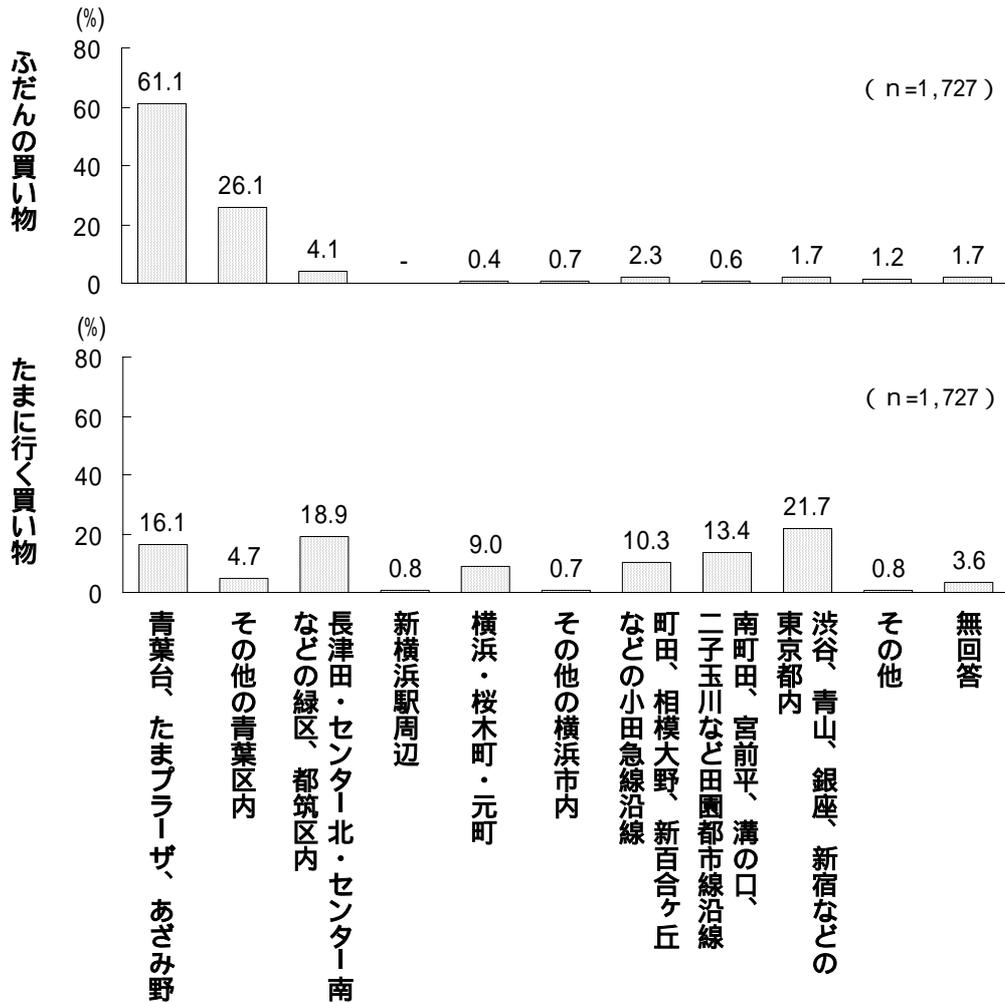
注 1 / “ バイク ” については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

### 3 買い物について

#### (1) 買い物に行く場所・主な交通手段

問13 ふだんの買い物や、たまに行く買い物の買い物先は、主にどちらですか。また、その際の主な交通手段は何ですか。( はそれぞれ1つずつ)

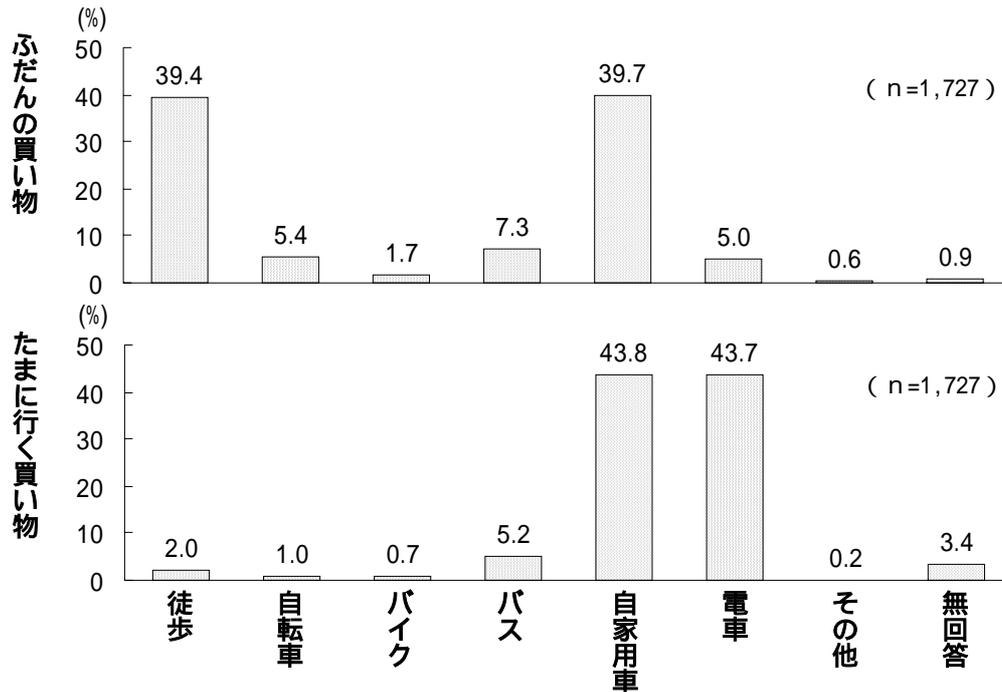
<図表3 - 1> 買い物に行く場所



買い物に行く場所を尋ねたところ、ふだんの買い物では「青葉台、たまプラーザ、あざみ野」(61.1%)が多く、6割を超えている。次いで「その他の青葉区内」が26.1%となっており、多くの人が青葉区内で買い物をしている。(図表3 - 1)

一方、たまに行く買い物では「東京都区内」(21.7%)と「緑区、都筑区内」(18.9%)が比較的多く、2割前後である。次いで「青葉台、たまプラーザ、あざみ野」が16.1%、「田園都市線沿線」が13.4%、「小田急線沿線」が10.3%となっている。(図表3 - 1)

<図表3 - 2> 主な交通手段



主な交通手段については、日常の買い物では「自動車」(39.7%)と「徒歩」(39.4%)が多く、ともに4割を占めている。(図表3 - 2)

また、たまに行く買い物でも「自動車」(43.8%)が多いものの、「電車」(43.7%)を利用する人も多く、いずれも4割を占めている。(図表3 - 2)

日常の買い物で行く場所を性別でみても、大きな違いはみられなかった。

性・年齢別で見ると、「青葉台、たまプラーザ、あざみ野」は男性の50歳以上、女性の40歳代と50歳代で、他の年代に比べ高い傾向にある。

居住地区別では、「青葉台、たまプラーザ、あざみ野」は“たまプラーザ駅地区”と“あざみ野駅地区”で特に高い割合を示し、いずれも9割を超えて、“青葉台駅地区”でも84.1%となっている。以下、“保木・美しが丘西地区”(76.7%)、“すすき野・もみの木台地区”(75.7%)と続いている。「その他の青葉区内」では“市が尾駅地区”が61.2%と顕著に高い割合を示している。(図表3 - 3)

たまに行く買い物で行く場所を性別でみても、大きな違いはみられなかった。

性・年齢別で見ると、「渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内」は男女とも20歳代で割合が高く、また女性の60歳代では同20歳代とほぼ同率となっている。「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」では、男女とも30歳代で高くなる傾向がみられる。

居住地区別で特徴的なのは、「渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内」は“江田駅地区”で30.5%、「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」は“たまプラーザ駅地区”(29.6%)と“あざみ野駅地区”(29.5%)、「町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線」は“奈良地区”で39.5%となっている。(図表3 - 4)

< 図表 3 - 3 > 買い物に行く場所 / 性別、性・年齢別、居住地区別【ふだんの買い物】

(%)

		n	青葉台、たまプラーザ、あざみ野	その他の青葉区内	北センター南などの緑区、都筑区内	長津田・センター	新横浜駅周辺	横浜 桜木町 元町	それ以外の横浜市	田急線沿線 百合ヶ丘などの小町田、相模大野、新	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	内 新宿などの東京都	渋谷、青山、銀座、その他	無回答
全体		1,727	61.1	26.1	4.1	-	0.4	0.7	2.3	0.6	1.7	1.2	1.7	
性別	男性	726	59.5	25.6	5.1	-	0.7	0.7	2.8	0.8	2.1	1.2	1.5	
	女性	982	62.5	26.5	3.4	-	0.2	0.6	1.9	0.5	1.5	1.1	1.7	
性年齢別	男性 20 歳代	81	50.6	14.8	8.6	-	1.2	-	7.4	3.7	11.1	2.5	-	
	30 歳代	136	53.7	26.5	9.6	-	-	-	2.2	1.5	3.7	2.2	0.7	
	40 歳代	136	55.9	34.6	6.6	-	-	-	2.2	-	0.7	-	-	
	50 歳代	142	64.1	26.1	2.8	-	0.7	0.7	2.8	0.7	-	0.7	1.4	
	60 歳代	134	64.2	25.4	1.5	-	2.2	2.2	1.5	-	-	0.7	2.2	
	70 歳以上	93	65.6	21.5	2.2	-	-	1.1	2.2	-	-	2.2	5.4	
	女性 20 歳代	115	60.9	11.3	5.2	-	-	0.9	8.7	0.9	9.6	0.9	1.7	
	30 歳代	252	61.5	31.0	3.6	-	0.4	-	1.2	0.8	0.8	0.4	0.4	
	40 歳代	196	67.9	26.5	3.6	-	0.5	-	1.5	-	-	-	-	
	50 歳代	198	66.7	24.2	2.5	-	-	1.0	-	0.5	0.5	4.0	0.5	
	60 歳代	128	55.5	35.2	2.3	-	-	1.6	1.6	0.8	-	0.8	2.3	
	70 歳以上	89	57.3	25.8	3.4	-	-	1.1	-	-	1.1	-	11.2	
居住地区別	奈良地区	167	23.4	50.9	1.8	-	-	1.2	17.4	0.6	0.6	1.8	2.4	
	田奈・恩田地区	66	27.3	48.5	10.6	-	-	1.5	3.0	-	3.0	3.0	3.0	
	寺家・鴨志田地区	164	68.9	20.7	1.8	-	1.2	-	1.2	-	1.2	2.4	2.4	
	青葉台駅地区	258	84.1	9.7	1.9	-	-	-	1.2	-	1.2	-	1.9	
	藤が丘駅地区	179	37.4	49.7	3.4	-	-	0.6	-	1.7	3.4	1.1	2.8	
	市が尾駅地区	188	20.7	61.2	8.0	-	1.1	2.7	-	1.6	2.1	1.6	1.1	
	鉄・大場地区	73	61.6	26.0	6.8	-	-	-	-	-	1.4	1.4	2.7	
	江田駅地区	105	55.2	19.0	17.1	-	-	1.0	-	2.9	1.9	1.0	1.9	
	あざみ野駅地区	149	91.9	1.3	1.3	-	0.7	-	0.7	0.7	0.7	1.3	1.3	
	すすき野・もみの木台地区	70	75.7	15.7	1.4	-	-	-	1.4	-	4.3	1.4	-	
	たまプラーザ駅地区	216	92.6	0.9	2.3	-	0.5	0.5	0.5	-	1.9	0.9	-	
	保木・美しが丘西地区	90	76.7	17.8	1.1	-	1.1	1.1	-	-	1.1	-	1.1	

< 図表 3 - 4 > 買い物に行く場所 / 性別、性・年齢別、居住地区別【たまに行く買い物】

(%)

		n	青葉台、たまプラ ーザ、あざみ野	その他の青葉区内	北センター南など の緑区、都筑区内	長津田・センター 新横浜駅周辺	横浜 桜木町 元町	内 それ以外の横浜市	田急線沿線 百合ヶ丘などの小 町田、相模大野、新	ど田園都市線沿線 の口、二子玉川な ど	南町田、宮前平、溝 内 新宿などの東京都	渋谷、青山、銀座、 その他	無回答
全体		1,727	16.1	4.7	18.9	0.8	9.0	0.7	10.3	13.4	21.7	0.8	3.6
性別	男性	726	16.8	6.9	18.6	1.2	9.4	1.0	10.1	9.2	21.8	0.8	4.3
	女性	982	15.7	3.0	19.1	0.4	8.8	0.5	10.4	16.4	21.9	0.7	3.2
性 年 齢 別	男性 20 歳代	81	7.4	2.5	16.0	2.5	17.3	-	12.3	4.9	35.8	1.2	-
	30 歳代	136	14.0	5.1	31.6	0.7	7.4	0.7	9.6	13.2	12.5	2.9	2.2
	40 歳代	136	17.6	5.1	24.3	0.7	6.6	1.5	13.2	8.8	20.6	-	1.5
	50 歳代	142	18.3	8.5	19.7	1.4	9.9	2.1	9.9	7.0	19.0	0.7	3.5
	60 歳代	134	19.4	8.2	9.0	0.7	6.0	0.7	11.2	11.9	27.6	-	5.2
	70 歳以上	93	21.5	11.8	5.4	2.2	14.0	-	3.2	6.5	20.4	-	15.1
	女性 20 歳代	115	10.4	0.9	20.9	-	14.8	0.9	6.1	13.0	30.4	0.9	1.7
	30 歳代	252	14.7	2.4	38.5	0.4	6.3	0.8	7.5	11.9	15.5	1.2	0.8
	40 歳代	196	14.8	2.0	20.4	-	6.6	-	15.8	20.9	17.9	0.5	1.0
	50 歳代	198	18.2	6.1	7.6	-	11.1	-	10.1	19.7	25.8	0.5	1.0
	60 歳代	128	14.8	1.6	8.6	0.8	7.0	-	12.5	17.2	29.7	0.8	7.0
	70 歳以上	89	22.5	4.5	1.1	2.2	9.0	2.2	10.1	14.6	18.0	-	15.7
居 住 地 区 別	奈良地区	167	15.6	4.8	7.2	0.6	6.0	-	39.5	6.0	14.4	1.2	4.8
	田奈・恩田地区	66	24.2	4.5	7.6	-	13.6	-	28.8	12.1	7.6	-	1.5
	寺家・鴨志田地区	164	11.0	5.5	17.1	0.6	11.0	0.6	13.4	10.4	24.4	1.8	4.3
	青葉台駅地区	258	8.5	6.2	18.2	-	8.1	1.2	12.0	18.2	22.9	0.8	3.9
	藤が丘駅地区	179	28.5	3.9	17.3	0.6	7.3	2.8	3.9	11.7	19.6	0.6	3.9
	市が尾駅地区	188	24.5	2.1	19.1	1.6	10.6	0.5	4.3	10.1	23.9	1.1	2.1
	鉄・大場地区	73	16.4	8.2	17.8	1.4	12.3	1.4	5.5	15.1	13.7	1.4	6.8
	江田駅地区	105	23.8	1.9	21.0	1.9	8.6	1.0	2.9	6.7	30.5	-	1.9
	あざみ野駅地区	149	7.4	5.4	29.5	-	14.1	-	1.3	17.4	21.5	-	3.4
	すすき野・もみの木 台地区	70	18.6	4.3	15.7	1.4	7.1	-	10.0	17.1	21.4	-	4.3
	たまプラーザ駅地区	216	7.9	6.0	29.6	1.9	5.6	-	0.9	17.6	25.9	0.9	3.7
	保木・美しが丘西地 区	90	23.3	2.2	15.6	-	8.9	-	6.7	17.8	22.2	-	3.3

ふだんの買い物で行く際の主な交通手段を性別で見ると、男性では「自家用車」が45.2%と最も多いのに対し、女性では「徒歩」が40.8%と最も多い。

性・年齢別で見ると、「自家用車」の利用者は中高年層で高くなる傾向にある。「徒歩」では、男性の30歳代と70歳以上、女性の30歳代と60歳代で他の年代に比べ高い割合を示している。「バス」の利用率は70歳以上で高く、男女とも2割を超える。

居住地区別では、「自家用車」の割合は“鉄・大場地区”で65.8%と最も高く、これに“保木・美しが丘西地区”(56.7%)、“寺家・鴨志田地区”(53.7%)、“田奈・恩田地区”(50.0%)と続いている。「徒歩」の利用者は、“青葉台駅地区”(59.7%)と“たまプラーザ駅地区”(59.3%)で割合が高く、ほぼ6割を占めている。(図表3 - 5)

たまに行く買い物で行く際の主な交通手段を性別で見ると、男性では「自家用車」が51.2%と過半数を占めるのに対し、女性では「電車」が50.1%と最も多くなっている。

性・年齢別で見ると、「自家用車」の利用者は男女ともに30歳代で最も高い割合を示し、以降年齢が上がるにしたがって減少する傾向にある。「電車」では、特に女性の60歳代で67.2%と高い割合を示している。

居住地区別では、「自家用車」の割合は“奈良地区”と“鉄・大場地区”で他の地区に比べ高くなっており、いずれも過半数を占める。「電車」の利用率は“青葉台駅地区”と“あざみ野駅地区”で半数を超えており、比較的高い割合となっている。(図表3 - 6)

< 図表 3 - 5 > 主な交通手段 / 性別、性・年齢別、居住地区別【ふだんの買い物】

(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他	無回答
全体		1,727	39.4	5.4	1.7	7.3	39.7	5.0	0.6	0.9
性別	男性	726	37.3	5.0	2.1	5.6	45.2	3.6	0.6	0.7
	女性	982	40.8	5.8	1.4	8.4	36.0	6.1	0.5	0.9
性年齢別	男性 20 歳代	81	23.5	9.9	8.6	6.2	35.8	16.0	-	-
	30 歳代	136	42.6	2.9	1.5	1.5	47.1	2.9	0.7	0.7
	40 歳代	136	39.0	5.9	2.2	1.5	50.0	0.7	0.7	-
	50 歳代	142	31.0	3.5	0.7	3.5	57.7	3.5	-	-
	60 歳代	134	39.6	7.5	1.5	6.0	43.3	0.7	0.7	0.7
	70 歳以上	93	46.2	1.1	-	20.4	25.8	2.2	1.1	3.2
	女性 20 歳代	115	35.7	7.8	2.6	6.1	22.6	23.5	0.9	0.9
	30 歳代	252	45.6	6.7	0.4	3.6	38.5	5.2	-	-
	40 歳代	196	36.7	6.6	0.5	7.1	44.4	4.6	-	-
	50 歳代	198	37.4	5.1	2.0	7.6	42.4	3.5	1.5	0.5
	60 歳代	128	50.0	4.7	2.3	12.5	28.1	2.3	-	-
	70 歳以上	89	38.2	1.1	2.2	23.6	24.7	1.1	1.1	7.9
居住地区別	奈良地区	167	35.3	3.6	1.2	4.8	44.9	7.2	0.6	2.4
	田奈・恩田地区	66	19.7	7.6	7.6	6.1	50.0	6.1	1.5	1.5
	寺家・鴨志田地区	164	17.7	7.3	1.8	14.6	53.7	3.0	-	1.8
	青葉台駅地区	258	59.7	5.8	1.2	4.3	24.0	4.3	0.4	0.4
	藤が丘駅地区	179	44.7	2.8	2.2	5.6	33.0	11.2	-	0.6
	市が尾駅地区	188	44.1	3.7	-	4.3	40.4	5.9	0.5	1.1
	鉄・大場地区	73	6.8	8.2	1.4	15.1	65.8	1.4	1.4	-
	江田駅地区	105	26.7	9.5	1.0	5.7	47.6	6.7	1.0	1.9
	あざみ野駅地区	149	39.6	6.0	2.7	6.0	40.9	3.4	0.7	0.7
	すすき野・もみの木台地区	70	35.7	4.3	5.7	18.6	30.0	5.7	-	-
	たまプラーザ駅地区	216	59.3	5.1	-	4.2	27.8	2.3	1.4	-
	保木・美しが丘西地区	90	20.0	3.3	3.3	14.4	56.7	2.2	-	-

< 図表 3 - 6 > 主な交通手段 / 性別、性・年齢別、居住地区別【たまに行く買い物】

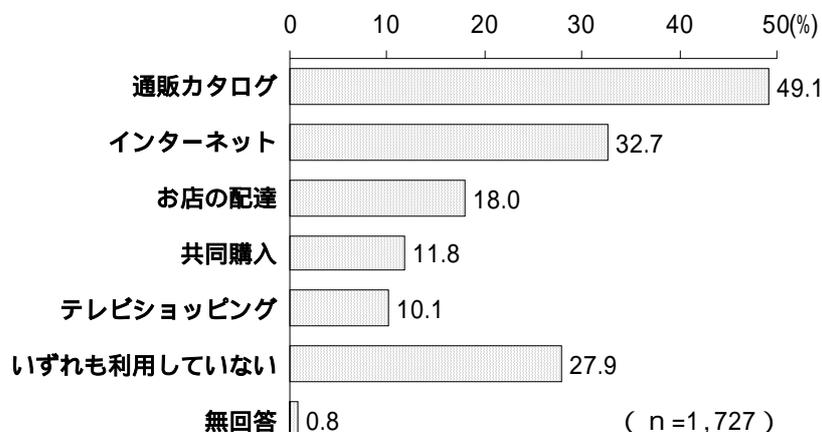
(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他	無回答
全体		1,727	2.0	1.0	0.7	5.2	43.8	43.7	0.2	3.4
性別	男性	726	2.6	1.1	0.8	5.4	51.2	35.3	0.1	3.4
	女性	982	1.6	1.0	0.5	4.8	38.4	50.1	0.3	3.3
性年齢別	男性 20 歳代	81	3.7	3.7	4.9	6.2	28.4	50.6	1.2	1.2
	30 歳代	136	1.5	0.7	0.7	2.9	73.5	19.1	-	1.5
	40 歳代	136	0.7	0.7	0.7	0.7	69.9	26.5	-	0.7
	50 歳代	142	4.2	0.7	-	2.1	57.7	32.4	-	2.8
	60 歳代	134	3.7	1.5	-	6.0	36.6	47.8	-	4.5
	70 歳以上	93	2.2	-	-	19.4	21.5	45.2	-	11.8
	女性 20 歳代	115	2.6	0.9	2.6	0.9	33.0	58.3	-	1.7
	30 歳代	252	1.2	2.0	-	2.4	59.9	34.1	0.4	-
	40 歳代	196	1.0	-	-	3.6	42.9	50.0	-	2.6
	50 歳代	198	2.0	1.5	0.5	4.5	33.3	56.6	0.5	1.0
	60 歳代	128	0.8	-	-	6.3	20.3	67.2	-	5.5
	70 歳以上	89	3.4	-	1.1	16.9	13.5	46.1	1.1	18.0
居住地区別	奈良地区	167	1.2	-	0.6	6.6	52.7	33.5	0.6	4.8
	田奈・恩田地区	66	1.5	1.5	-	7.6	45.5	39.4	1.5	3.0
	寺家・鴨志田地区	164	1.2	0.6	1.2	4.9	48.2	39.6	-	4.3
	青葉台駅地区	258	1.9	0.8	0.4	2.7	37.2	54.3	-	2.7
	藤が丘駅地区	179	3.4	1.1	1.7	2.8	45.3	43.6	-	2.2
	市が尾駅地区	188	2.1	0.5	-	6.4	44.1	44.7	-	2.1
	鉄・大場地区	73	-	4.1	1.4	1.4	52.1	37.0	-	4.1
	江田駅地区	105	2.9	1.9	-	3.8	40.0	47.6	-	3.8
	あざみ野駅地区	149	0.7	-	0.7	2.7	42.3	50.3	-	3.4
	すすき野・もみの木台地区	70	2.9	1.4	1.4	24.3	34.3	30.0	-	5.7
	たまプラーザ駅地区	216	4.2	1.4	0.5	2.8	41.2	45.4	0.9	3.7
	保木・美しが丘西地区	90	-	2.2	1.1	10.0	47.8	35.6	-	3.3

## ( 2 ) 店舗以外の買い物手段

問 14 この 1 年間で以下のような方法での買い物をしたことがありますか。( はいいくつでも )

< 図表 3 - 7 > 店舗以外の買い物手段 ( 複数回答 )

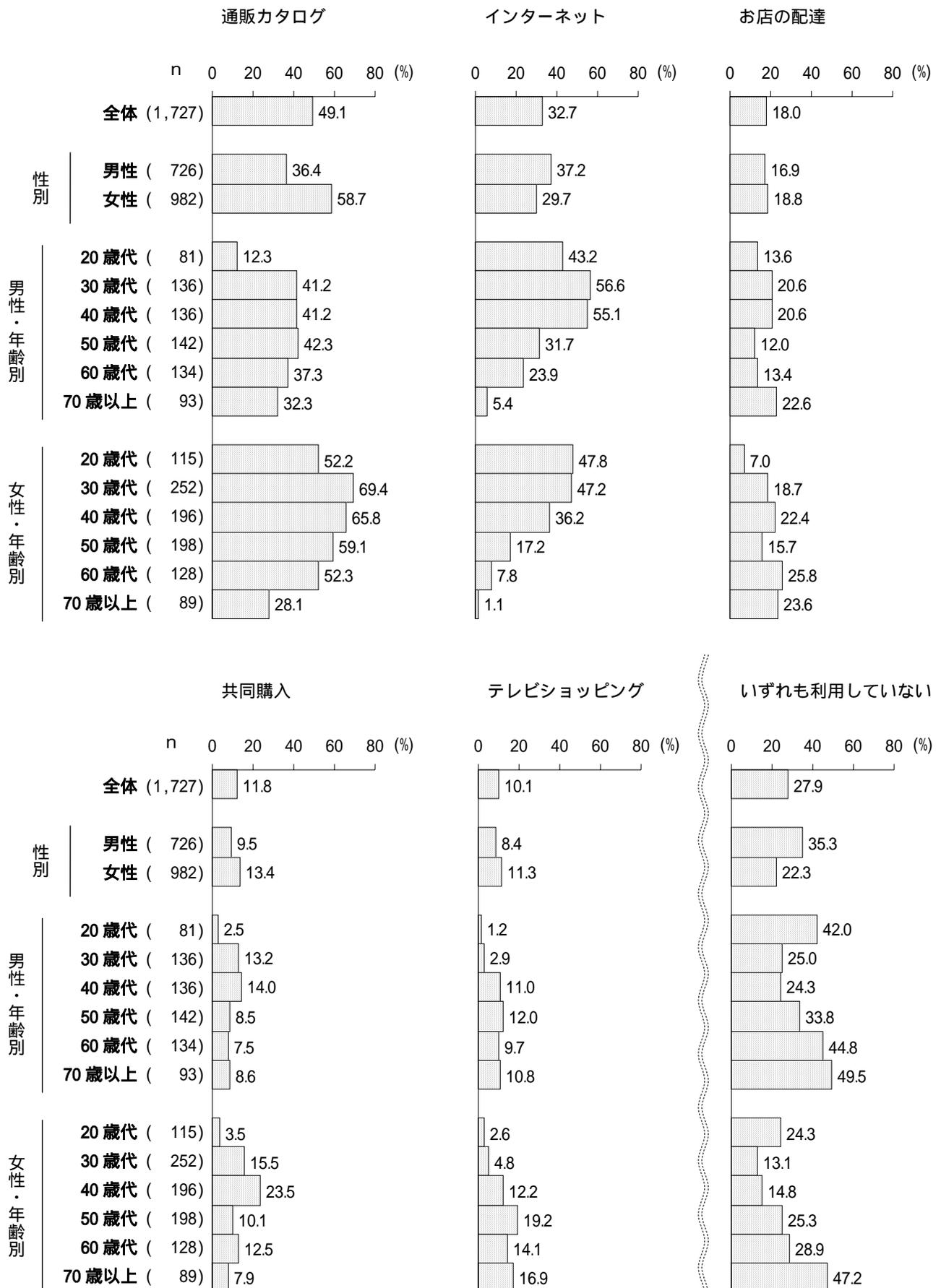


この 1 年間の店舗以外の買い物手段について尋ねたところ、「通販カタログ」( 49.1% ) の割合が最も高く、半数に近い人が回答している。次いで、「インターネット」( 32.7% ) と高くなっている。以下「お店の配達」( 18.0% )、「共同購入」( 11.8% )、「テレビショッピング」( 10.1% ) の順に続く。なお、3 割近い人は「いずれも利用していない」( 27.9% ) と答えている。( 図表 3 - 7 )

性別でみると、店舗以外の買い物の多くは女性の方が男性よりも利用率が高い傾向にあるが、中でも「通販カタログ」は女性で 58.7% と男性 ( 36.4% ) を大幅に上回っている。一方、「インターネット」では男性の方が女性よりも利用者の割合が高くなっている。

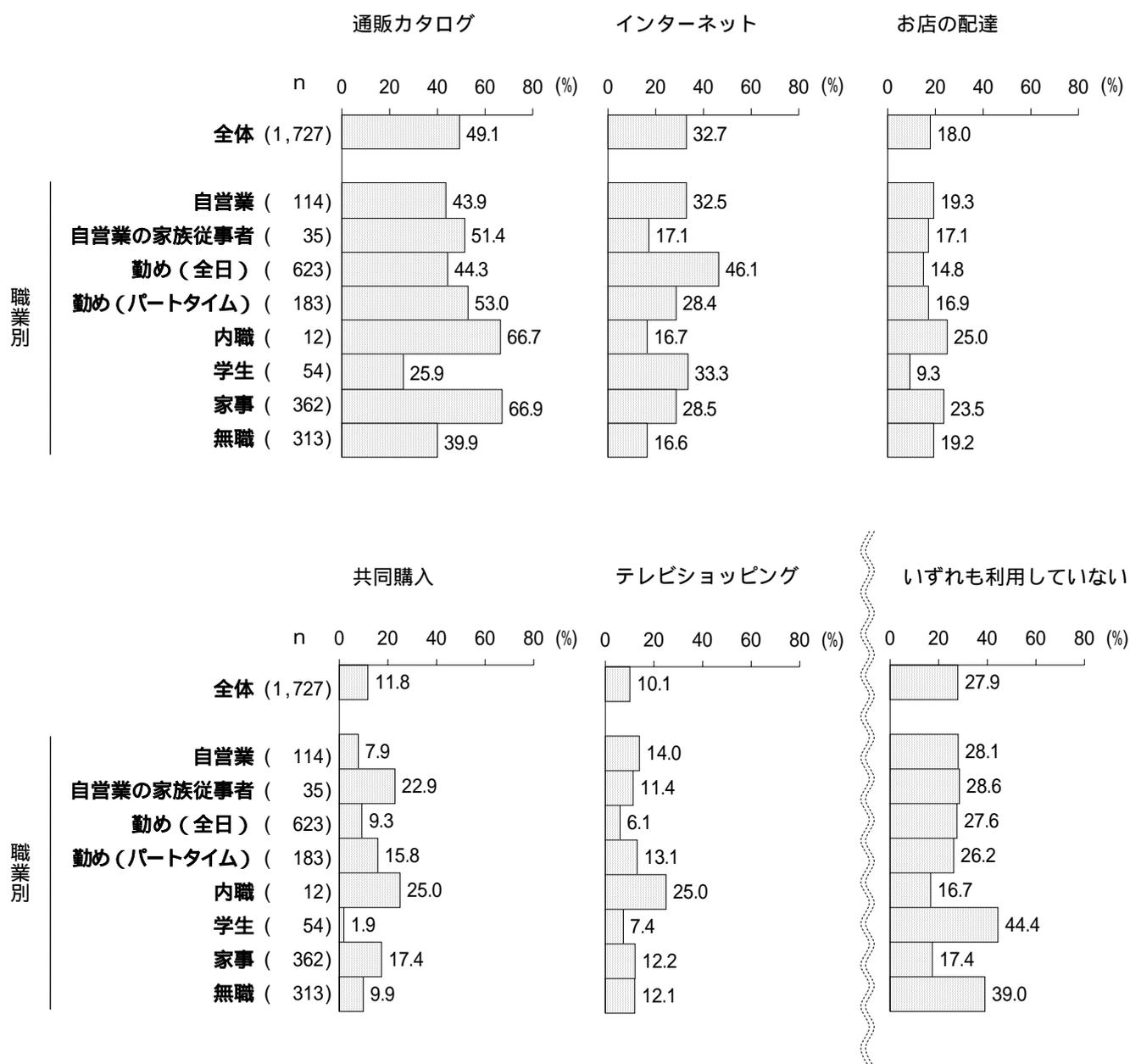
性・年齢別では、「通販カタログ」の利用者は、男性では 20 歳代を除くと年齢による大きな違いはみられないが、女性では 30 歳代で最も割合が高く、以降年齢が上がるにしたがって減少している。「インターネット」では、男性では 30 歳代と 40 歳代で 5 割台半ばと高い割合を示し、女性では 20 歳代と 30 歳代で高く、年代が高くなるにつれ減少している。「いずれも利用していない」の割合は、男女とも 70 歳以上で高くなっているが、男性では 20 歳代と 60 歳代でも他の年代に比べ高くなっている。( 図表 3 - 8 )

<図表3 - 8> 店舗以外の買い物手段 / 性別、性・年齢別



職業別でみると、「通販カタログ」は“家事”で最も割合が高く、3人に2人が利用している。「インターネット」の利用者では、“勤め（全日）”で46.1%と高い割合を示し、全体よりも約13ポイント上回る。「いずれも利用していない」の割合は、“学生”で44.4%と高く、次いで“無職”で39.0%となっている。（図表3-9）

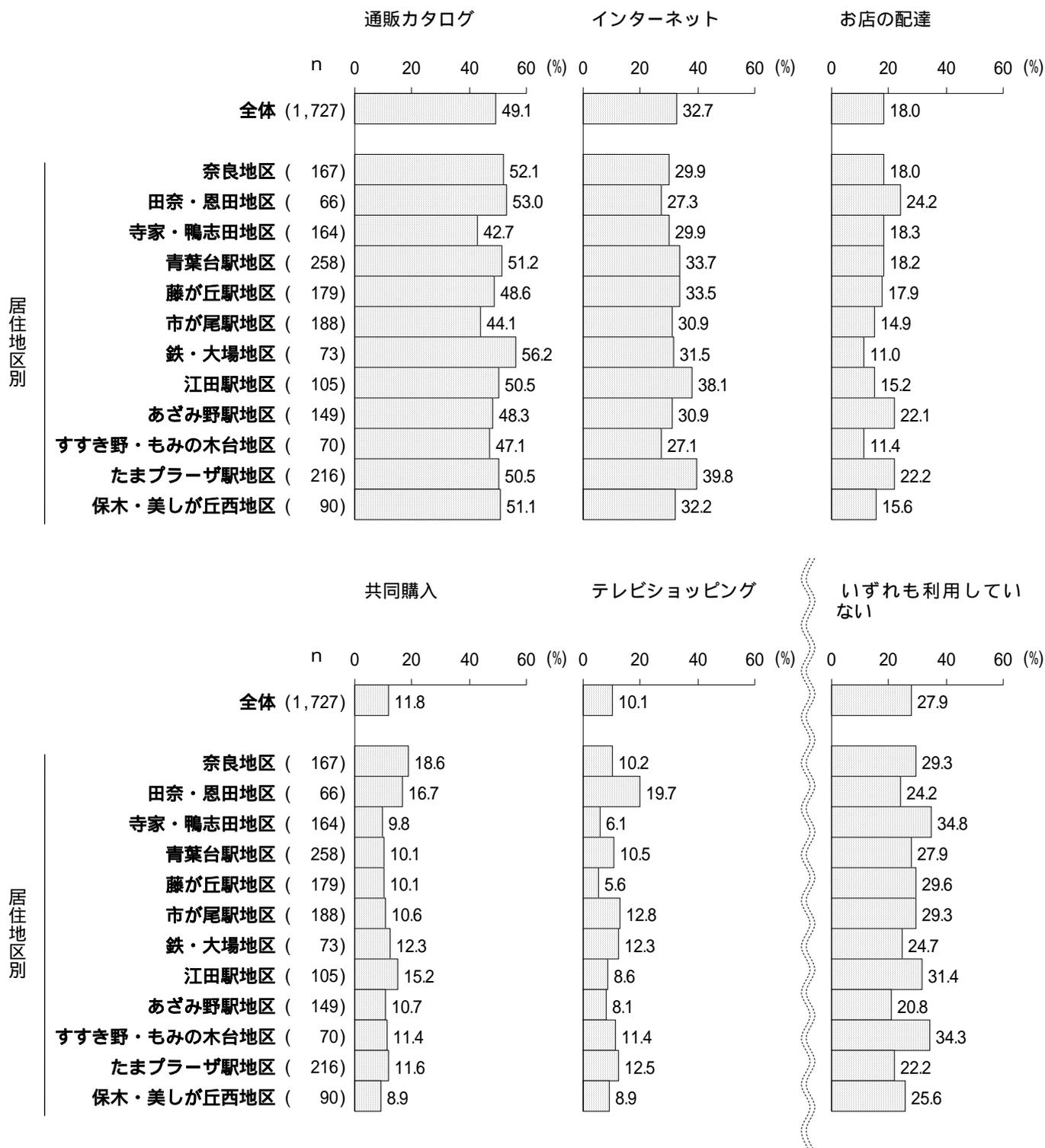
<図表3-9> 店舗以外の買い物手段／職業別



注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

居住地区別でも大きな違いはみられないが、「通販カタログ」の利用率は“鉄・大場地区”でやや高い傾向にあり、5割台半ばの人が利用している。「インターネット」では、“たまプラーザ駅地区”と“江田駅地区”で他の地区に比べ若干高い割合を示している。「いずれも利用していない」の割合は、“寺家・鴨志田地区”と“すすき野・もみの木台地区”でやや高くなっている。(図表3-10)

<図表3-10> 店舗以外の買い物手段 / 居住地区別

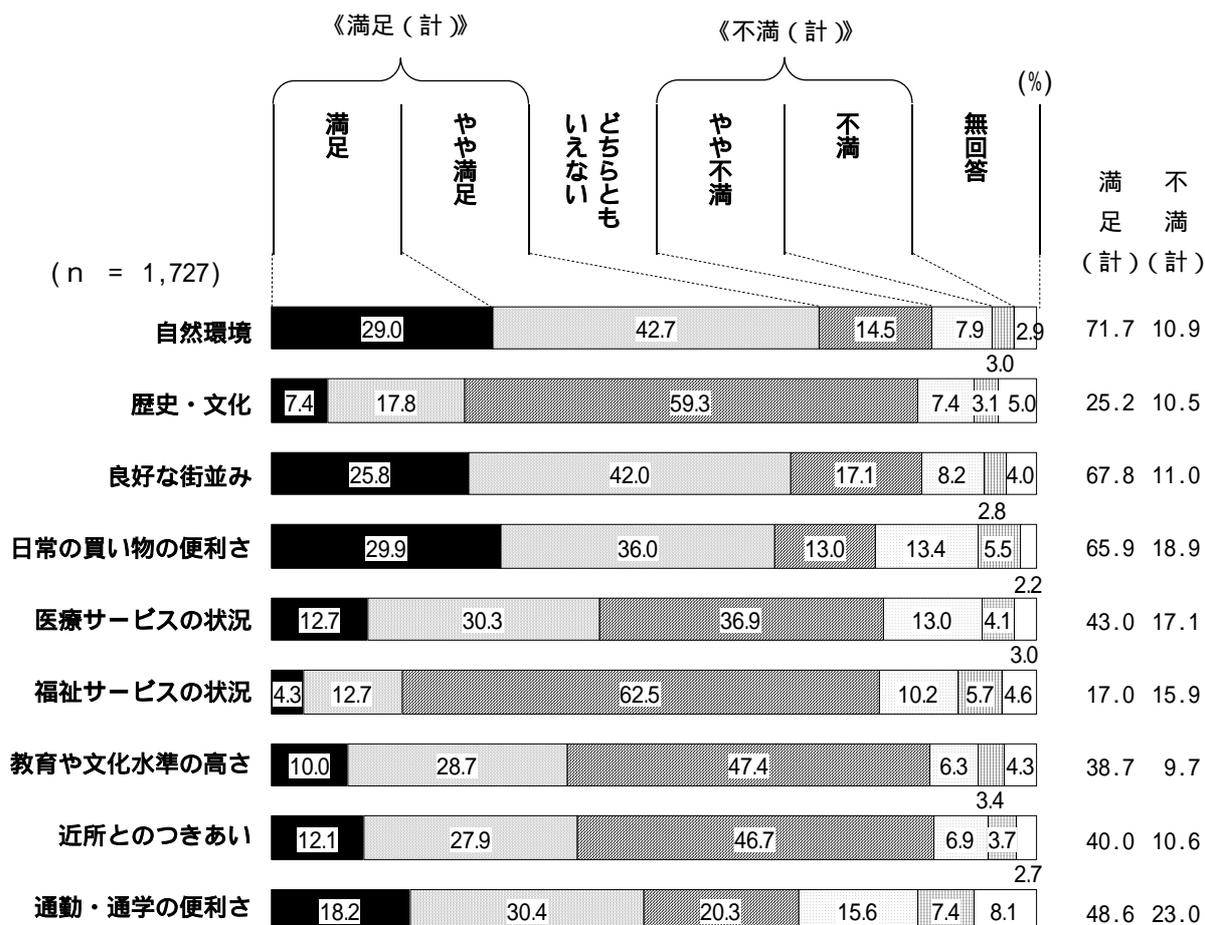


## 4 日常生活について

### (1) 生活環境評価

問15 あなたは、次の(ア)～(ケ)の生活環境についてどの程度満足していますか。  
( はそれぞれ1つずつ)

<図表4-1> 生活環境評価



生活環境について尋ねたところ、満足派が最も多いのは「自然環境」(71.7%)で、その割合は7割を超える。また、「良好な街並み」でも満足派が67.8%となっており、住環境に対する評価が高くなっている。他では「日常の買い物の便利さ」が65.9%と高い評価を得ている。(図表4-1)

すべての項目で満足派が不満派を上回っているものの、「通勤・通学の便利さ」では不満派が他に比べてやや多く、2割を超えている。(図表4-1)

注1 / 満足派 = 「満足」 + 「やや満足」      不満派 = 「不満」 + 「やや不満」

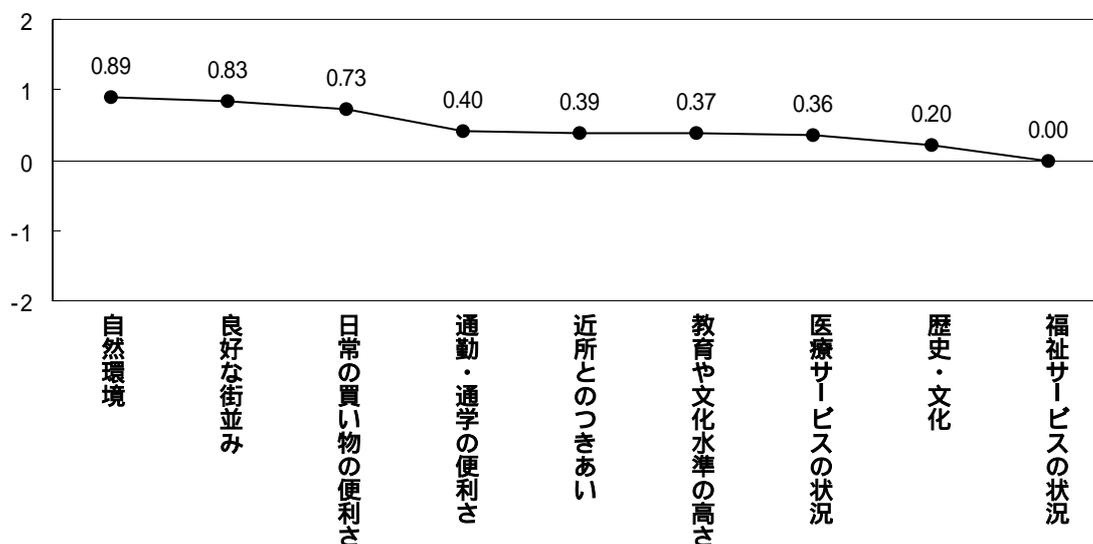
生活環境の評価を比率でみるのとは別に、各項目間の比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。下記の計算式のように、5段階の評価にそれぞれ点数を与え、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満 足」の回答者数} \times 2 \text{ 点} \\ \text{「やや 満足」の回答者数} \times 1 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ \text{「やや 不満足」の回答者数} \times 1 \text{ 点} \\ \text{「不満足」の回答者数} \times 2 \text{ 点} \end{array}}{\text{回答者数}}$$

この算出方法では、評価点は+2.00点から-2.00点の間に分布し、中間値の0.00点を境に、+2.00点に近くなるほど評価は高く、逆に-2.00点に近くなるほど評価は低いことになる。

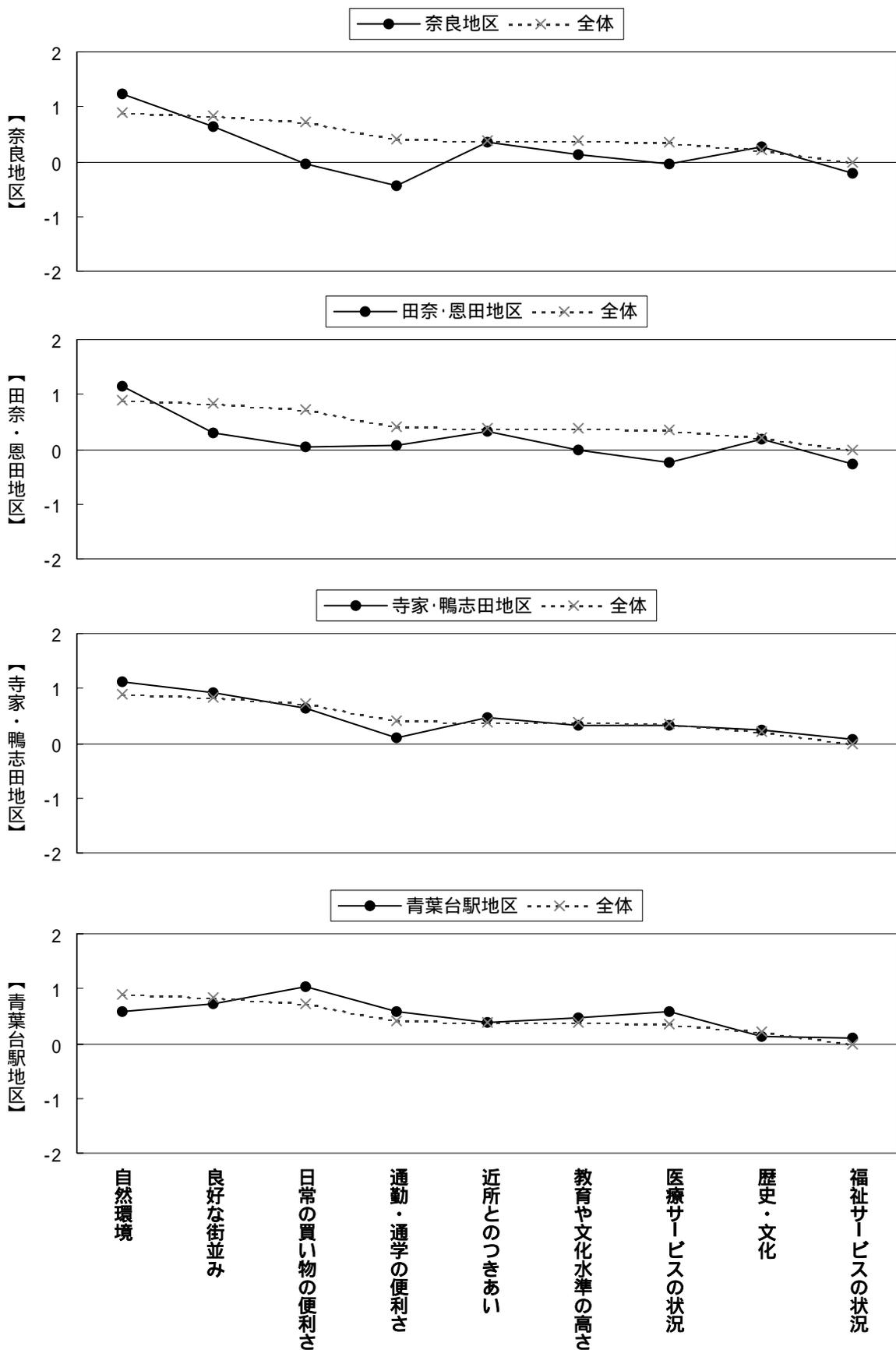
評価の結果を高い順に並べると、最も評価が高い項目は“自然環境”(0.89)となっている。次いで、“良好な街並み”(0.83)、“日常の買い物の便利さ”(0.73)が続いている。一方、評価が低い項目は“福祉サービスの状況”(0.00)次いで“歴史・文化”(0.20)となっている。(図表4-2)

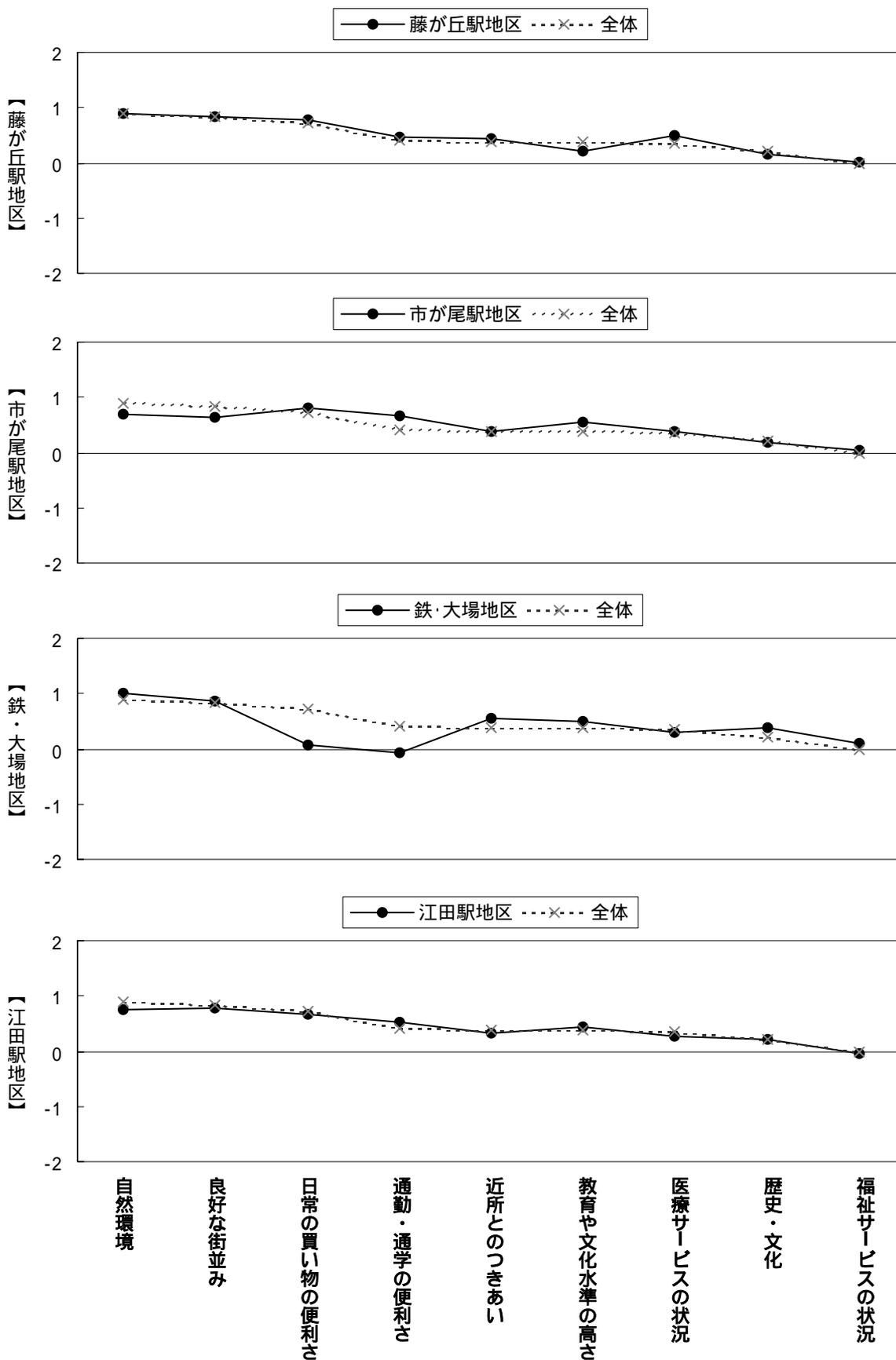
<図表4-2> 生活環境評価 / 加重平均値

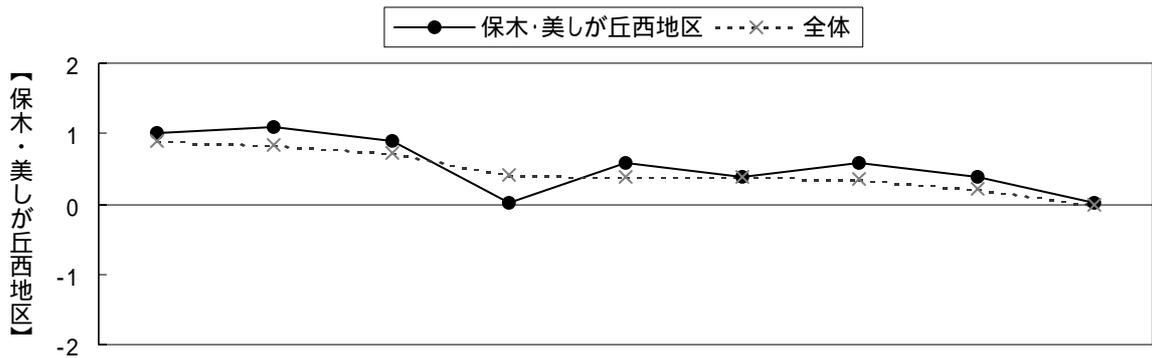
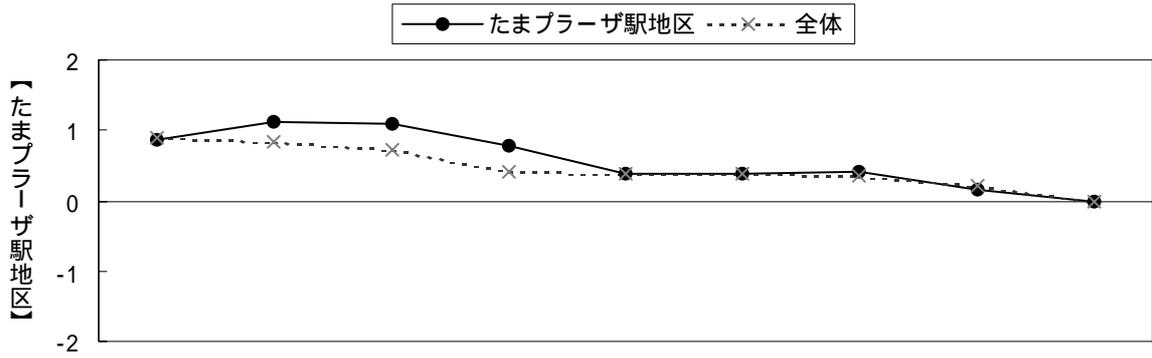
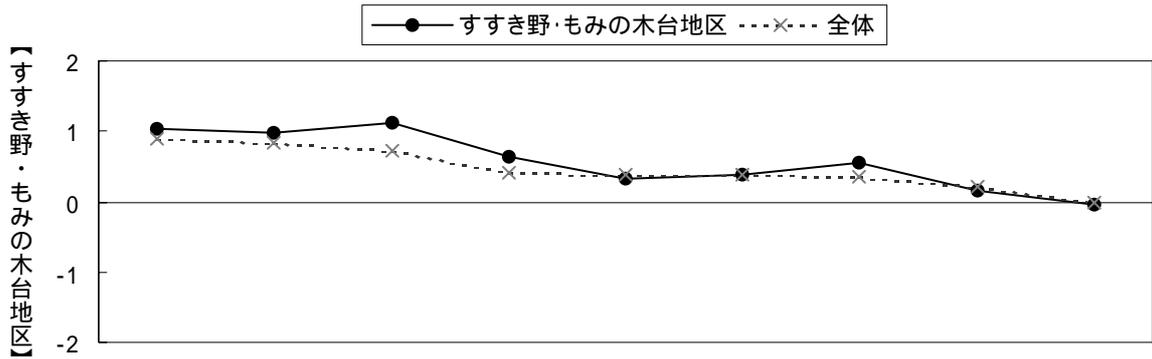
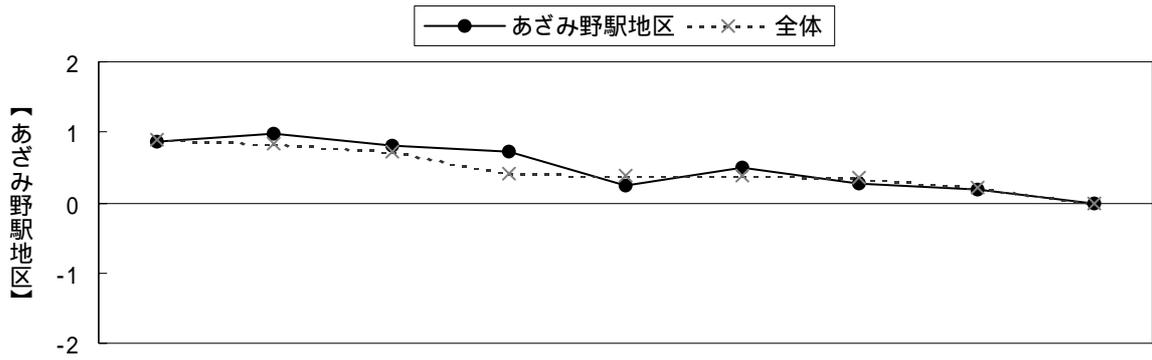


評価の結果を居住地区別で見ると、全体の傾向として各地区ごとの大きな違いはみられない。ただし、項目によって地区ごとに特徴があり、“奈良地区”“田奈・恩田地区”“鉄・大場地区”では、「日常の買い物の便利さ」と「通勤・通学の便利さ」が全体よりも下回っている。“田奈・恩田地区”では前述の2項目以外に「良好な街並み」「教育や文化水準の高さ」「医療サービスの状況」でも全体よりも評価が低くなっている。一方で、“たまプラーザ駅地区”では「良好な街並み」「日常の買い物の便利さ」「通勤・通学の便利さ」などで全体を上回っている。(図表4-3)

< 図表 4 - 3 > 生活環境評価（加重平均値） / 居住地区別



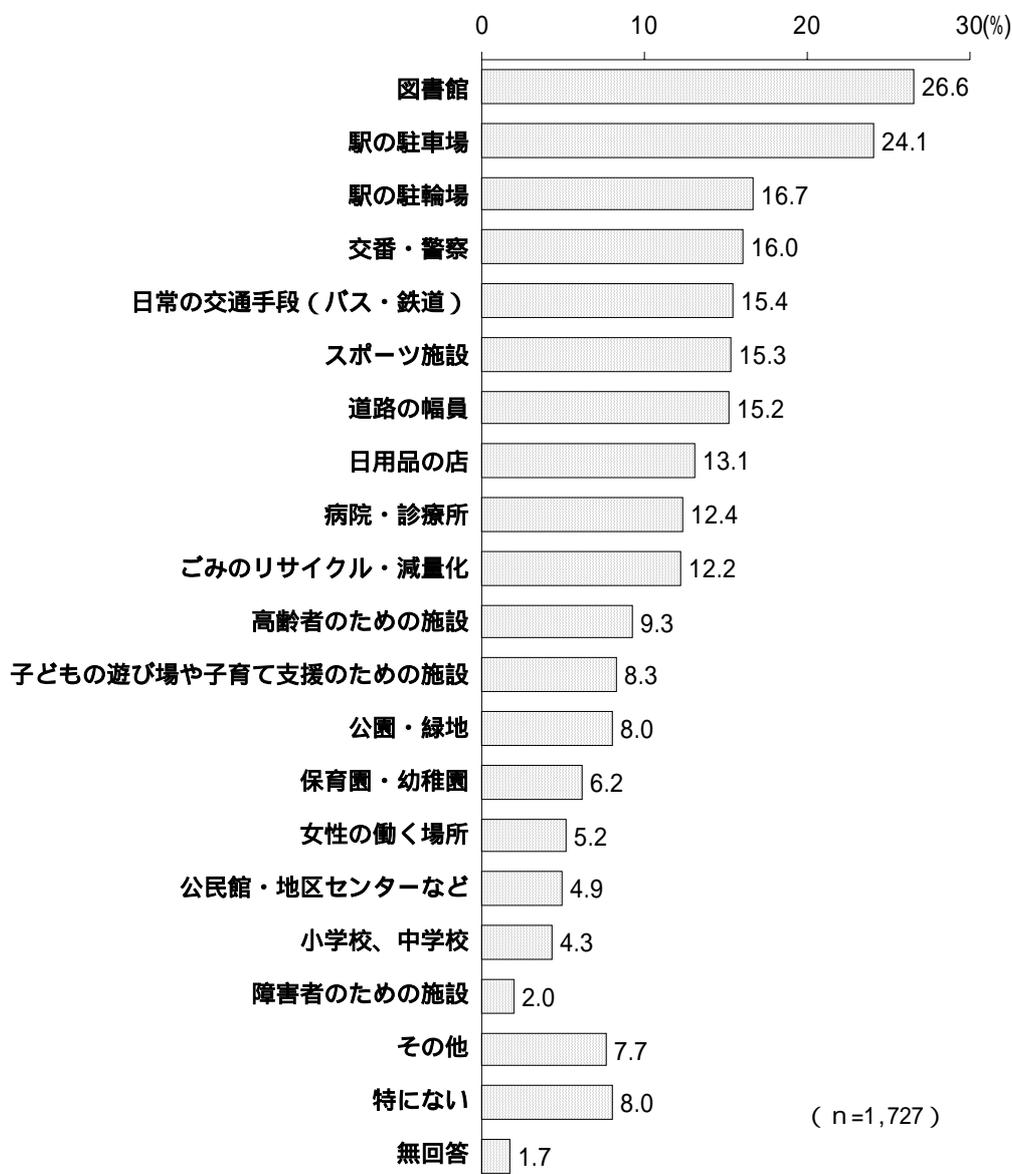




## (2) 日常生活で不足・不便と思う事

問 16 あなたが日々の生活の中で、不足もしくは不便と思われる事は何ですか。  
( は3つまで)

< 図表 4 - 4 > 日常生活で不足・不便と思う事 (複数回答)

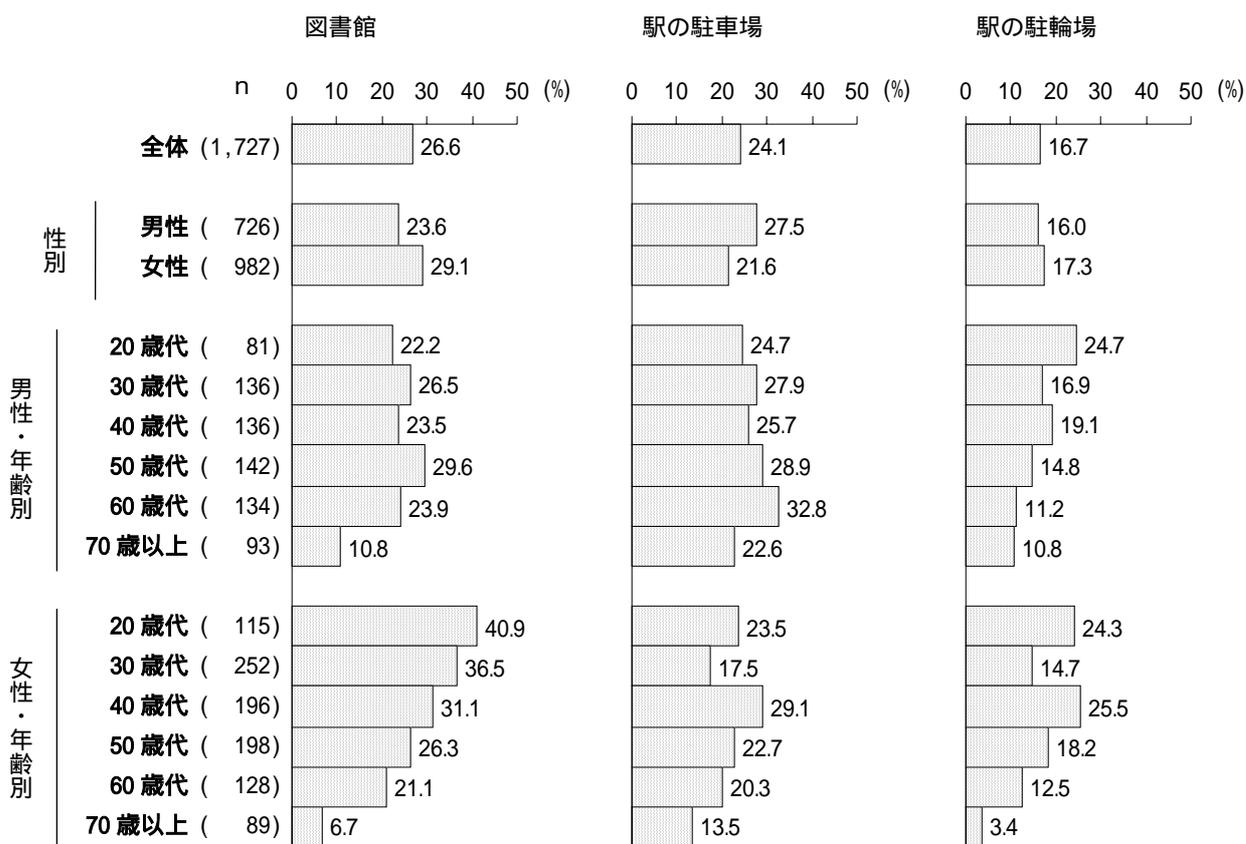


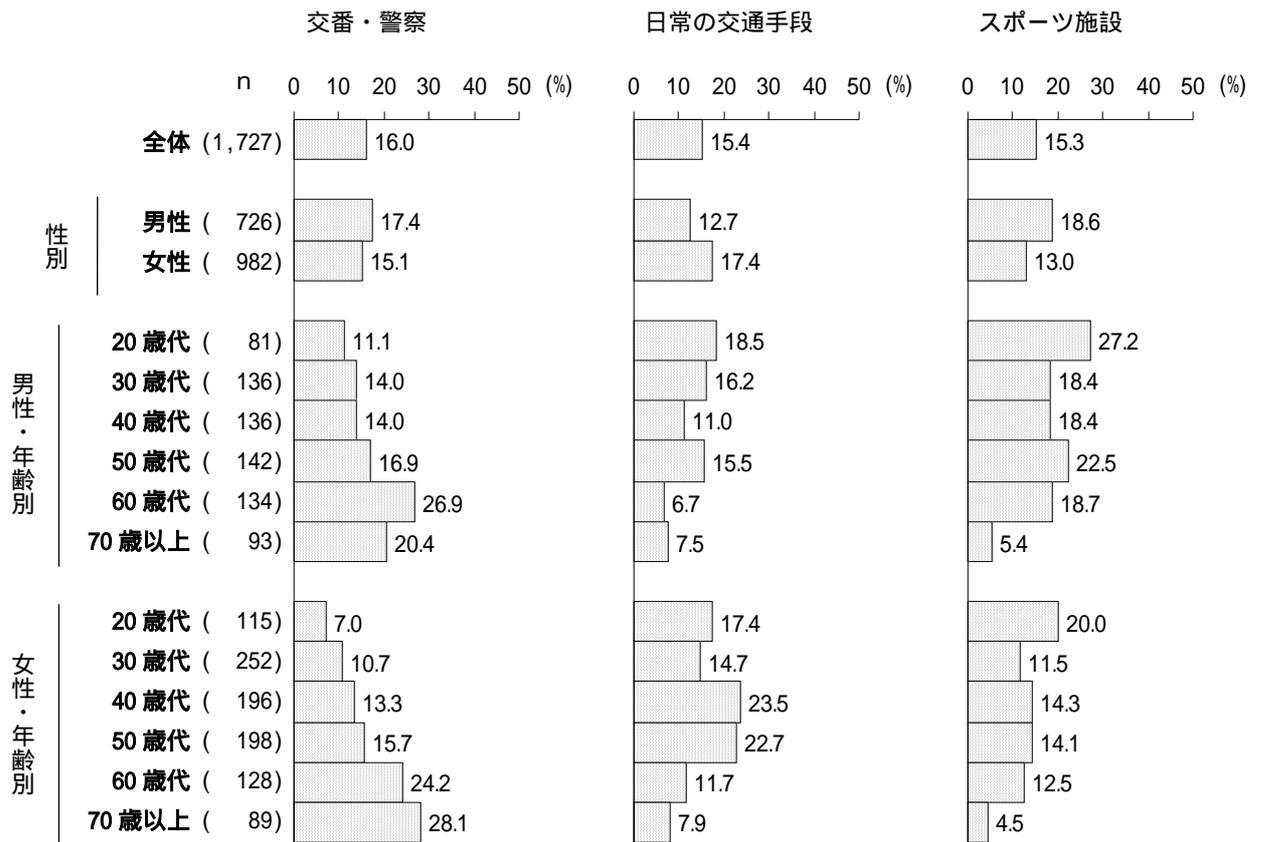
日常生活で不足あるいは不便と思う事を尋ねたところ、上位2項目は「図書館」(26.6%)と「駅の駐車場」(24.1%)で、ともに4人に1人の割合となっている。次いで、「駅の駐輪場」が16.7%、「交番・警察」が16.0%である。以下「日常の交通手段(バス・鉄道)」(15.4%)、「スポーツ施設」(15.3%)、「道路の幅員」(15.2%)、「日用品の店」(13.1%)、「病院・診療所」(12.4%)、「ごみのリサイクル・減量化」(12.2%)の順に続く。(図表4-4)

性別で見ると、「図書館」と「日常の交通手段」は女性の方が男性よりも割合が高くなっている。一方、「駅の駐車場」と「スポーツ施設」では男性が女性を上回る。

性・年齢別では、「図書館」は女性の20歳代で4割と高い割合を示し、年代が上がるにしたがって減少する傾向にある。一方、「交番・警察」では年代が上がるにしたがい増加する傾向がみられる。「日常の交通手段」に対しては、女性の40歳代と50歳代でやや高い割合を示している。「スポーツ施設」をあげる人は、男女とも20歳代で割合が高くなっている。(図表4-5)

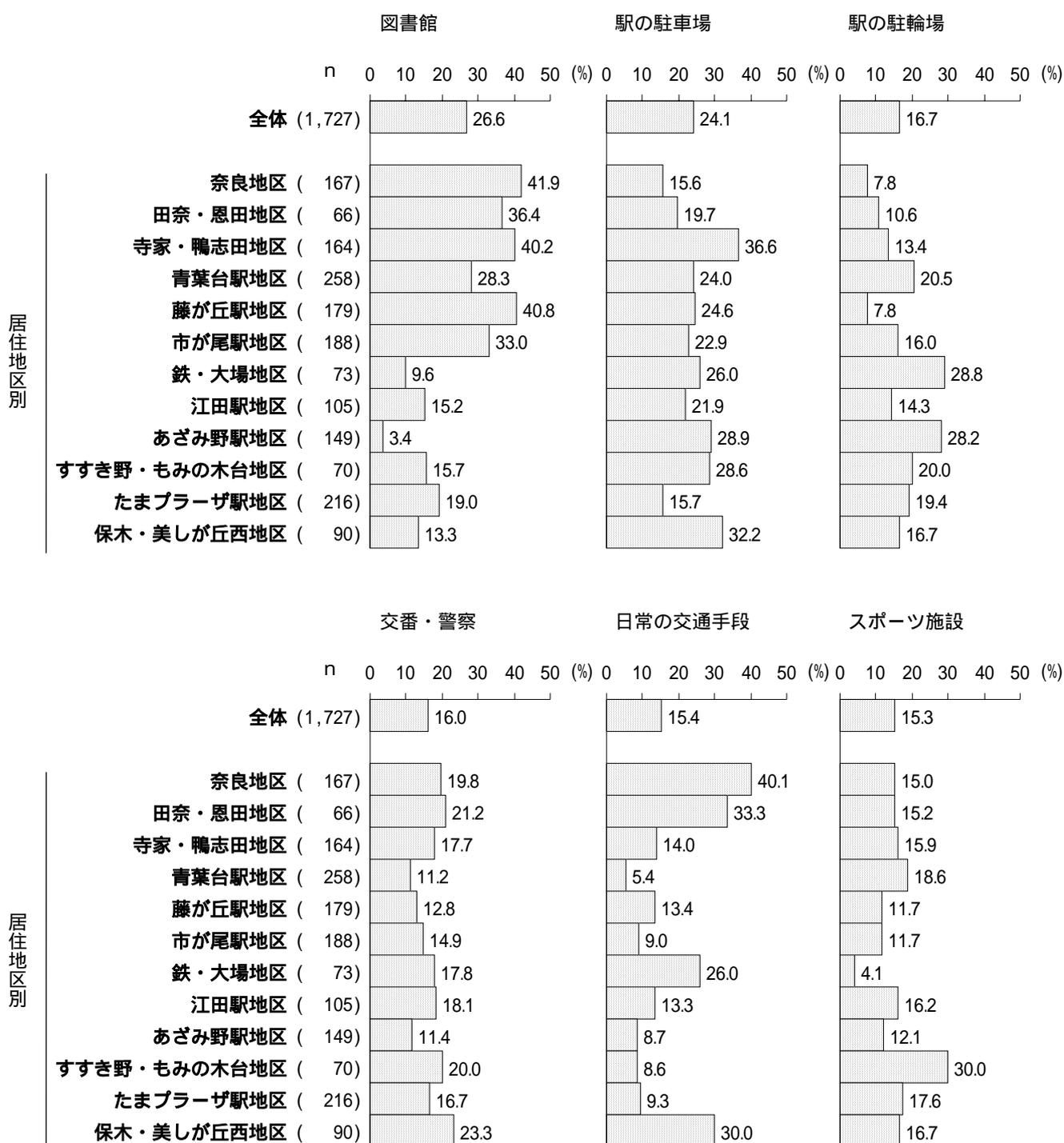
<図表4-5> 日常生活で不足・不便と思う事/性別、性・年齢別(上位6項目)





居住地区別でみると、「図書館」は“奈良地区”“藤が丘駅地区”“寺家・鴨志田地区”の3つで他の地区に比べ高い割合を示し、いずれも4割を超える。「日常の交通手段」では、“奈良地区”で4割と最も高く、これに“田奈・恩田地区”(33.3%)“保木・美しが丘西地区”(30.0%)が続いている。この他、割合が他の地区に比べて高いのは、「駅の駐車場」は“寺家・鴨志田地区”と“保木・美しが丘西地区”、「駅の駐輪場」は“鉄・大場地区”と“あざみ野駅地区”、「スポーツ施設」は“すすき野・もみの木台地区”となっている。(図表4-6)

<図表4-6> 日常生活で不足・不便と思う事/居住地区別(上位6項目)

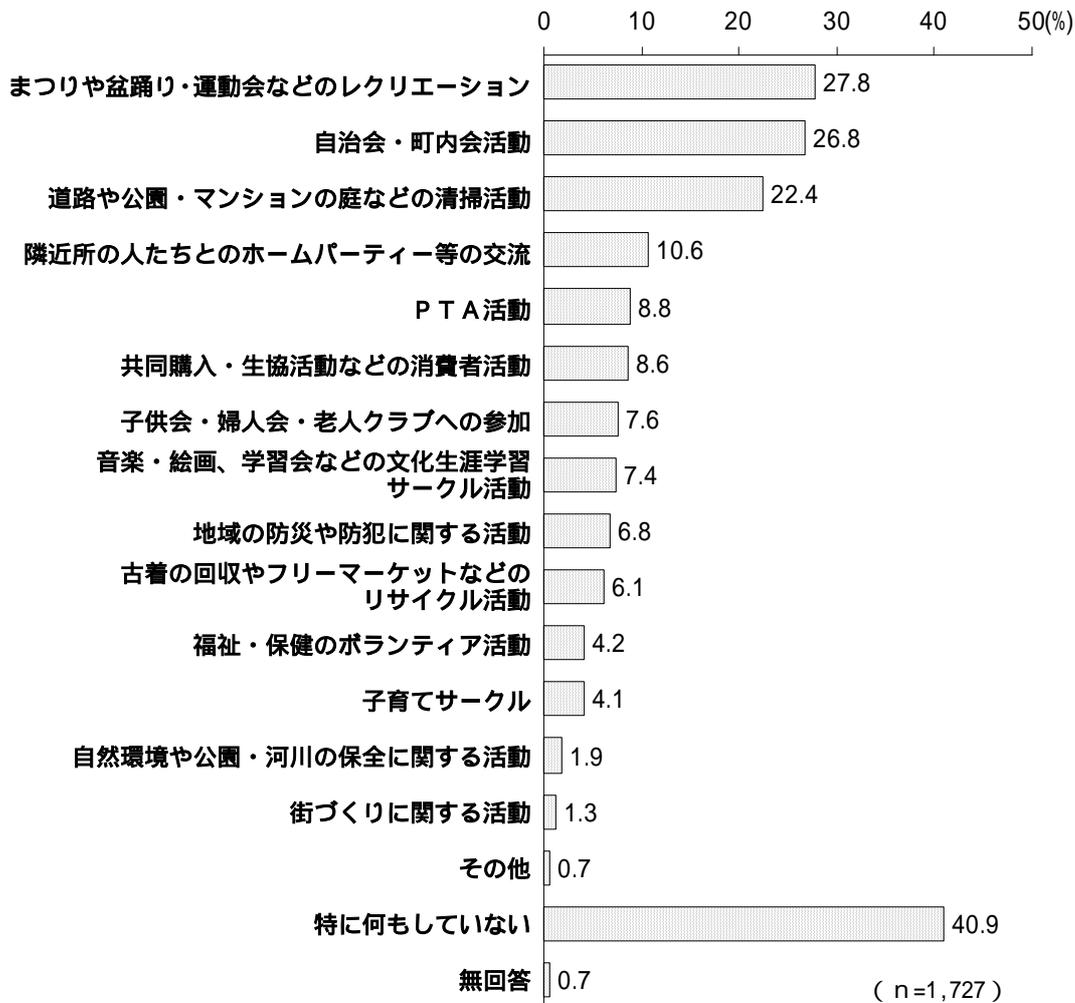


## 5 地域活動・地域社会について

### (1) 地域活動参加状況

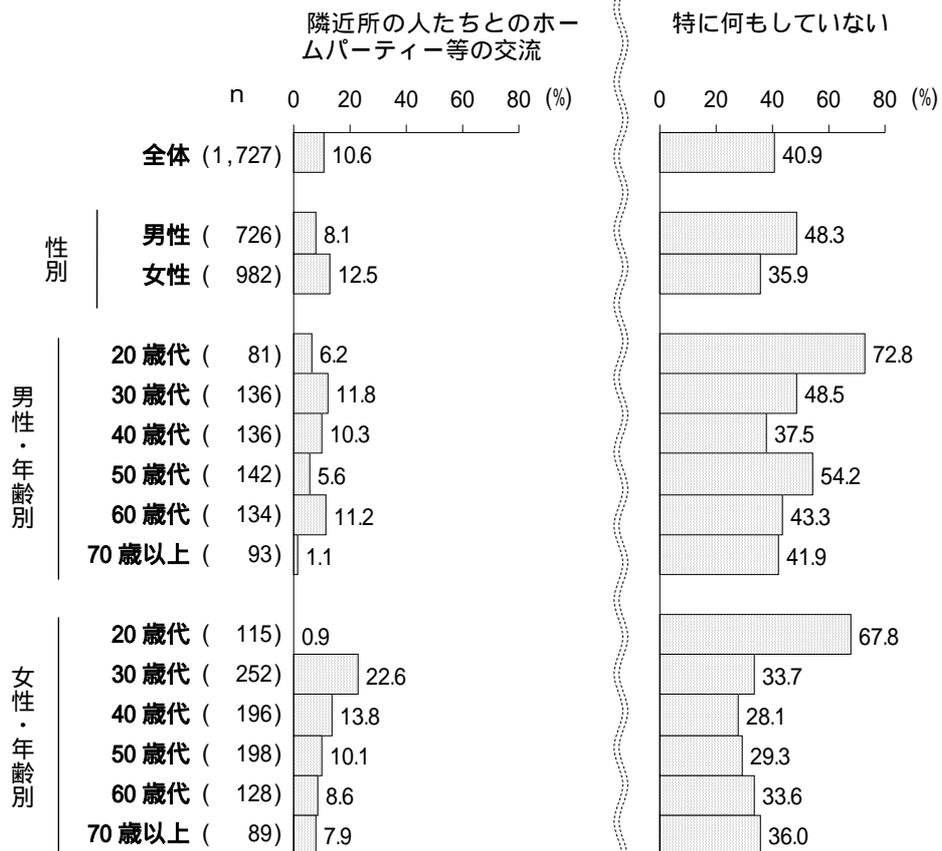
問 17 あなたは、今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげるような地域の活動に参加した事がありますか。（はいくつでも）

<図表5 - 1> 地域活動参加状況（複数回答）



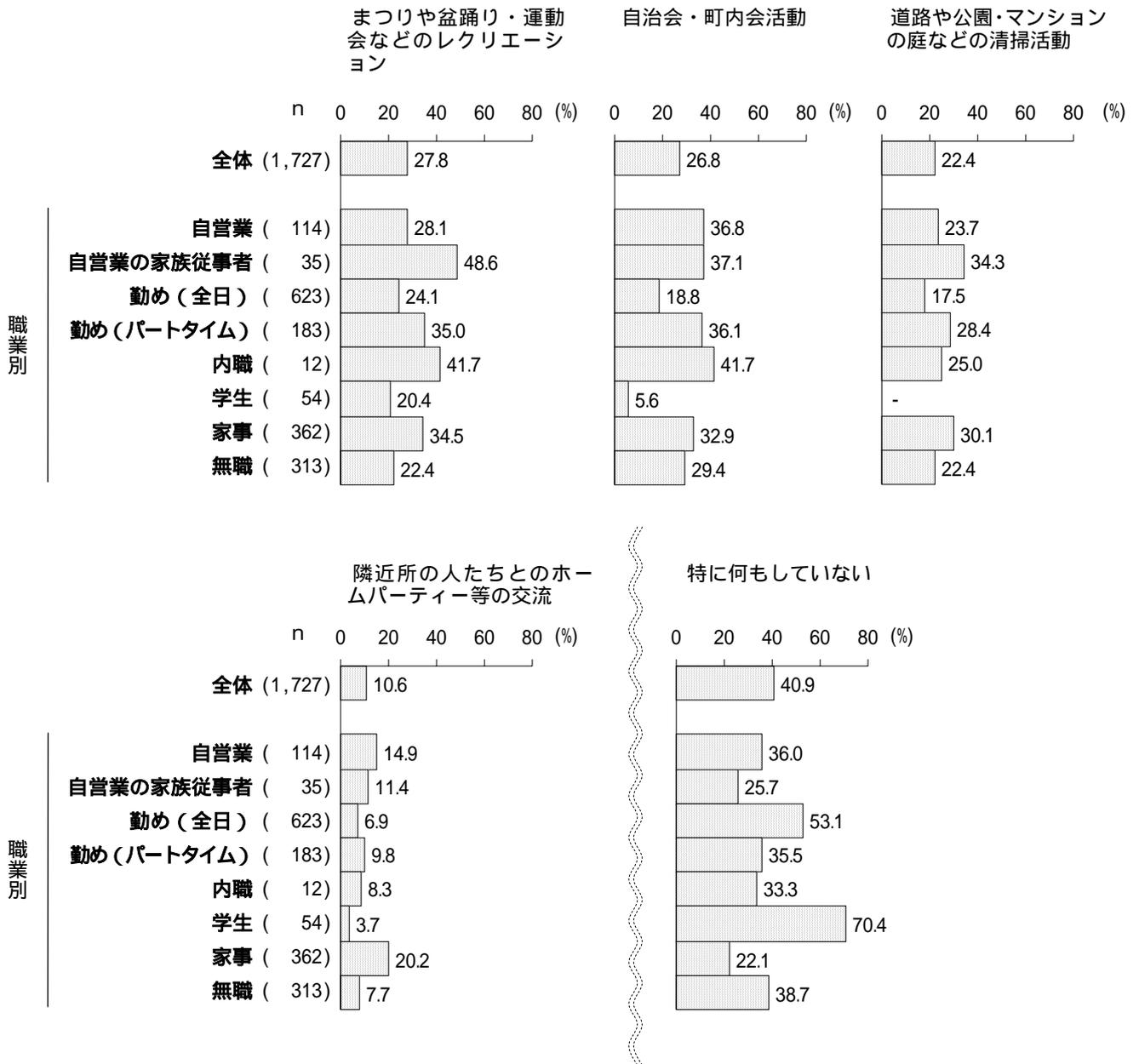
地域活動の参加状況は、「特になし」(40.9%)人の割合が4割を占めている。参加した地域活動では、「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」(27.8%)と「自治会・町内会活動」(26.8%)の割合がやや高く、2割台半ばとなっている。また「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」でも22.4%と比較的高くなっている。(図表5 - 1)





職業別でみると、「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」は“自営業の家族従事者”で最も割合が高く、ほぼ半数の人が「参加している」等に回答している。「特に何もしていない」では、“学生”で70.4%と高い割合を示している。(図表5-3)

<図表5-3> 地域活動参加状況/職業別(上位4項目、「特に何もしていない」)

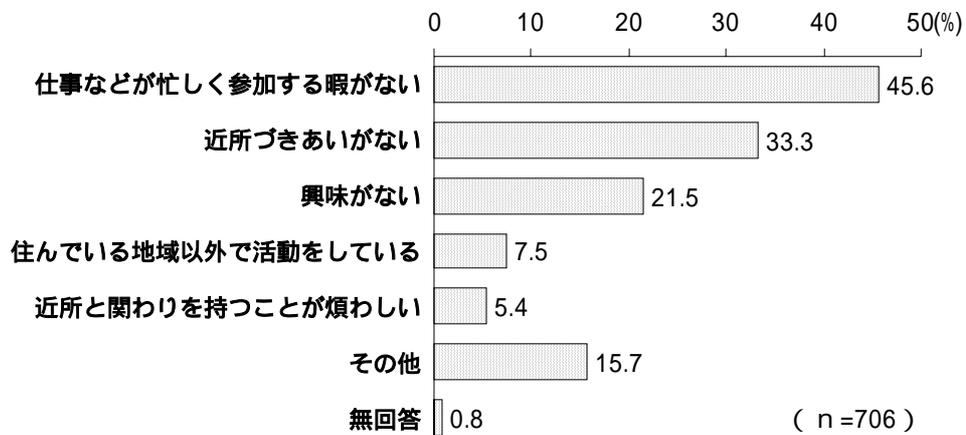


## ( 1 - 1 ) 参加していない理由

( 問 17 で「16 特に何もしていない」とお答えの方に )

問 17 - 1 参加していない理由は何ですか。( は2つまで)

< 図表 5 - 4 > 参加していない理由 ( 複数回答 )



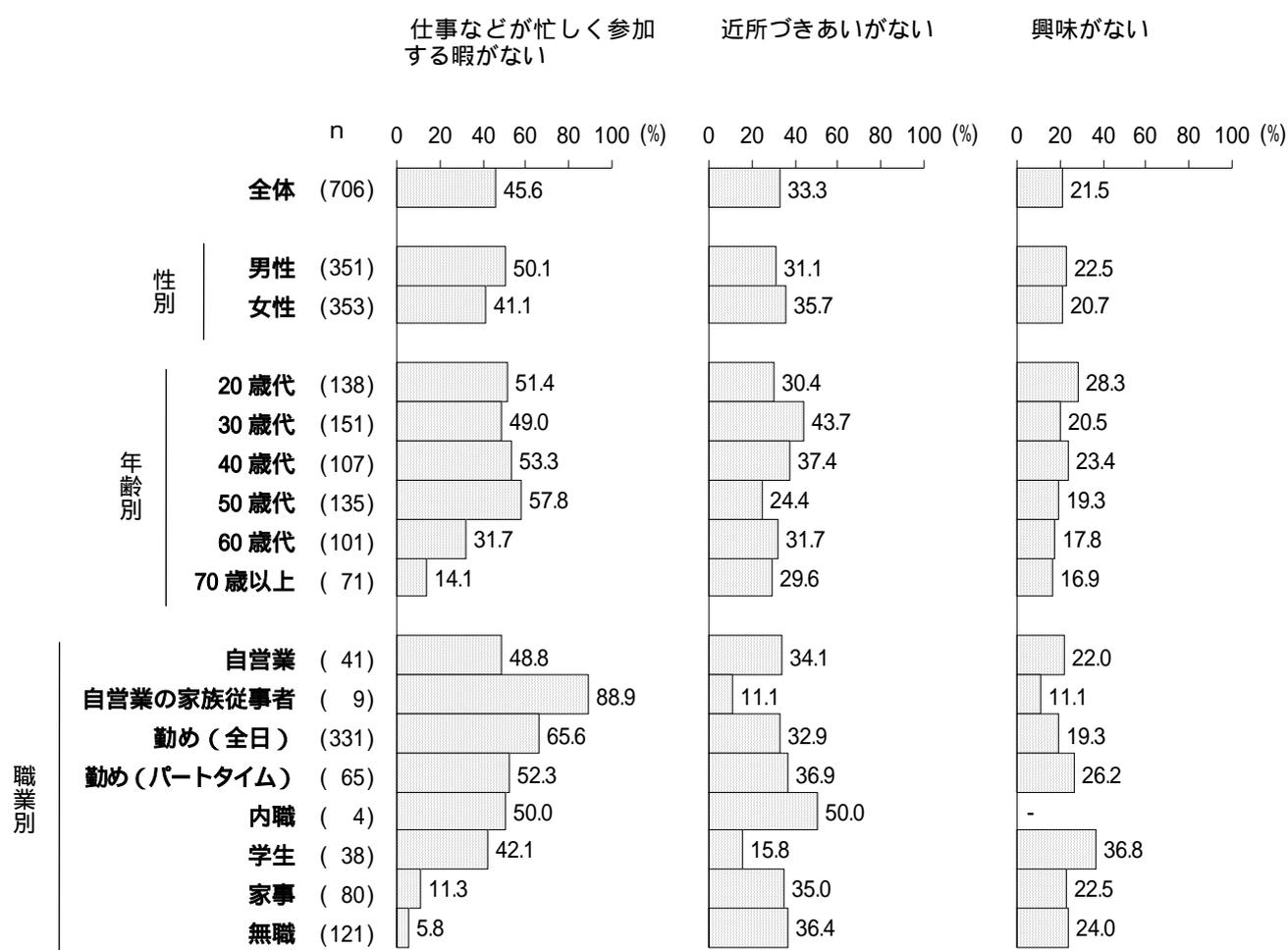
問 17 で地域活動を何もしていないと答えた人に、その理由について尋ねたところ、「仕事などが忙しく参加する暇がない」( 45.6% ) が最も高く、半数近くの人が回答している。次いで、「近所づきあいがない」が 33.3%、「興味がない」が 21.5% である。( 図表 5 - 4 )

性別でみると、「仕事などが忙しく参加する暇がない」は男性の方が女性よりも割合が高い。

年齢別では、「仕事などが忙しく参加する暇がない」の割合は20歳代～50歳代で半数前後を占めており、中でも50歳代では57.8%と最も高い。「近所づきあいがない」では、30歳代で最も高い割合を示している。(図表5-5)

職業別では、「仕事などが忙しく参加する暇がない」は、“勤め(全日)”で65.6%と高い割合を示している。「興味がない」では、“学生”で他に比べ高くなっており、全体より約15ポイント上回る。(図表5-5)

<図表5-5> 参加していない理由/性別、年齢別、職業別(上位3項目)

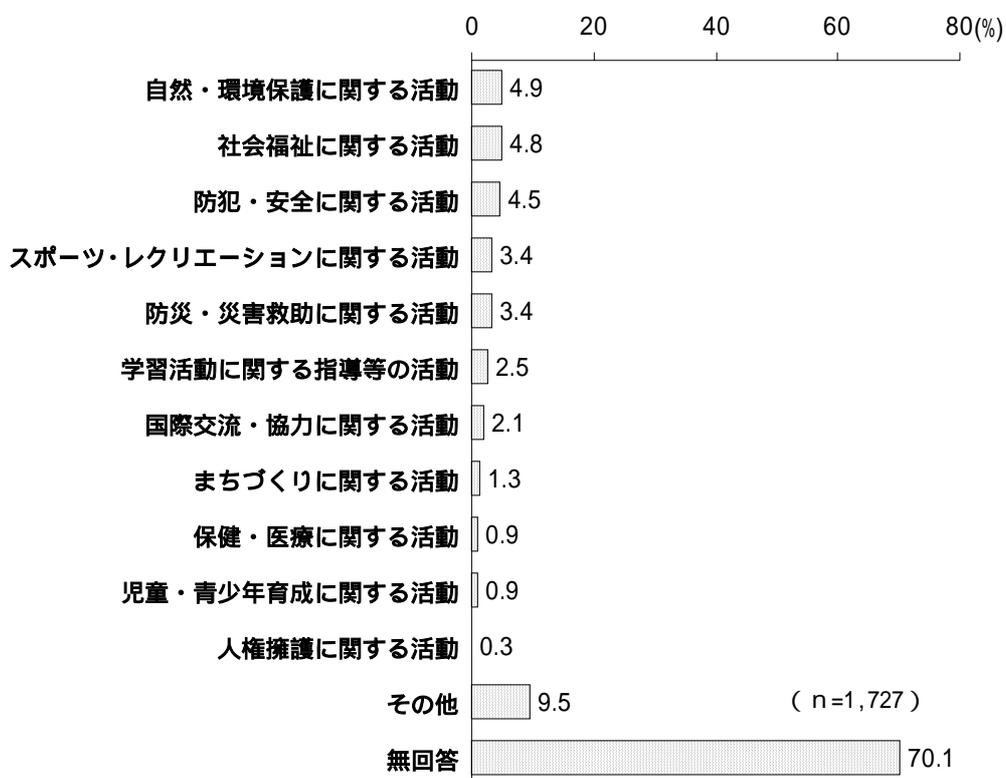


注1 / “自営業の家族従事者”と“内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## ( 2 ) 職業以外の社会的活動参加状況

問 18 あなたは、この 1 ～ 2 年の間に職業以外の社会的活動（ボランティアやNPO〔民間非営利団体〕など、自分の持つ力を社会に役立てようと市民自らが行う活動）を行ったことがありますか。（はいいくつでも）

< 図表 5 - 6 > 職業以外の社会的活動参加状況（複数回答）

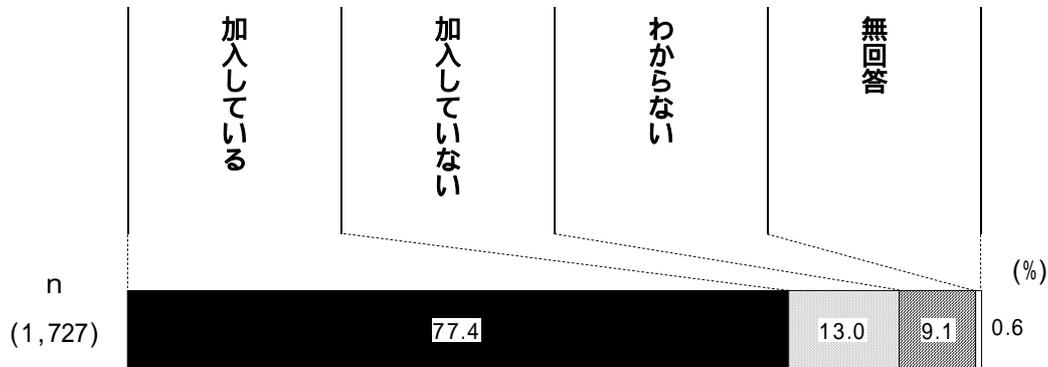


職業以外の社会的活動を行ったことがある人は 3 割となっており、参加経験者は少ない状況にある。（図表 5 - 6）

### ( 3 ) 自治会・町内会への加入の有無

問 19 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか。( は1つだけ)

< 図表 5 - 7 > 自治会・町内会への加入の有無



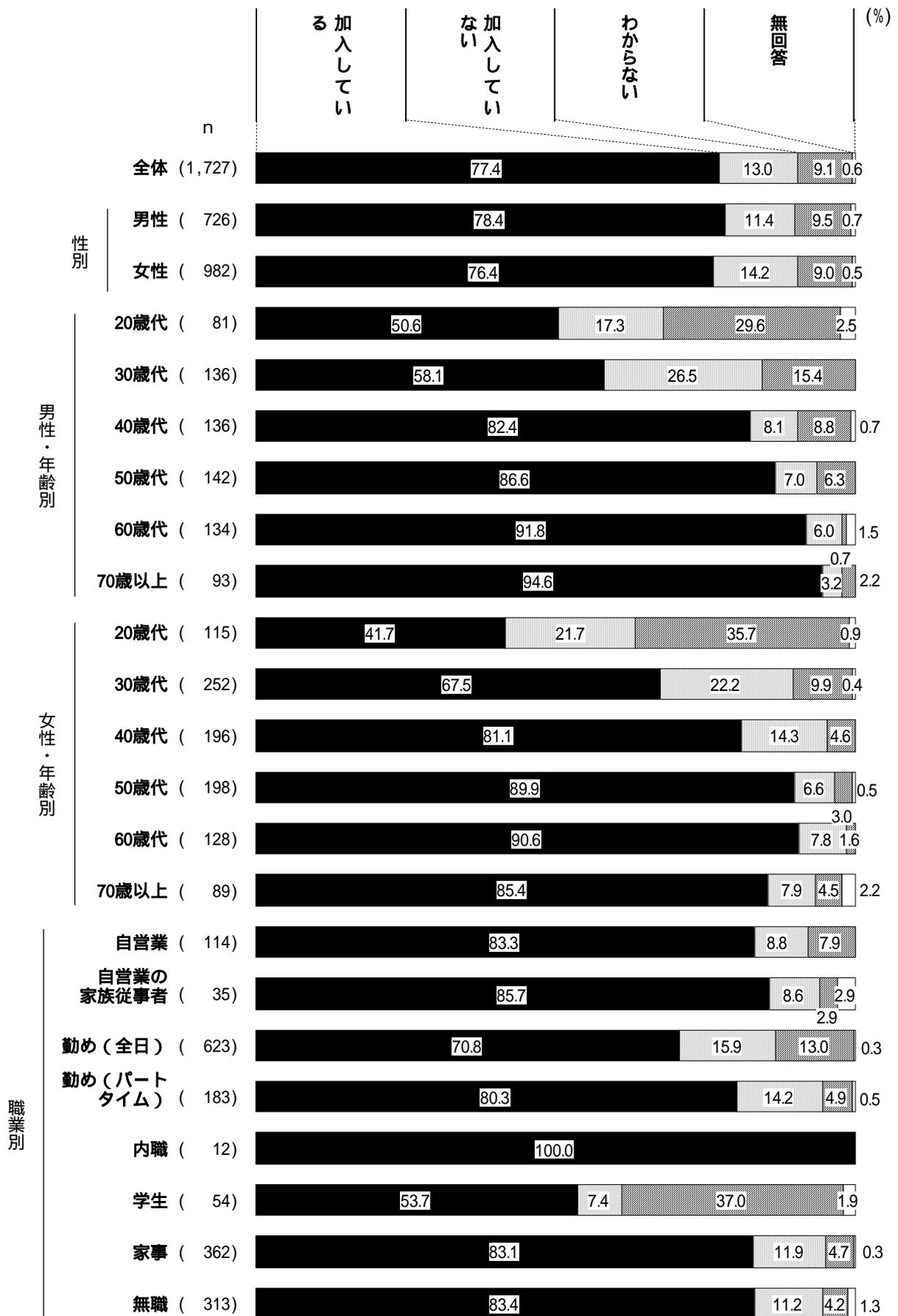
地域の自治会・町内会への加入状況は、「加入している」人が 77.4%と大多数を占めている。一方、「加入していない」は 13.0%である。( 図表 5 - 7 )

性別では大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「加入している」人の割合は、年齢が上がるにしたがって高くなる傾向にある。一方で、男女とも 20 歳代の加入率は他の年代に比べ低く、特に女性の 20 歳代では、半数を下回っている。

職業別では、全体的に加入率はおおむね 8 割台となっているが、“勤め(全日)”では 70.8%と他に比べやや低くなっている。( 図表 5 - 8 )

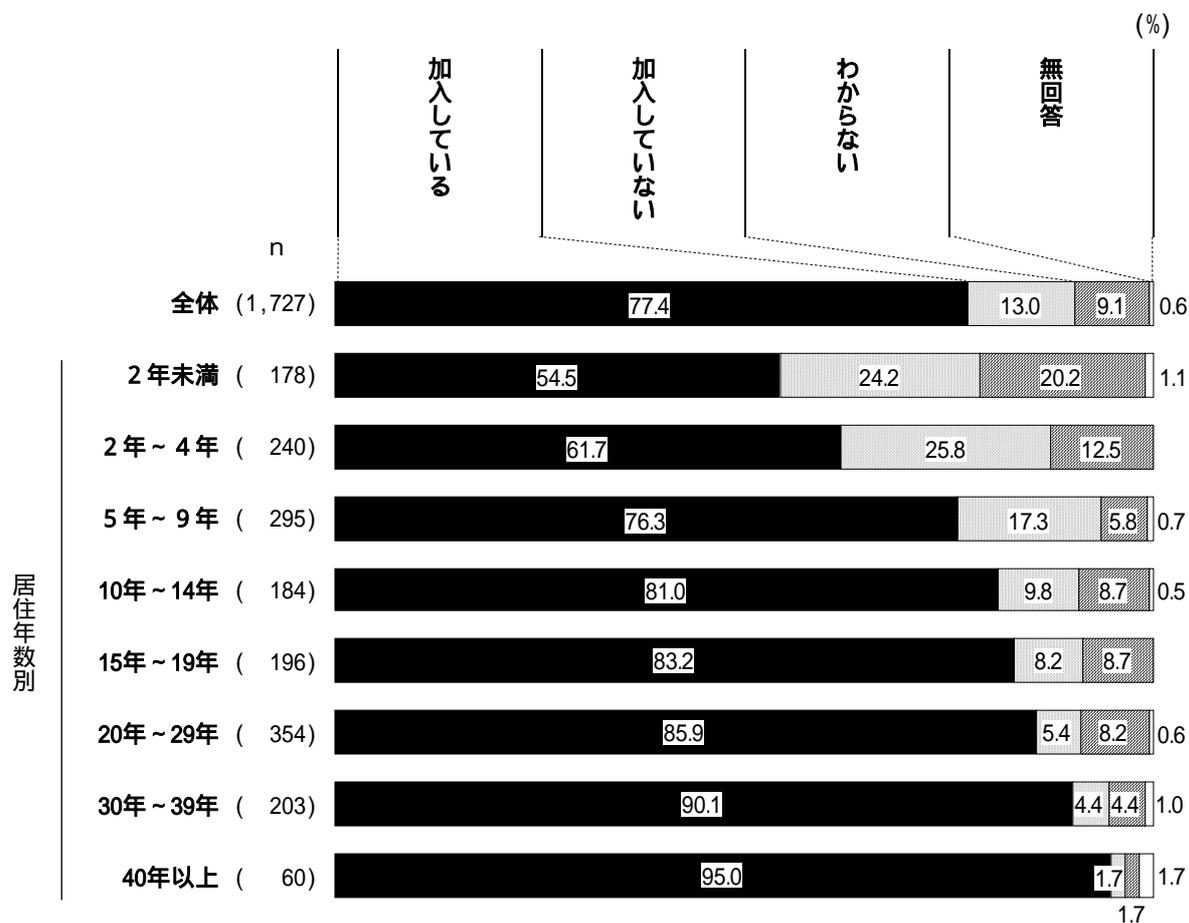
<図表5 - 8> 自治会・町内会への加入の有無 / 性別、性・年齢別、職業別



注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

居住年数別でみると、「加入している」人の割合は、年数が長いほど高くなる傾向にあり、30年  
以上では9割を超えている。(図表5 - 9)

<図表5 - 9> 自治会・町内会への加入の有無 / 居住年数別

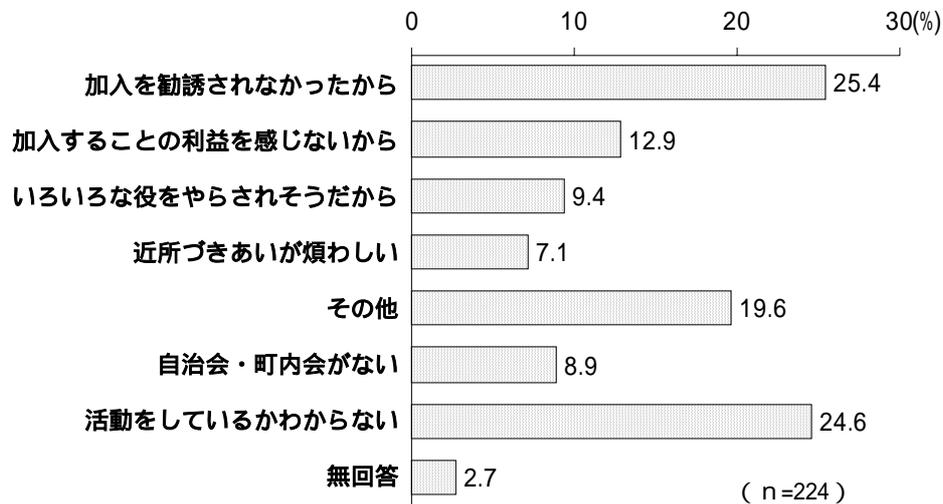


### ( 3 - 1 ) 加入していない理由

( 問 19 で「 2 加入していない」とお答えの方に )

問 19 - 1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。( は 2 つまで )

< 図表 5 - 10 > 加入していない理由 ( 複数回答 )

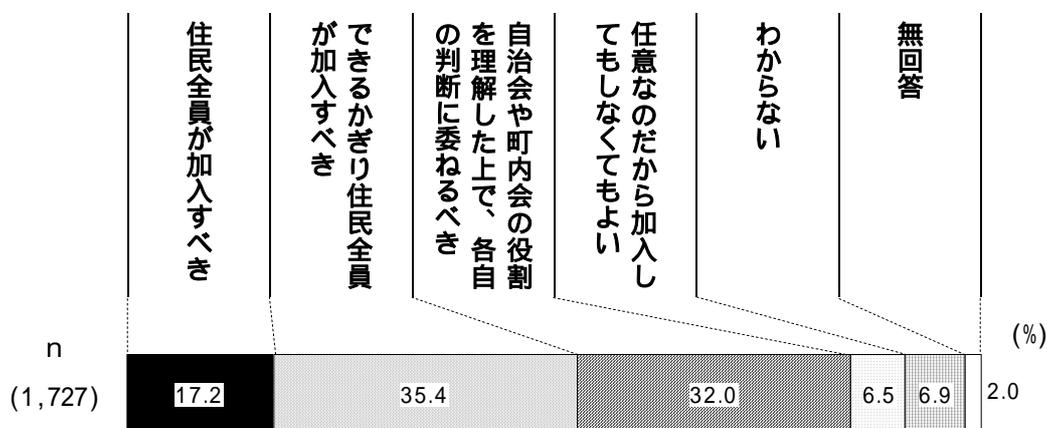


問 19 で自治会・町内会へ加入していないと答えた人に、その理由について尋ねたところ、「加入を勧誘されなかったから」が 25.4% と最も比率が高くなっている。また、「活動をしているかわからない」といった回答も 24.6% あった。( 図表 5 - 10 )

#### (4) 自治会や町内会の加入に対する考え

問 20 あなたは、自治会や町内会の加入について、どう思われますか。( は1つだけ)

<図表 5 - 11> 自治会や町内会の加入に対する考え



自治会や町内会の加入に対する考えを尋ねたところ、「住民全員が加入すべき」が 17.2%となっており、これに「できるかぎり住民全員が加入すべき」(35.4%)をあわせると、住民全員が加入すべきと考えている人が過半数を占めている。また、3人に1人は「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」(32.0%)と回答している。(図表 5 - 11)

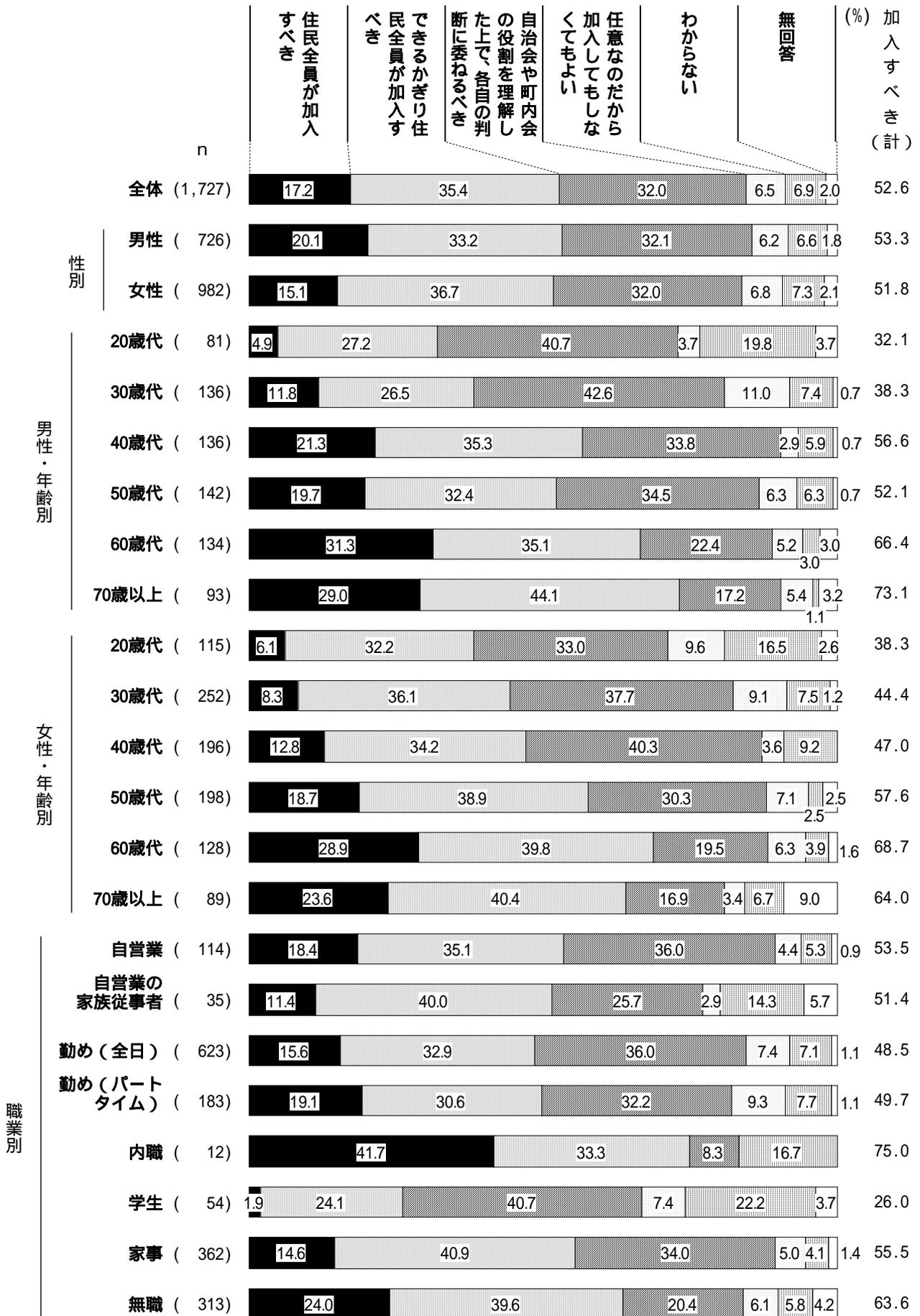
性別では大きな違いはみられない。

性・年齢別では、住民全員が加入すべきと考えている人は、年齢が高いほど割合も高くなる傾向がみられ、特に男性の70歳以上では7割を超えている。

職業別では、住民全員が加入すべきの割合は“無職”で63.6%と最も高く、“家事”“自営業”“自営業の家族従事者”でも過半数を占めている。「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」との意見は、“学生”で4割と高い割合を示している。(図表 5 - 12)

注 1 / 住民全員が加入すべき = 「住民全員が加入すべき」+ 「できるかぎり住民全員が加入すべき」

<図表5 - 12> 自治会や町内会の加入に対する考え / 性別、性・年齢別、職業別

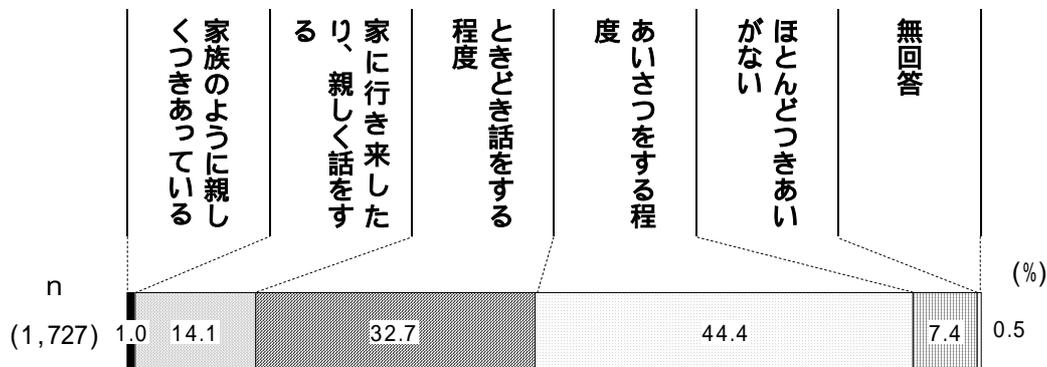


注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## (5) 近所づきあいの程度

問21 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか。( は1つだけ)

<図表5 - 13> 近所づきあいの程度



近所づきあいは「あいさつをする程度」が最も多く、44.4%となっている。次いで「ときどき話をする程度」が32.7%と多く、「家に行き来したり、親しく話をする」は14.1%である。(図表5 - 13)

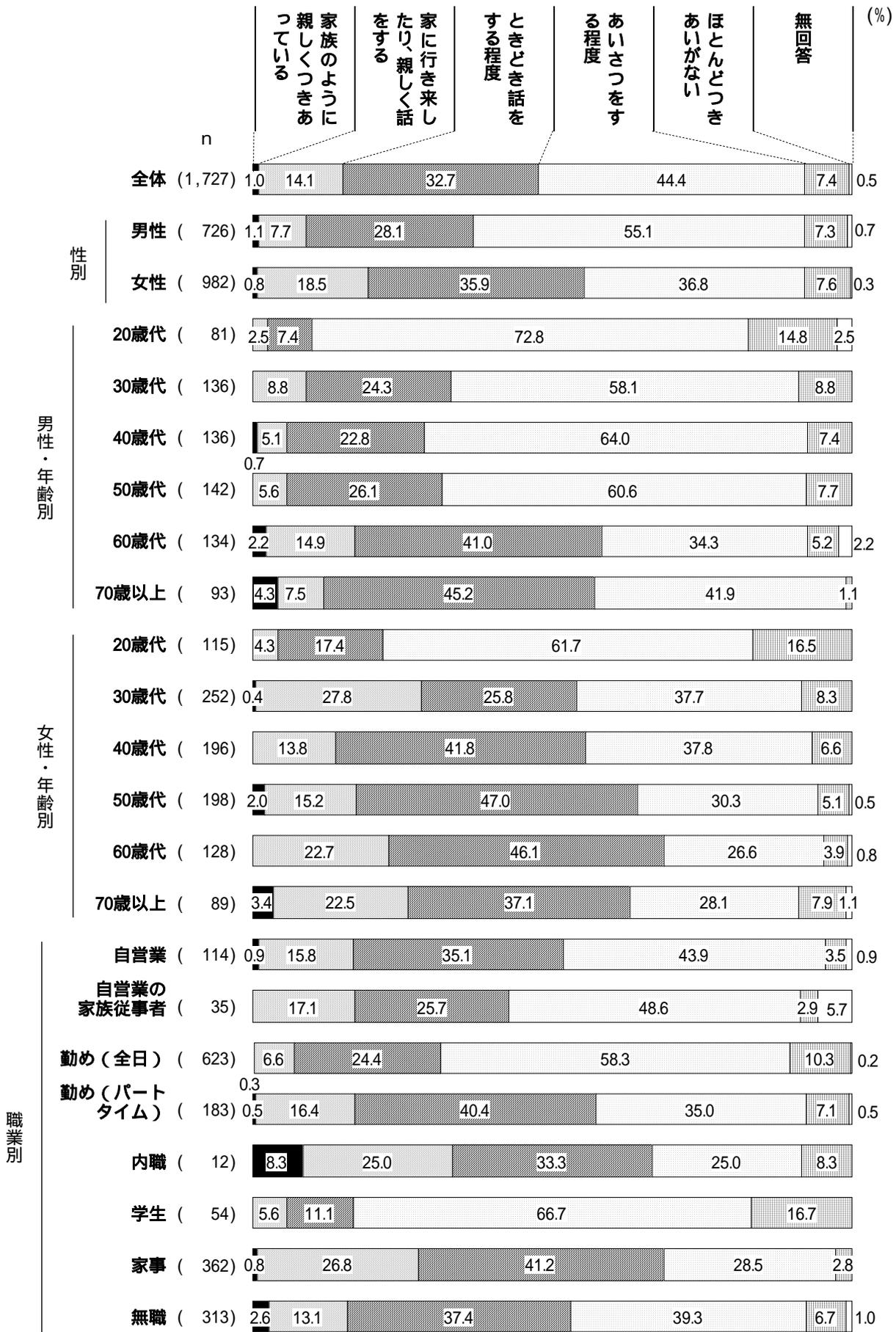
性別で見ると、女性の方が男性よりも近所づきあいの程度が高いことが分かる。

性・年齢別では、女性では30歳以上の人の半数以上は会話以上のつきあいをしているが、男性では60歳以上で過半数を占めるものの60歳未満では半数にも満たない。「あいさつをする程度」では、男女ともに20歳代で高い割合を示し、特に男性の20歳代では7割を超えている。同様に、「ほとんどつきあいが無い」の割合が他の年代に比べ高いのも、男女20歳代である。

職業別では、「家に行き来したり、親しく話をする」人の割合が高いのは“家事”で、4人に1人が回答しており、また会話以上のつきあいをしている人の割合も7割に近い。会話以上のつきあいでは、“勤め(パートタイム)”“無職”“自営業”などでも半数以上が回答している。「あいさつをする程度」では、“学生”で66.7%と最も割合が高く、次いで“勤め(全日)”で58.3%と多数を占めている。(図表5 - 14)

注1 / 会話以上のつきあいをしている = 「家族のように親しくつきあっている」 + 「家に行き来したり、親しく話をする」 + 「ときどき話をする程度」

<図表5 - 14> 近所づきあいの程度 / 性別、性・年齢別、職業別

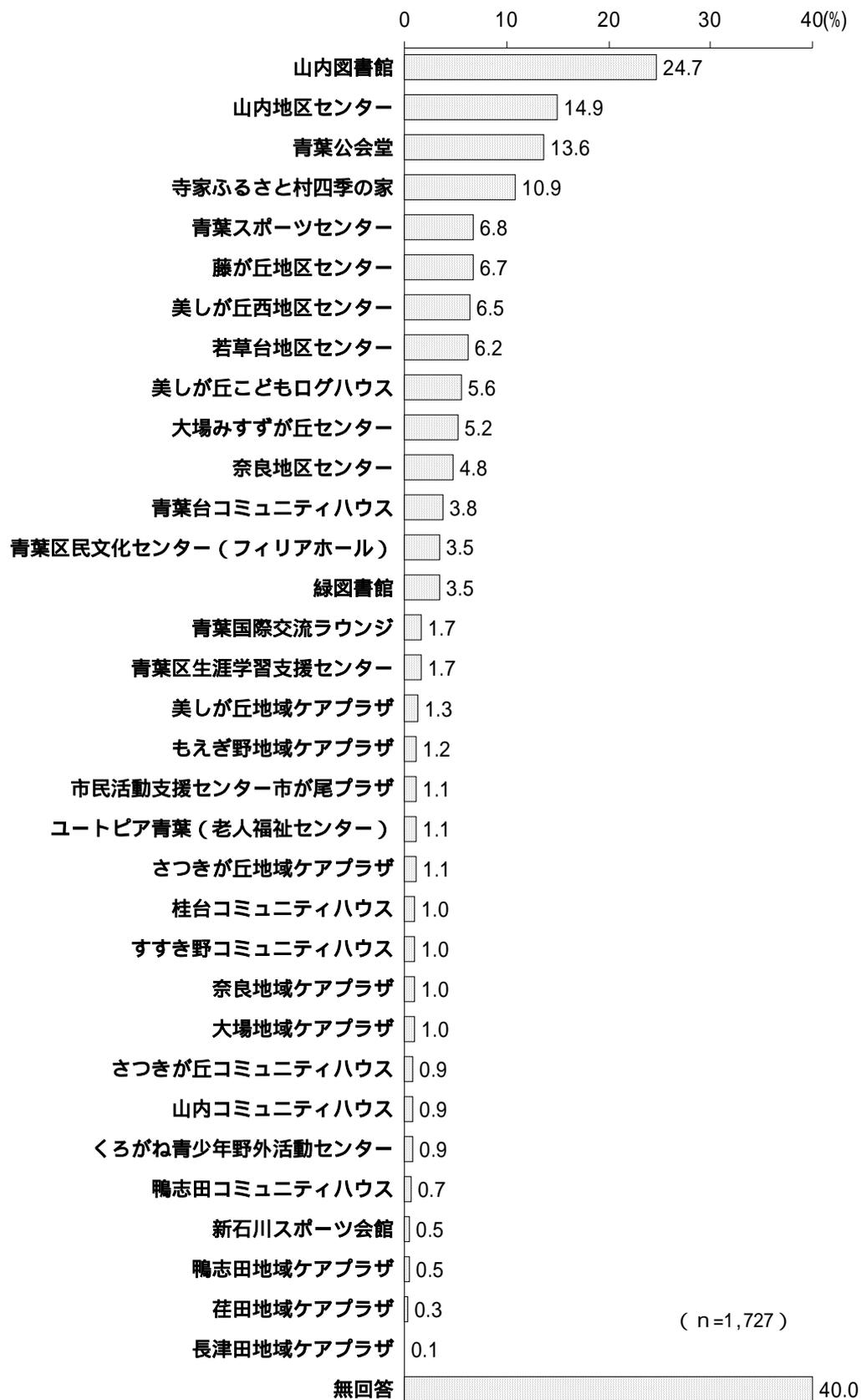


注2 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## ( 6 ) 施設の利用状況

問 22 あなたは、この1年の間に、下記の施設を利用したことがありますか。( はいいくつでも )

< 図表 5 - 15 > 施設の利用状況 ( 複数回答 )

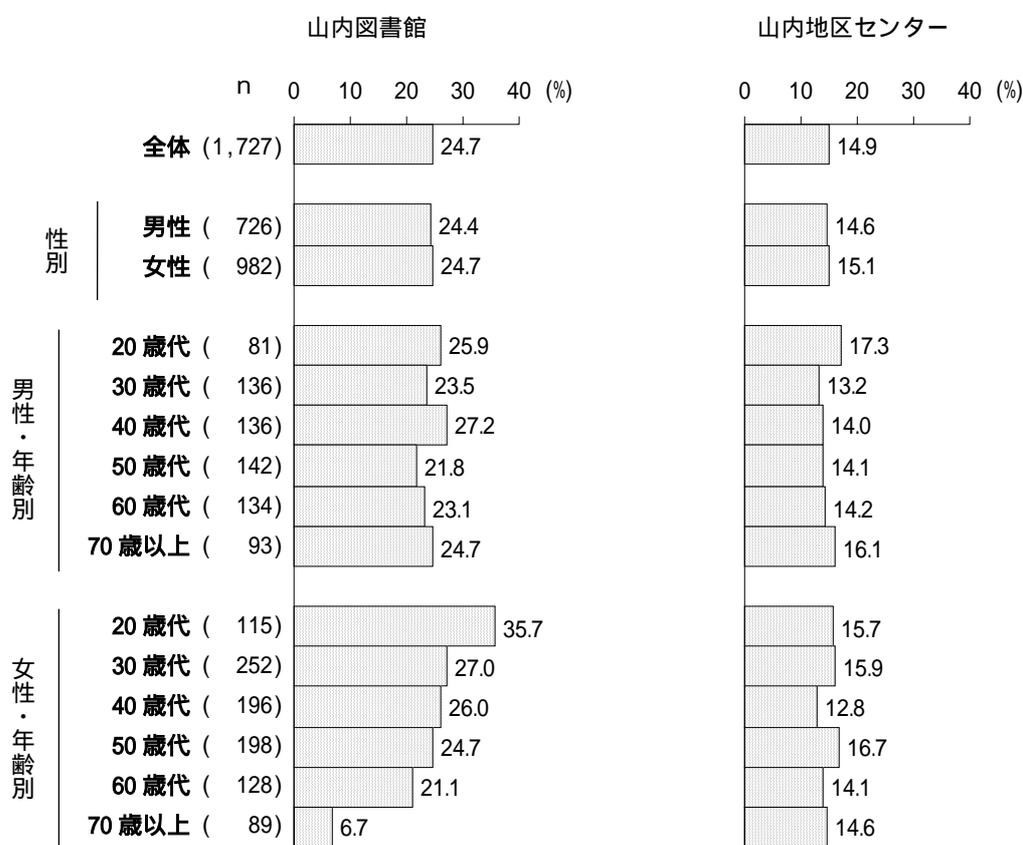


施設の利用について尋ねたところ、何かしら施設を利用している人は6割で、最も比率が高かったのは「山内図書館」で、24.7%となっている。以下「山内地区センター」(14.9%)、「青葉公会堂」(13.6%)、「寺家ふるさと村四季の家」(10.9%)の順に続く。(図表5 - 15)

性別でみても、大きな違いはみられないが、「青葉公会堂」は女性の方が男性よりもやや高い割合を示している。

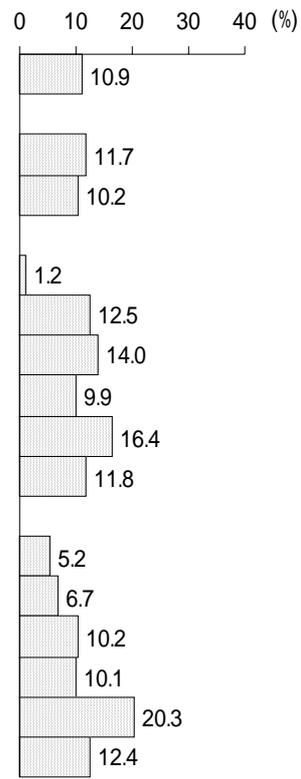
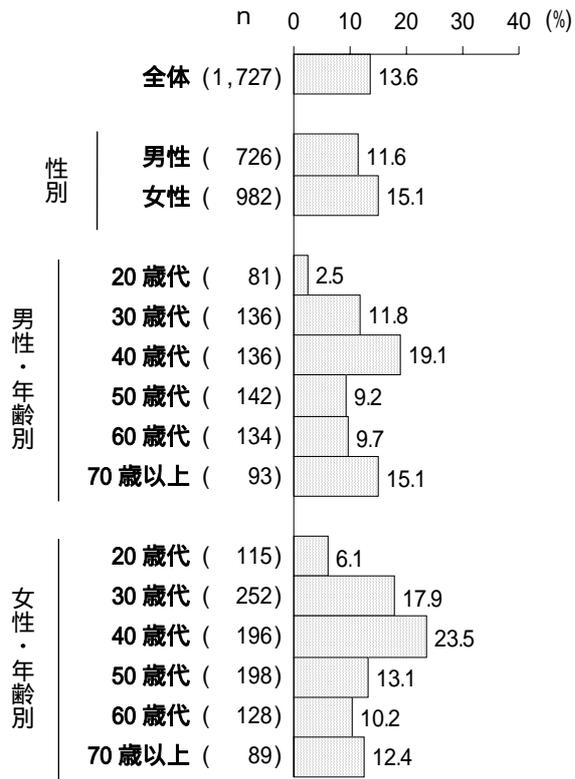
性・年齢別では、「山内図書館」は女性の20歳代で35.7%と高い割合を示し、以降加齢とともに漸減している。「青葉公会堂」は女性の40歳代、「寺家ふるさと村四季の家」では女性の60歳代で他に比べ高くなっており、いずれも2割を超えている。(図表5 - 16)

<図表5 - 16> 施設の利用状況 / 性別、性・年齢別 (上位4項目)



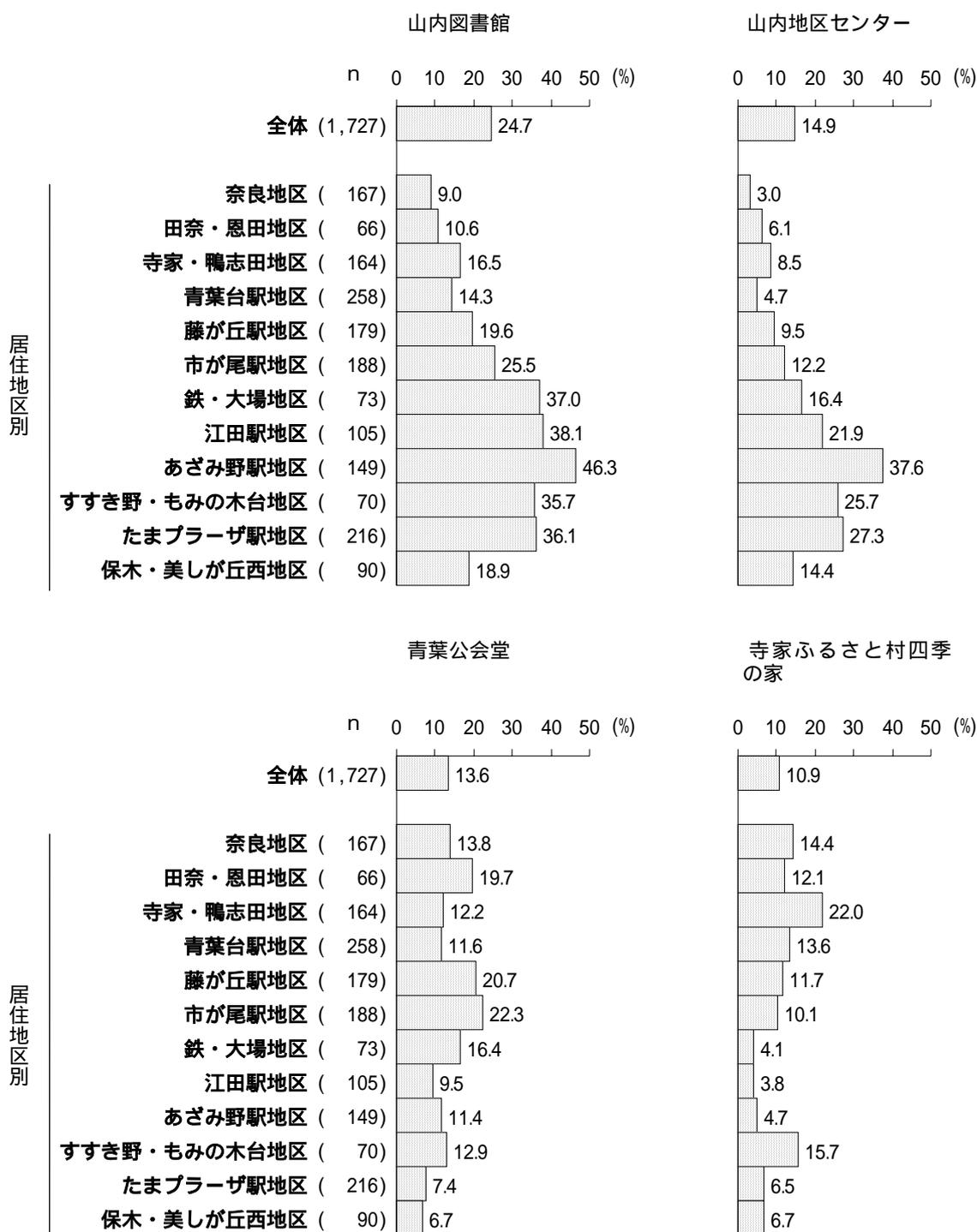
青葉公会堂

寺家ふるさと村四季の家



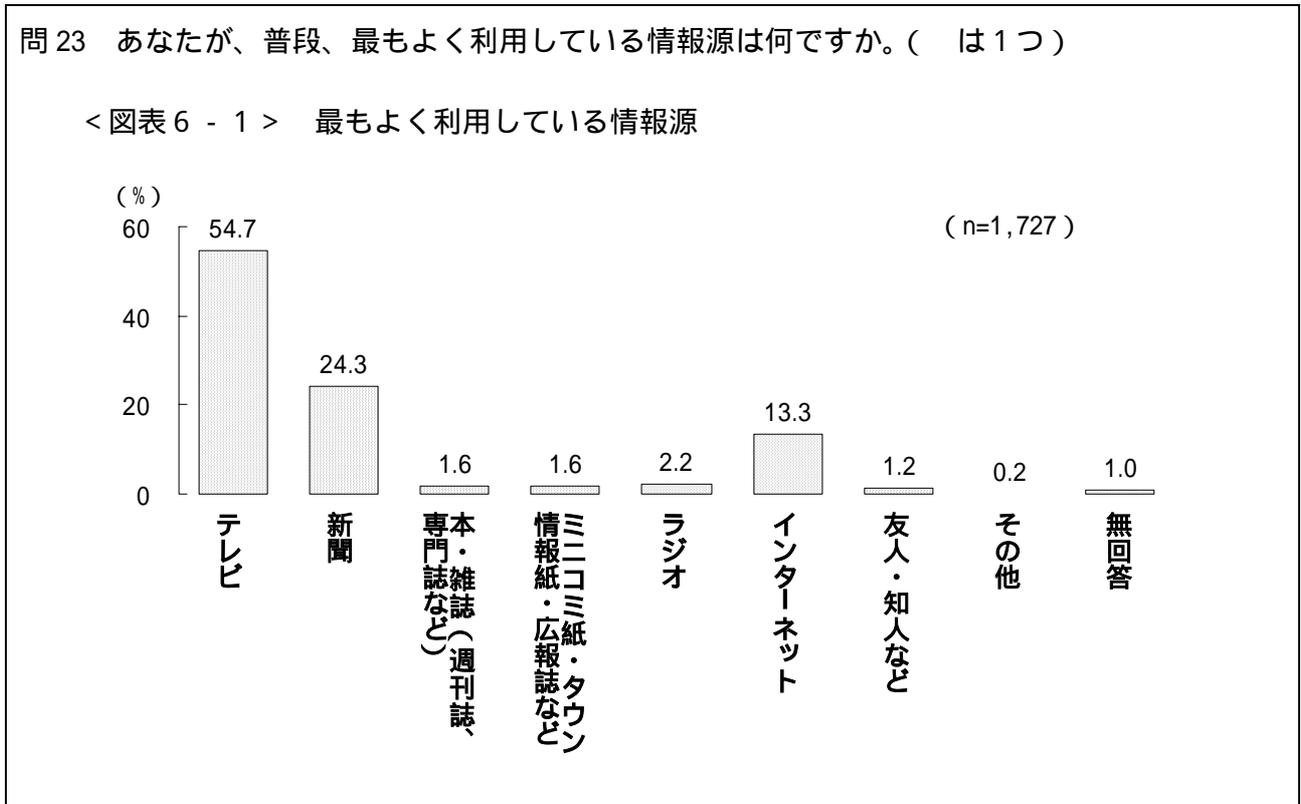
居住地区別でみると、「山内図書館」は“あざみ野駅地区”で46.3%と最も割合が高く、これに“江田駅地区”“鉄・大場地区”“たまプラーザ駅地区”“すすき野・もみの木台地区”が続いている。「山内地区センター」でも“あざみ野駅地区”で37.6%と最も高くなっており、以下“たまプラーザ駅地区”“すすき野・もみの木台地区”と続いている。「青葉公会堂」では“市が尾駅地区”と“藤が丘駅地区”、「寺家ふるさと村四季の家」では“寺家・鴨志田地区”で他の地区に比べ高い割合を示し、いずれも2割を超えている。(図表5-17)

<図表5-17> 施設の利用状況/居住地区別(上位4項目)



## 6 情報・インターネットについて

### (1) 最もよく利用している情報源



最もよく利用している情報源について尋ねたところ、「テレビ」が 54.7% と過半数を占めている。次いで「新聞」が 24.3%、「インターネット」が 13.3% となっている。(図表 6 - 1)

性別で見ると、「テレビ」は女性の方が圧倒的に高い割合を示すが、「新聞」では男性が女性を上回っている。

性・年齢別では、「テレビ」の利用率は女性の 30 歳代と 40 歳代で比較的高く、いずれも 6 割台半ばを占めている。「新聞」では男性の 50 歳代と 60 歳代で高い割合を示し、その割合は 4 割を超える。「インターネット」では、男女とも 20 歳代で最も割合が高く、年代が上がるにしたがって減少している。

職業別では、「テレビ」は“自営業の家族従事者”で 74.3% と最も高く、これに“無職”(64.2%)、“家事”(63.0%) が続いている。「インターネット」では、“学生”で高い割合を示し、3 人に 1 人が回答している他、“勤め(全日)”では 23.0% となっている。(図表 6 - 2)

< 図表 6 - 2 > 最もよく利用している情報源 / 性別、性・年齢別、職業別

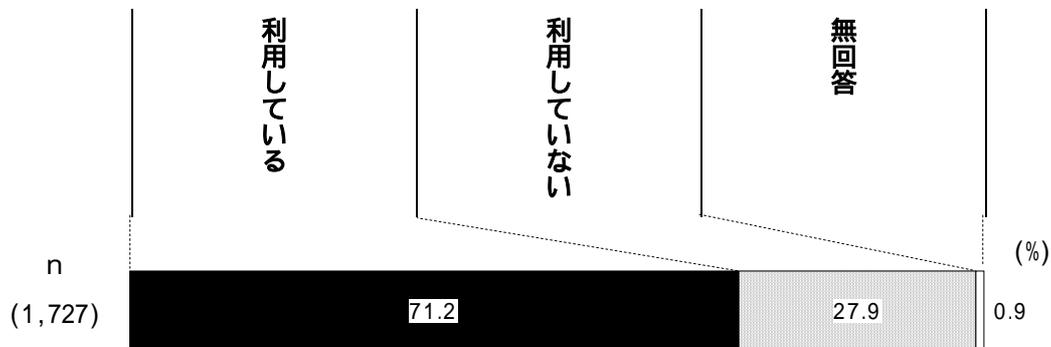
(%)

		n	テレビ	新聞	本・雑誌 (週刊誌、専門誌など)	ミニコミ 紙・タウン情報 紙・広報誌など	ラジオ	インター ネット	友人・知 人など	その他	無回答
全体		1,727	54.7	24.3	1.6	1.6	2.2	13.3	1.2	0.2	1.0
性別	男性	726	44.6	32.2	2.2	0.8	1.8	16.5	0.7	0.1	1.0
	女性	982	61.8	18.6	1.2	2.0	2.4	11.1	1.5	0.2	1.0
性 年 齢 別	男性 20 歳代	81	38.3	6.2	6.2	0.0	3.7	39.5	3.7	0.0	2.5
	30 歳代	136	41.9	25.0	1.5	1.5	0.7	29.4	0.0	0.0	0.0
	40 歳代	136	47.1	28.7	2.2	0.0	0.7	21.3	0.0	0.0	0.0
	50 歳代	142	45.8	42.3	1.4	0.7	1.4	7.7	0.7	0.0	0.0
	60 歳代	134	38.8	44.8	1.5	1.5	3.0	6.0	0.7	0.7	3.0
	70 歳以上	93	58.1	35.5	2.2	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	1.1
	女性 20 歳代	115	60.9	5.2	2.6	0.0	0.9	29.6	0.0	0.0	0.9
	30 歳代	252	63.9	9.9	2.4	1.6	2.0	18.3	2.0	0.0	0.0
	40 歳代	196	65.3	18.9	1.0	2.0	0.5	9.2	3.1	0.0	0.0
	50 歳代	198	59.6	26.3	0.0	3.5	3.5	5.1	0.5	1.0	0.5
	60 歳代	128	52.3	32.8	0.8	3.1	7.0	0.8	1.6	0.0	1.6
70 歳以上	89	67.4	23.6	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	6.7	
職 業 別	自営業	114	45.6	37.7	1.8	2.6	0.9	10.5	0.0	0.0	0.9
	自営業の家族従事者	35	74.3	17.1	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	勤め(全日)	623	45.6	25.8	1.9	0.8	1.8	23.0	0.5	0.3	0.3
	勤め(パートタイム)	183	55.7	26.2	1.1	2.2	3.3	8.7	1.1	0.0	1.6
	内職	12	58.3	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	54	50.0	9.3	5.6	0.0	0.0	33.3	1.9	0.0	0.0
	家事	362	63.0	21.0	0.8	2.5	3.3	6.9	1.9	0.3	0.3
	無職	313	64.2	23.0	1.6	1.3	2.6	3.5	1.9	0.0	1.9

## (2) インターネットの利用状況

問 24 あなたは、現在、電子メールのやりとりやホームページの閲覧などインターネット（携帯電話・PHSによるEメールを含む）を利用していますか。（は1つだけ）

<図表6-3> インターネットの利用状況



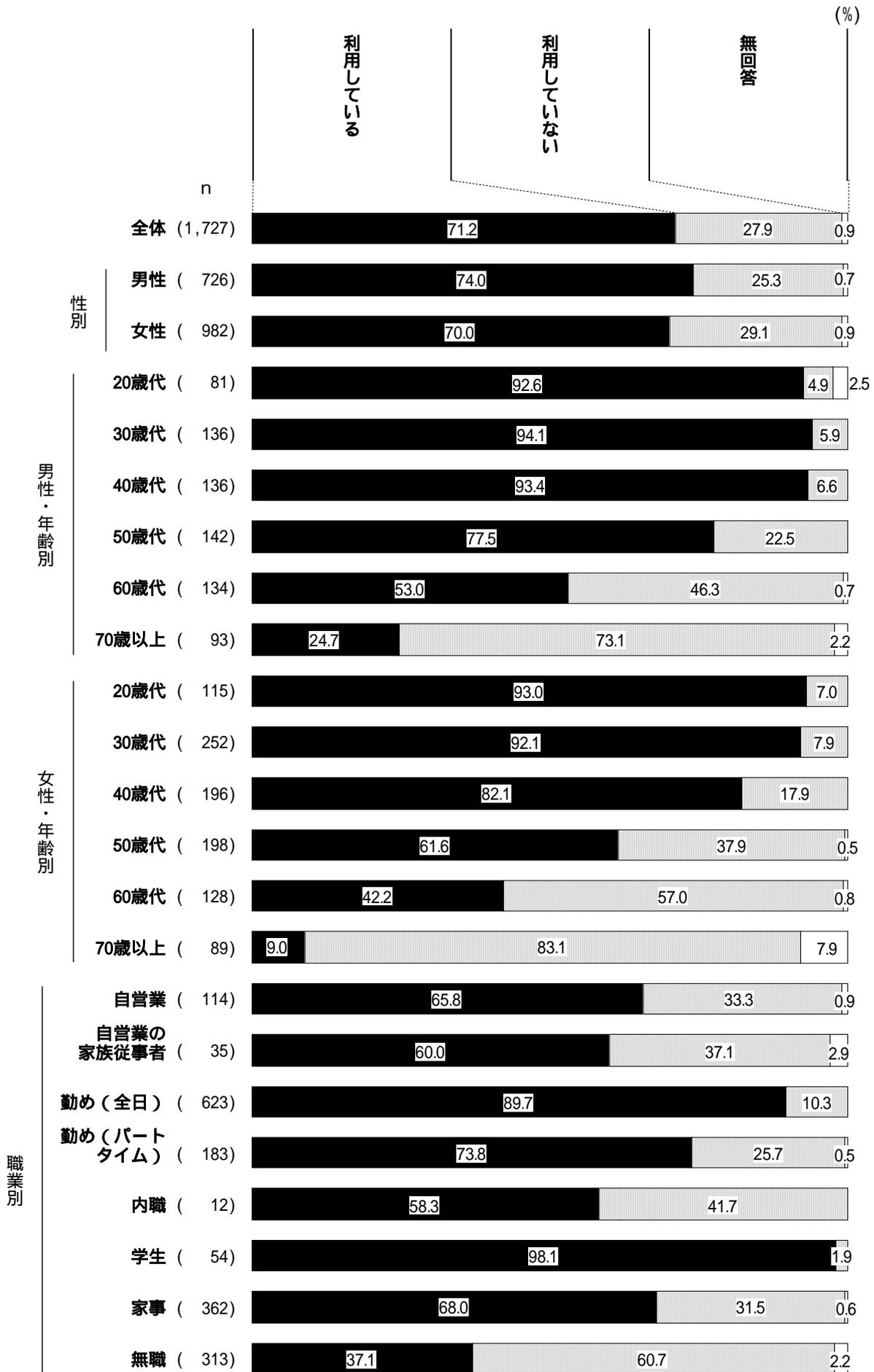
インターネットの利用状況は、「利用している」(71.2%)人が多く、7割を超えている。(図表6-3)

性別でも、大きな違いはみられないが、インターネットの利用率は男性の方が女性よりも若干高くなっている。

性・年齢別で見ると、「利用している」人の割合は、男女とも20歳代～40歳代で非常に高い割合を示しているが、50歳代以降年代が上がるとともに減少している。

職業別では、インターネットの利用率は“学生”と“勤め(全日)”で非常に高くなっている。一方、“無職”では「利用していない」が60.7%と唯一多数を占めている。(図表6-4)

<図表6 - 4> インターネットの利用状況 / 性別、性・年齢別、職業別



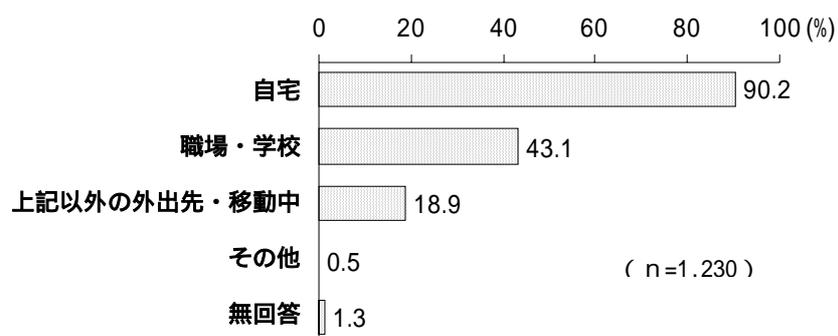
## ( 2 - 1 ) 利用場所・利用機器

(問 24 で「 1 利用している」とお答えの方に)

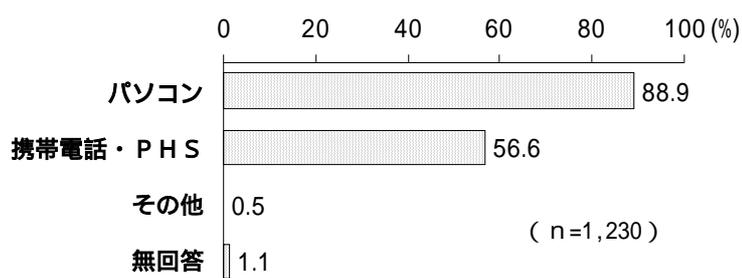
問 24 - 1 あなたは、インターネットをどちらで利用していますか。また、その際どのような機器を利用していますか。

< 図表 6 - 5 > 利用場所・利用機器 (複数回答)

### 【利用場所】( はいいくつでも )



### 【利用機器】( はいいくつでも )



問 24 でインターネットを利用していると答えた人に、その場所を尋ねたところ、圧倒的に「自宅」(90.2%)の割合が高く、9割の人が回答している。次いで「職場・学校」が43.1%、「外出先・移動中」が18.9%となっている。(図表 6 - 5)

また、利用している機器を尋ねたところ、「パソコン」が88.9%と最も高く、次いで「携帯電話・PHS」が56.6%となっている。(図表 6 - 5)

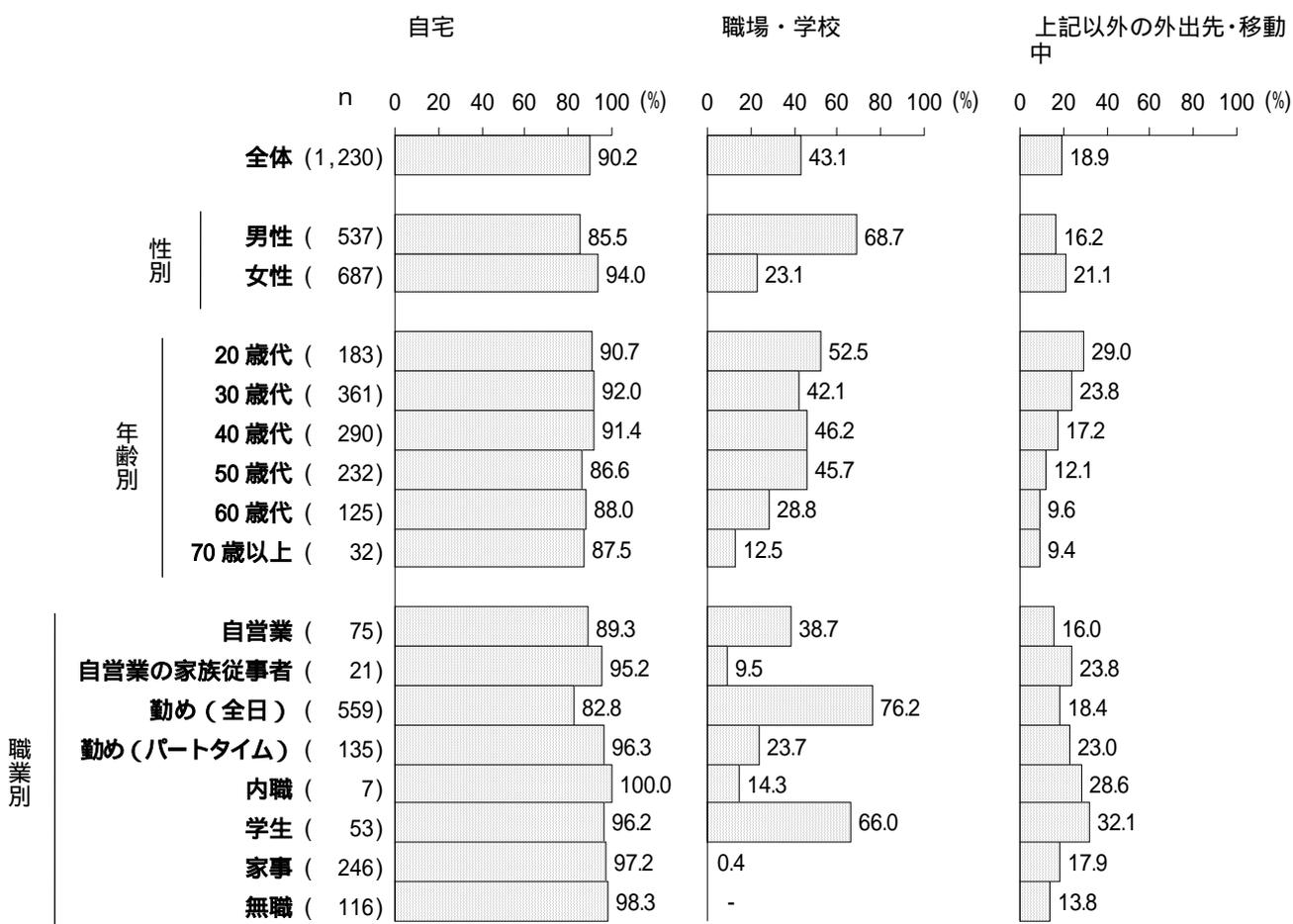
まず、利用場所について属性別で違いをみることにする。

性別でみると、「職場・学校」は男性の方が女性よりも圧倒的に高い割合を示している。

年齢別では、「自宅」は年代を超えて高い割合を示し、「職場・学校」は20歳代～50歳代で4割～5割を占めている。

職業別では、「自宅」で利用している人の割合は、職業に関係なく高くなっている。(図表6-6)

<図表6-6> 利用場所/性別、年齢別、職業別(上位3項目)



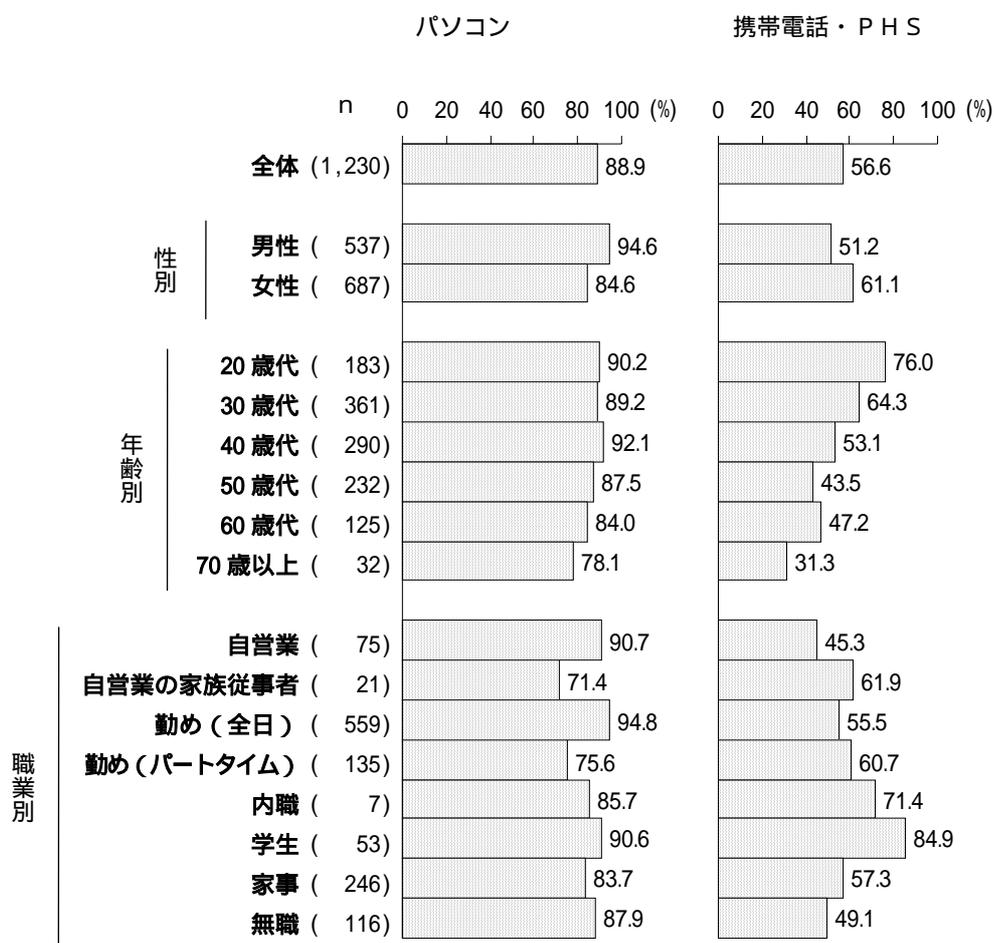
次に、利用機器について属性別で違いをみることにする。

性別でみると、「パソコン」では男性の方が女性よりも高いのに対し、「携帯電話・PHS」では女性が男性を上回っている。

年齢別では、「携帯電話・PHS」の割合は20歳代で76.0%と最も高く、年齢が上がるにつれて減少する傾向がみられる。

職業別では、「携帯電話・PHS」は“学生”で高い割合を示しており、8割台半ばを占めている。(図表6-7)

<図表6-7> 利用機器/性別、年齢別、職業別(上位2項目)

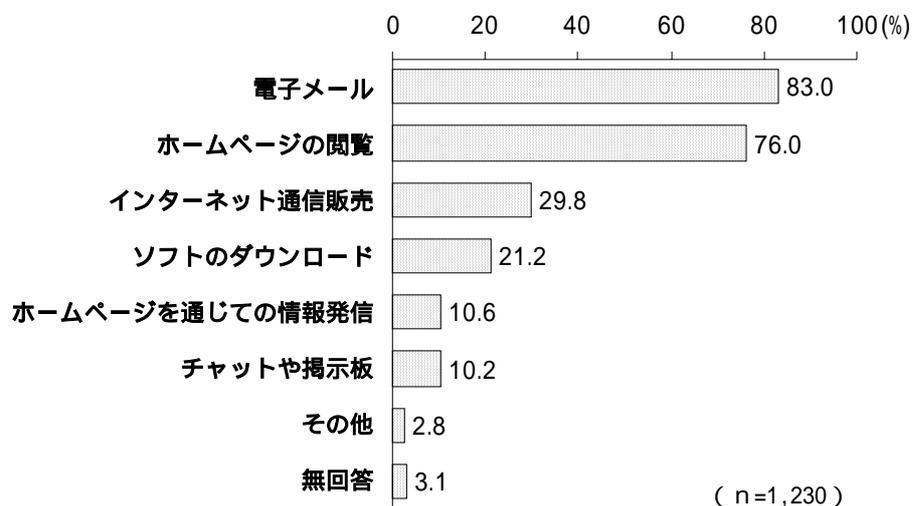


## ( 2 - 2 ) 利用目的

( 問 24 で「 1 利用している」とお答えの方に )

問 24 - 2 インターネットをどのような目的で利用していますか。( はいいくつでも )

< 図表 6 - 8 > 利用目的 ( 複数回答 )



問 24 でインターネットを利用していると答えた人に、その目的を尋ねたところ、上位 2 項目は「電子メール」(83.0%)と「ホームページの閲覧」(76.0%)となっている。以下「インターネット通信販売」(29.8%)、「ソフトのダウンロード」(21.2%)、「ホームページを通じての情報発信」(10.6%)、「チャットや掲示板」(10.2%)の順に続く。( 図表 6 - 8 )

性別で見ると、「ホームページの閲覧」や「ソフトのダウンロード」では、男性の方が女性よりも高い割合を示している。

年齢別では、「ホームページの閲覧」は 20 歳代～40 歳代で顕著に割合が高く、いずれも 8 割を超えている。「インターネット通信販売」では、30 歳代と 40 歳代で 3 割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。

職業別では、「電子メール」はどの職業も高い割合を示しているが、「ホームページの閲覧」では特に“学生”と“勤め(全日)”で高く、いずれも 8 割台半ばを占めている。( 図表 6 - 9 )

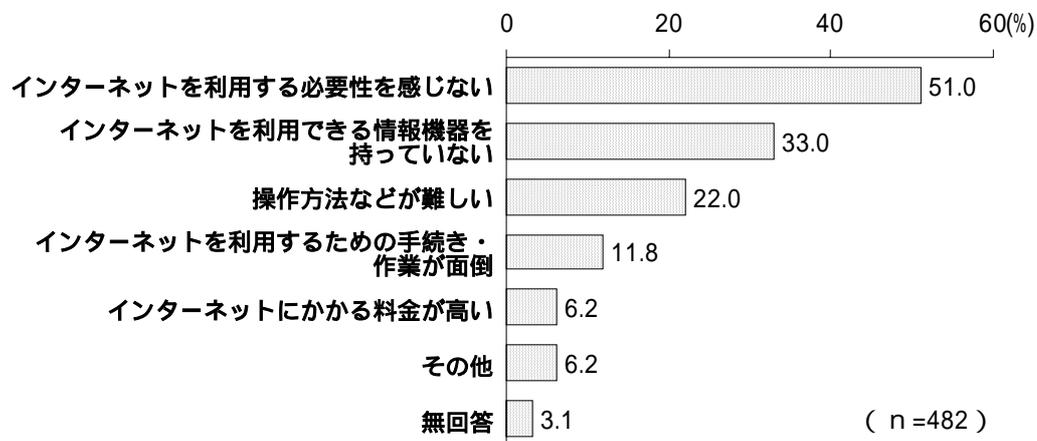


## ( 2 - 3 ) 利用していない理由

( 問 24 で「 2 利用していない」とお答えの方に )

問 24 - 3 利用していない理由は何ですか。( は 2 つまで )

< 図表 6 - 10 > 利用していない理由 ( 複数回答 )

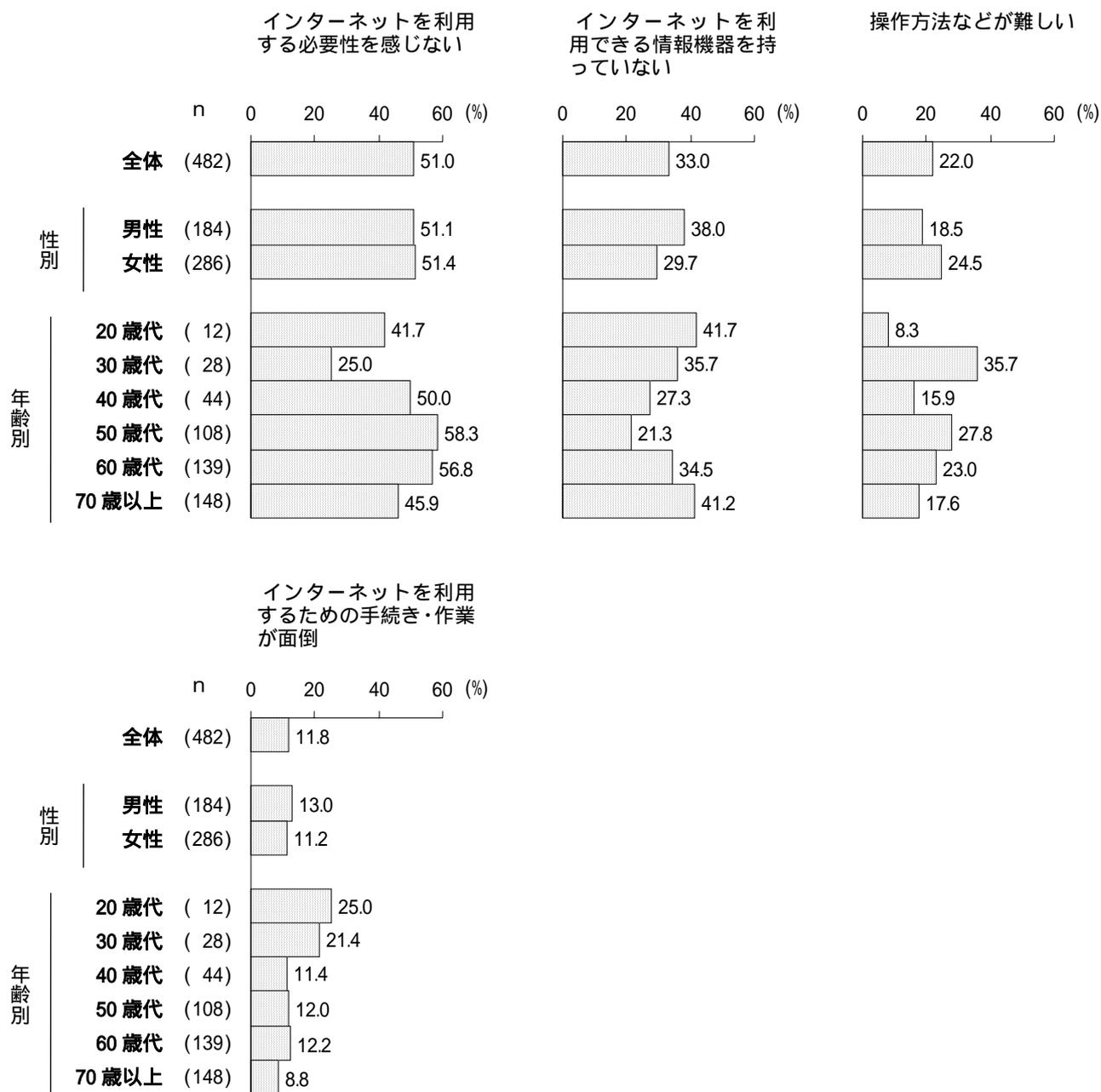


問 24 でインターネットを利用していないと答えた人に、その理由を尋ねたところ、最も割合が高かったのが「インターネットを利用する必要性を感じない」( 51.0% ) で、半数の人が回答している。次いで、「インターネットを利用できる情報機器を持っていない」が 33.0% となっている。以下、「操作方法などが難しい」( 22.0% )、「インターネットを利用するための手続き・作業が面倒」( 11.8% ) と続く。( 図表 6 - 10 )

性別で見ると、「インターネットを利用できる情報機器を持っていない」は男性の方が女性よりも高いのに対し、「操作方法などが難しい」では女性が男性を上回っている。

年齢別では、「インターネットを利用する必要性を感じない」は50歳代と60歳代で高い割合を示し、5割台半ばを超えている。(図表6-11)

<図表6-11> 利用していない理由/性別、年齢別(上位4項目)



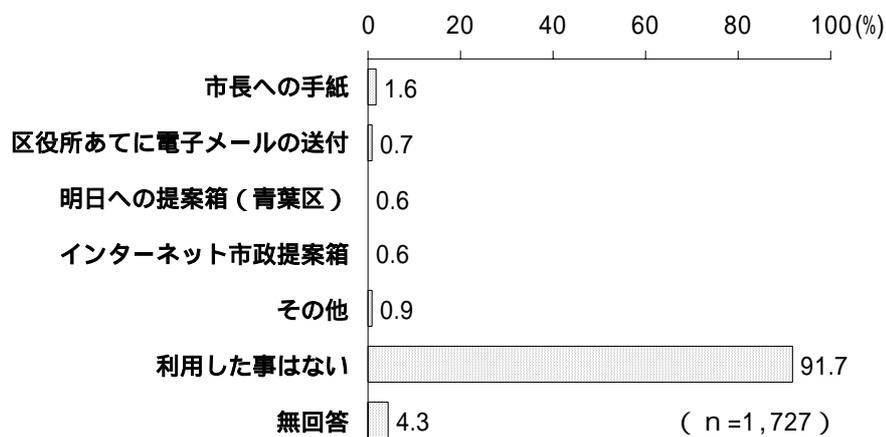
注1 / “20歳代”と“30歳代”については、基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## 7 区役所との関わりについて

### (1) 横浜市や青葉区の広聴の利用経験

問 25 あなたは、横浜市や青葉区の広聴を利用した事がありますか。(はいくつでも)

<図表 7 - 1> 横浜市や青葉区の広聴の利用経験 (複数回答)

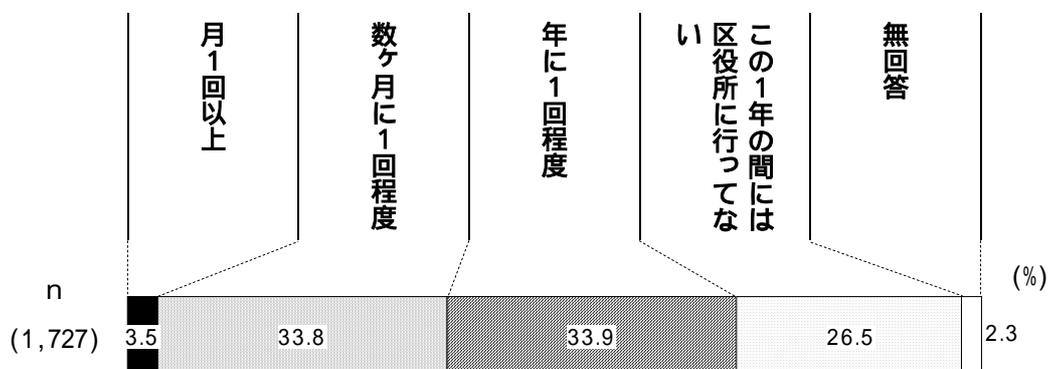


横浜市や青葉区の広聴の利用について尋ねたが、ほとんどの人が「利用した事はない」(91.7%)と回答している。(図表 7 - 1)

## ( 2 ) 青葉区役所への訪問頻度

問 26 あなたは、この1年の間に、青葉区役所に何回いらっしゃった事がありますか。  
( は1つだけ )

< 図表 7 - 2 > 青葉区役所への訪問頻度



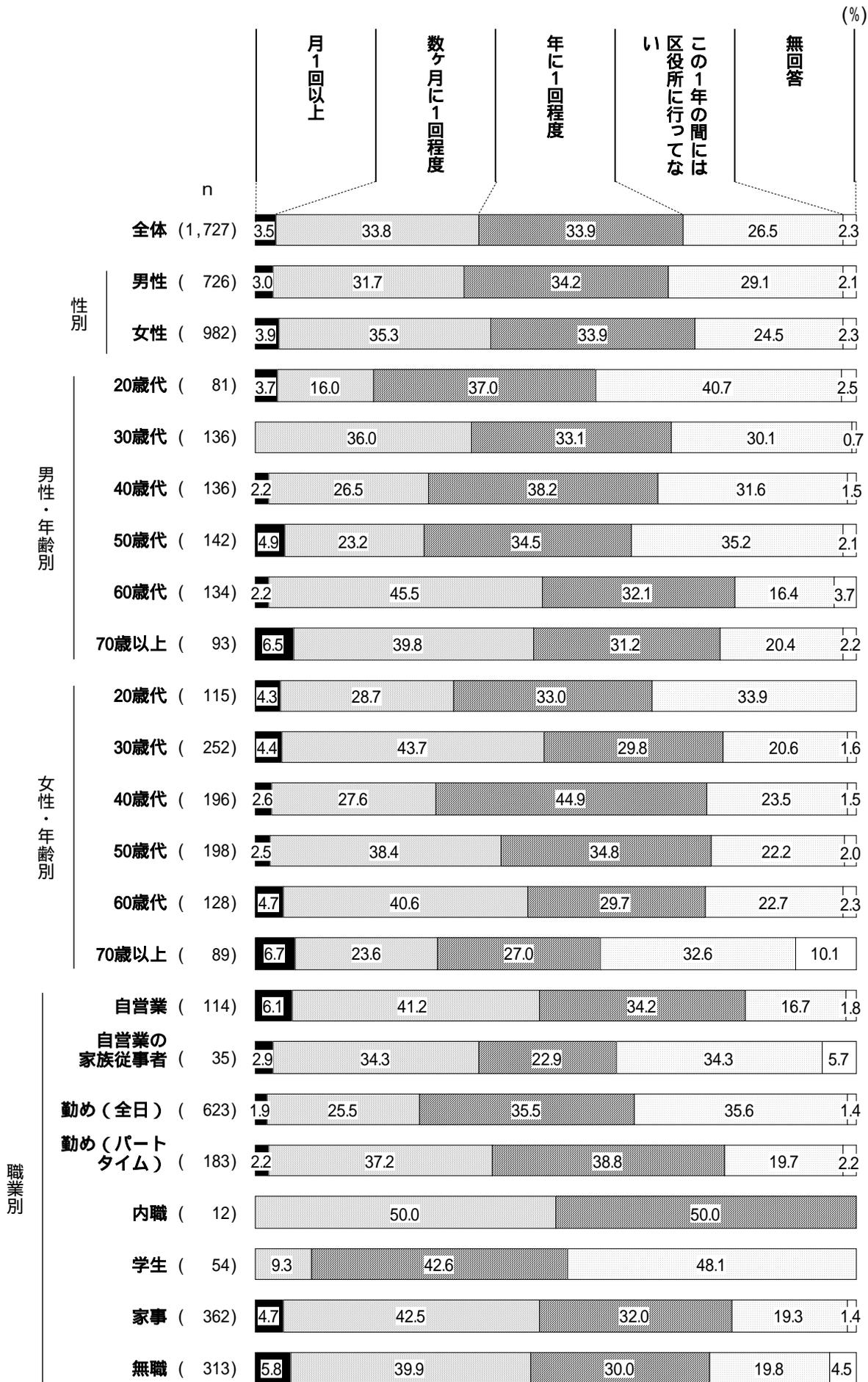
青葉区役所への訪問頻度は、「数ヶ月に1回程度」(33.8%)と「年に1回程度」(33.9%)が多く、それぞれ3人に1人が回答している。また、2割台半ばの人は「この1年の間には区役所に行っていない」(26.5%)という結果だった。(図表7-2)

性別でも、大きな違いはみられない。

性・年齢別で見ると、「数ヶ月に1回程度」は男性では60歳代、女性では30歳代で割合が高く、いずれも4割台半ばとなっている。一方、「この1年の間には区役所に行っていない」では男性の20歳代で40.7%と比較的高い割合を示す。

職業別では、「数ヶ月に1回程度」は“家事”と“自営業”でやや高く、ともに4割を超えている。“学生”では、「この1年の間には区役所に行っていない」が最も多く、ほぼ半数を占めている。(図表7-3)

< 図表 7 - 3 > 青葉区役所への訪問頻度 / 性別、性・年齢別、職業別

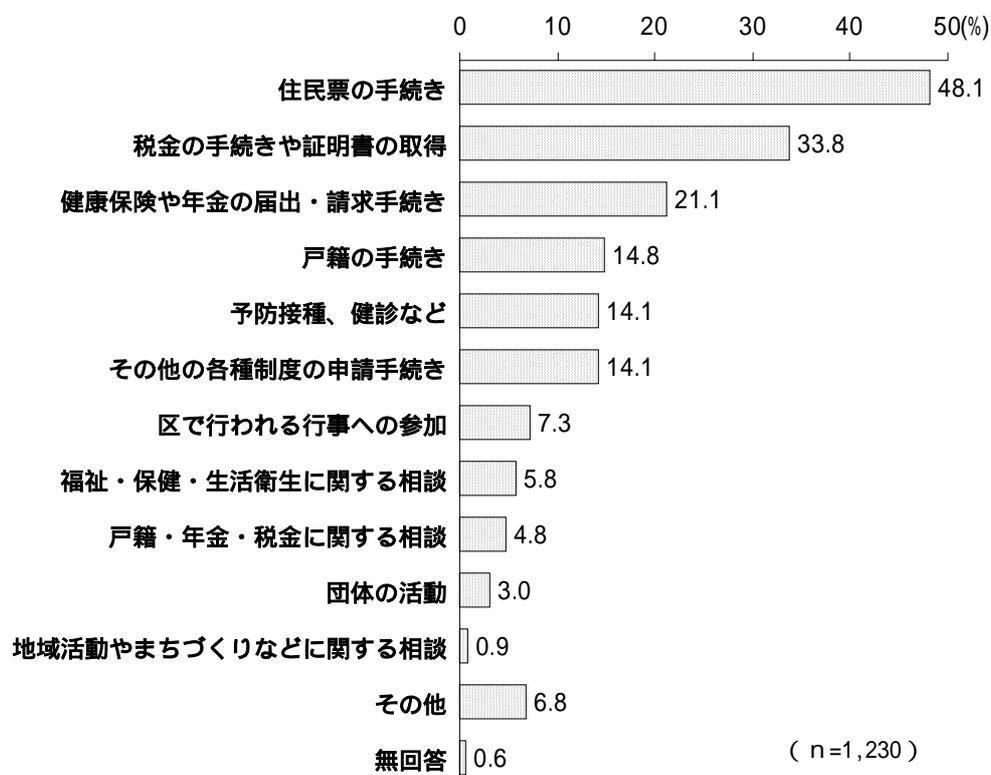


## ( 2 - 1 ) 訪問した目的

( 問 26 で「 1 」～「 3 」のいずれかをお答えの方に )

問 26 - 1 その時の用事は何でしたか。( はいくつでも )

< 図表 7 - 4 > 訪問した目的 ( 複数回答 )

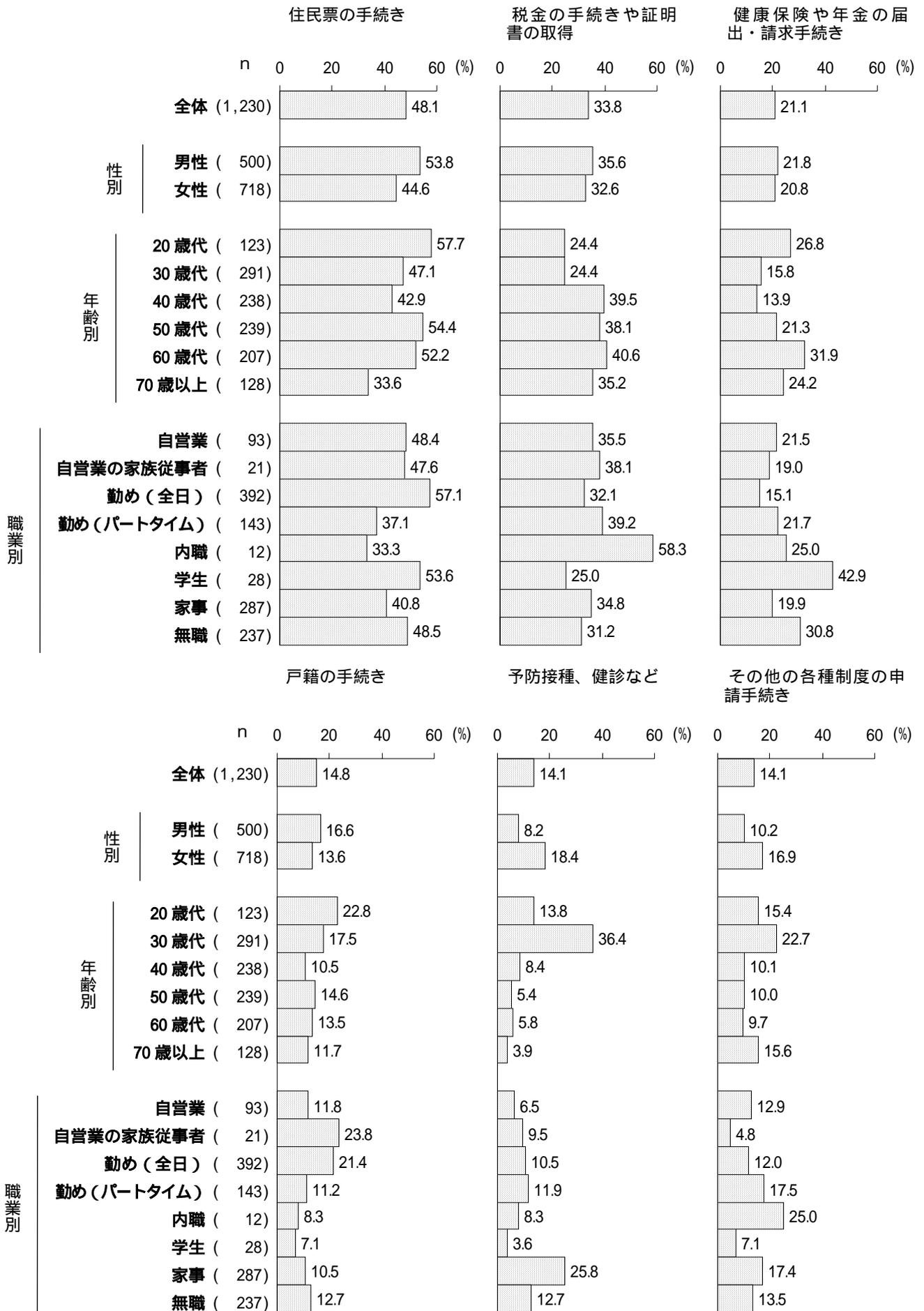


この 1 年の間に青葉区役所を訪問したと答えた人にその目的を尋ねたところ、「住民票の手続き」( 48.1% ) の割合が最も高く、半数近い人が回答している。次いで「税金の手続きや証明書の取得」が 33.8% となっている。以下「健康保険や年金の届出・請求手続き」( 21.1% )、「戸籍の手続き」( 14.8% )、「予防接種、健診など」( 14.1% )、「その他の各種制度の申請手続き」( 14.1% ) の順に続く。( 図表 7 - 4 )

性別で見ると、「住民票の手続き」は男性の方が女性よりも高いが、「予防接種、健診など」と「その他の各種制度の申請手続き」では女性が男性を上回る。

年齢別では、「住民票の手続き」の割合が高いのは、20 歳代・50 歳代・60 歳代で、いずれも過半数を占めている。「予防接種、健診など」では、30 歳代で 36.4% と高い割合を示している。( 図表 7 - 5 )

< 図表 7 - 5 > 訪問した目的ノ性別、年齢別、職業別（上位 6 項目）

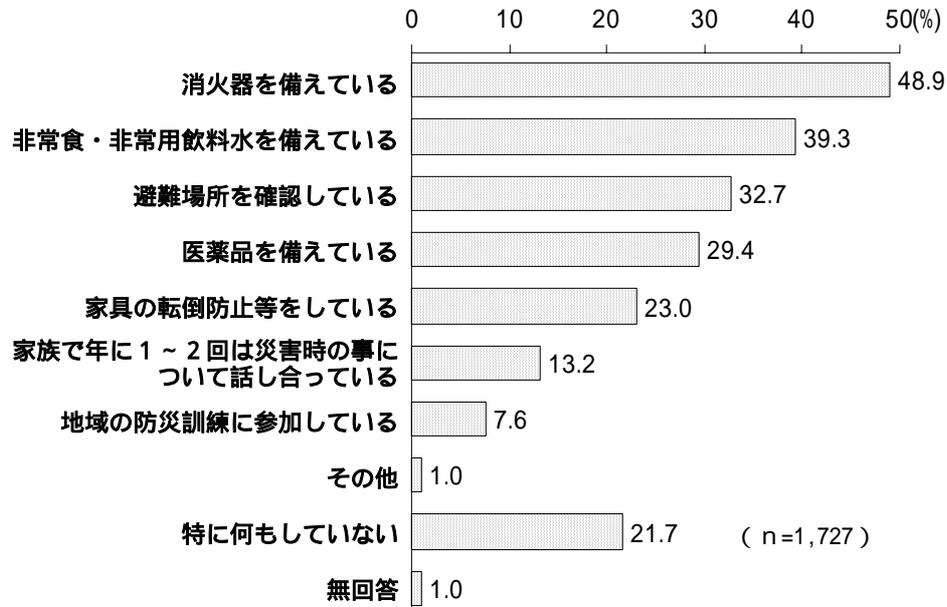


## 8 防災・防犯について

### (1) 災害への備え

問 27 あなたは、普段、災害への備えを何かしていますか。(はいいくつでも)

<図表 8 - 1> 災害への備え(複数回答)



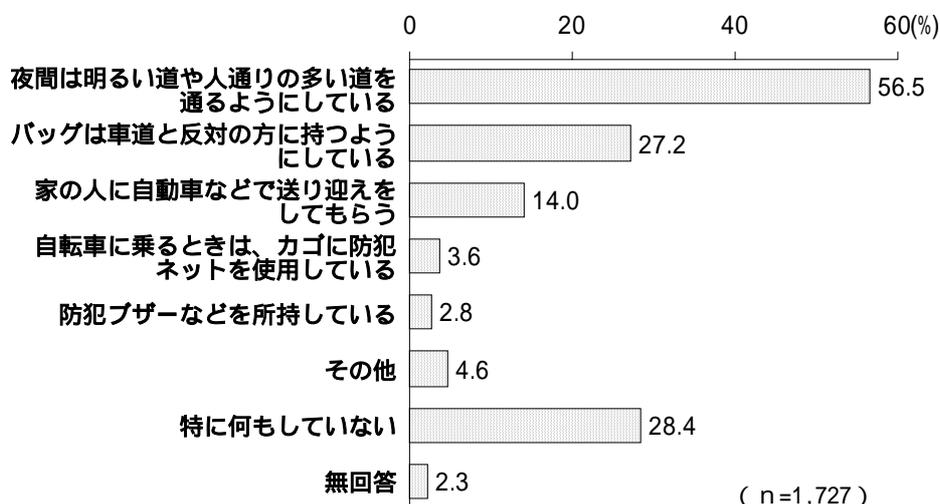
災害への備えについて尋ねたところ、最も割合が高かったのが「消火器を備えている」(48.9%)で、半数近い人が回答している。次いで「非常食・非常用飲料水を備えている」が39.3%、「避難場所を確認している」が32.7%となっている。以下「医薬品を備えている」(29.4%)、「家具の転倒防止等をしている」(23.0%)、「家族で年に1~2回は災害時の事について話し合っている」(13.2%)の順に続く。なお、2割の人は「特に何もしていない」(21.7%)と答えている。(図表 8 - 1)



## ( 2 ) 街頭で犯罪に遭わないために気をつけている事

問 28 あなたは、ひったくり、強盗などの街頭の犯罪に遭わないため、どのようなことに気をつけていますか。( はいくつでも )

< 図表 8 - 3 > 街頭で犯罪に遭わないために気をつけている事 ( 複数回答 )

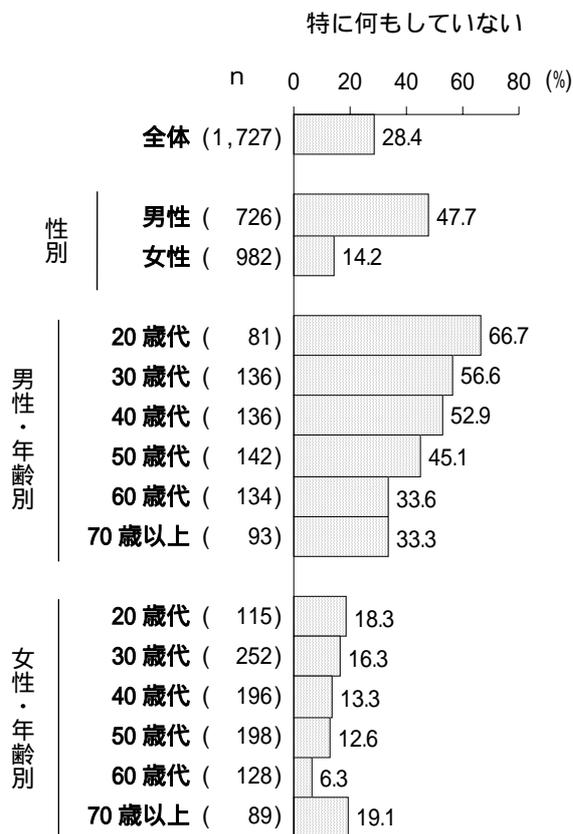
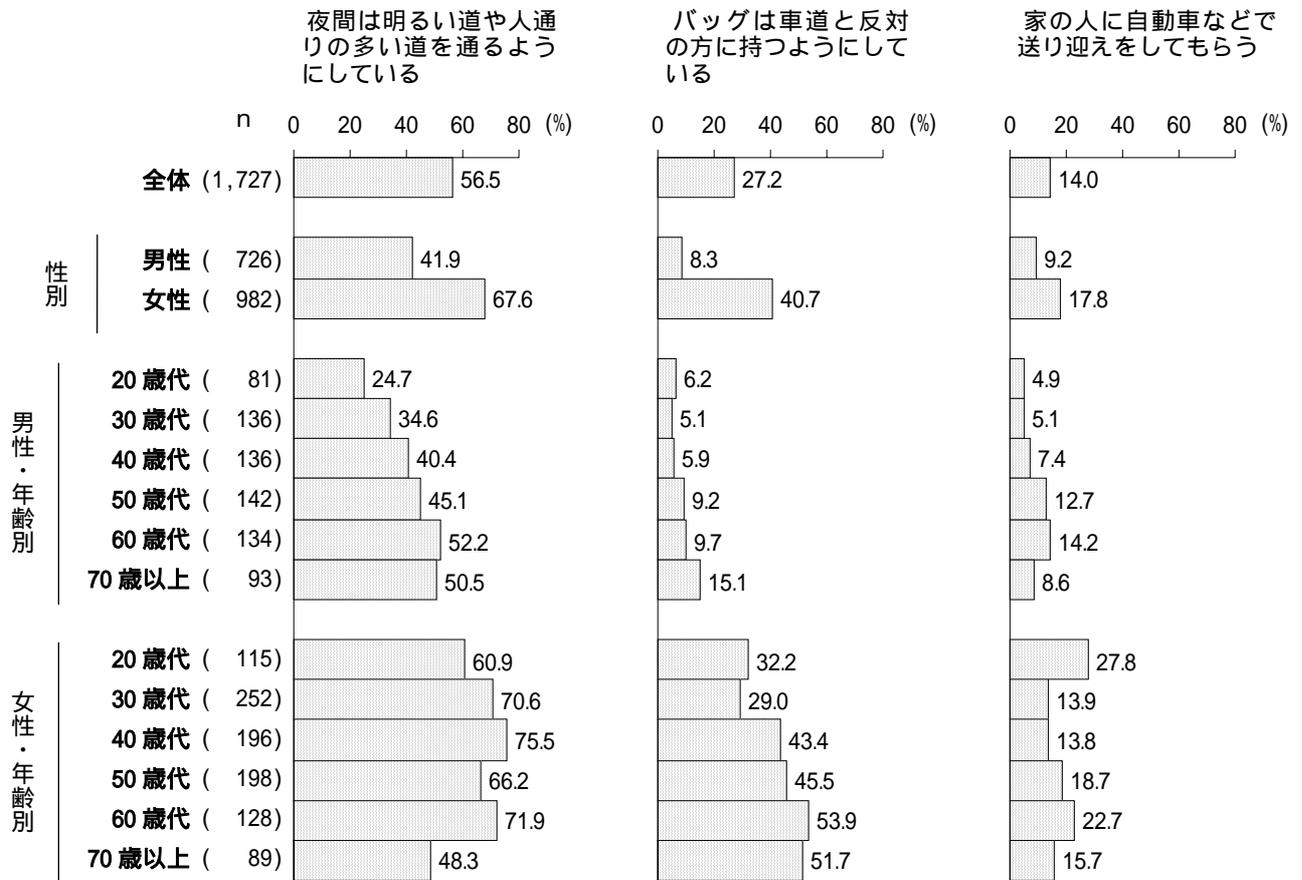


街頭の犯罪に遭わないために気をつけている事を尋ねたところ、「夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている」が 56.5%と最も高い比率を示している。次いで「バッグは車道と反対の方に持つようにしている」が 27.2%、「家の人に自動車などで送り迎えをしてもらう」が 14.0%となっている。なお、3割近い人は「特に何もしていない」( 28.4% )と答えている。( 図表 8 - 3 )

性別で見ると、「夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている」や「バッグは車道と反対の方に持つようにしている」は、女性の方が男性よりも圧倒的に高い割合を示している。一方、「特に何もしていない」では男性が大幅に女性を上回っている。

性・年齢別では、「夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている」は、女性では特に 30 歳代、40 歳代、60 歳代で 7 割以上と高い割合を示し、男性では年齢が上がるにしたがって増加する傾向がみられる。「バッグは車道と反対の方に持つようにしている」の女性をみると、年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にある。「特に何もしていない」では、男性の 20 歳代で 66.7%と最も割合が高く、年代が上がるとともに漸減している。( 図表 8 - 4 )

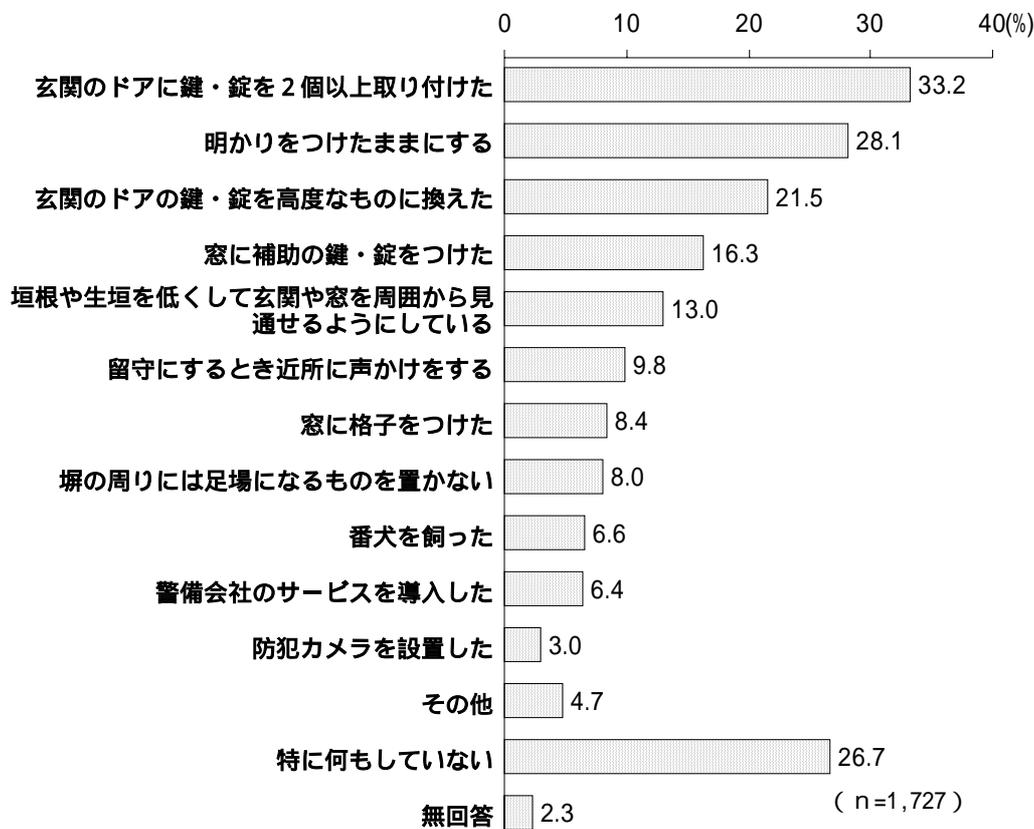
<図表8 - 4> 街頭で犯罪に遭わないために気をつけている事 / 性別、性・年齢別  
 (上位3項目、「特に何もしていない」)



### ( 3 ) 空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事

問 29 あなたは、空き巣狙いなどの被害に遭わないため、どのようなことをしていますか。  
( はいくつでも )

< 図表 8 - 5 > 空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事 ( 複数回答 )



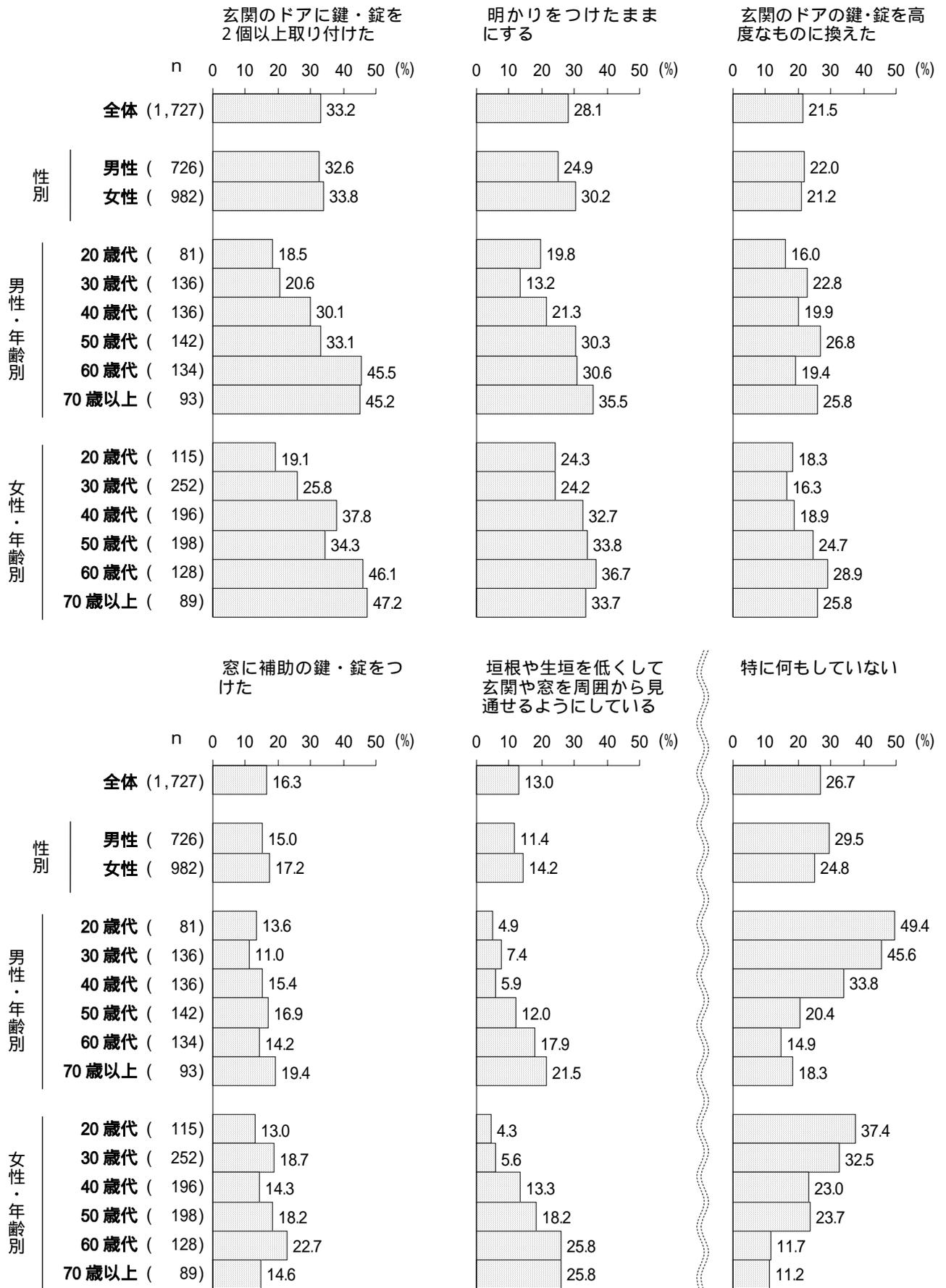
空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事を尋ねたところ、「玄関のドアに鍵・錠を 2 個以上取り付けた」( 33.2% ) が最も高く、3 人に 1 人が回答している。次いで「明かりをつけたままにする」が 28.1%、「玄関のドアの鍵・錠を高度なものに換えた」が 21.5% となっている。以下「窓に補助の鍵・錠をつけた」( 16.3% ) 「垣根や生垣を低くして玄関や窓を周囲から見通せるようにしている」( 13.0% ) 「留守にするとき近所に声かけをする」( 9.8% ) の順に続く。なお、4 人に 1 人は「特に何もしていない」( 26.7% ) と答えている。( 図表 8 - 5 )

性別でも、大きな違いはみられないが、「明かりをつけたままにする」は女性の方が男性よりも高い割合を示すのに対し、「特に何もしていない」では男性が女性を上回る。

性・年齢別では、「玄関のドアに鍵・錠を 2 個以上取り付けた」は男女とも年代が上がるにしたがって高くなる傾向がみられ、60 歳以上で 4 割台半ばとなっている。似たような傾向は、「明かりをつけたままにする」や「垣根や生垣を低くして玄関や窓を周囲から見通せるようにしている」でもみられる。一方、「特に何もしていない」では、男女とも若年層で高い割合を示し、年代が上がるとともに減少している。( 図表 8 - 6 )

<図表8 - 6> 空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事/性別、性・年齢別

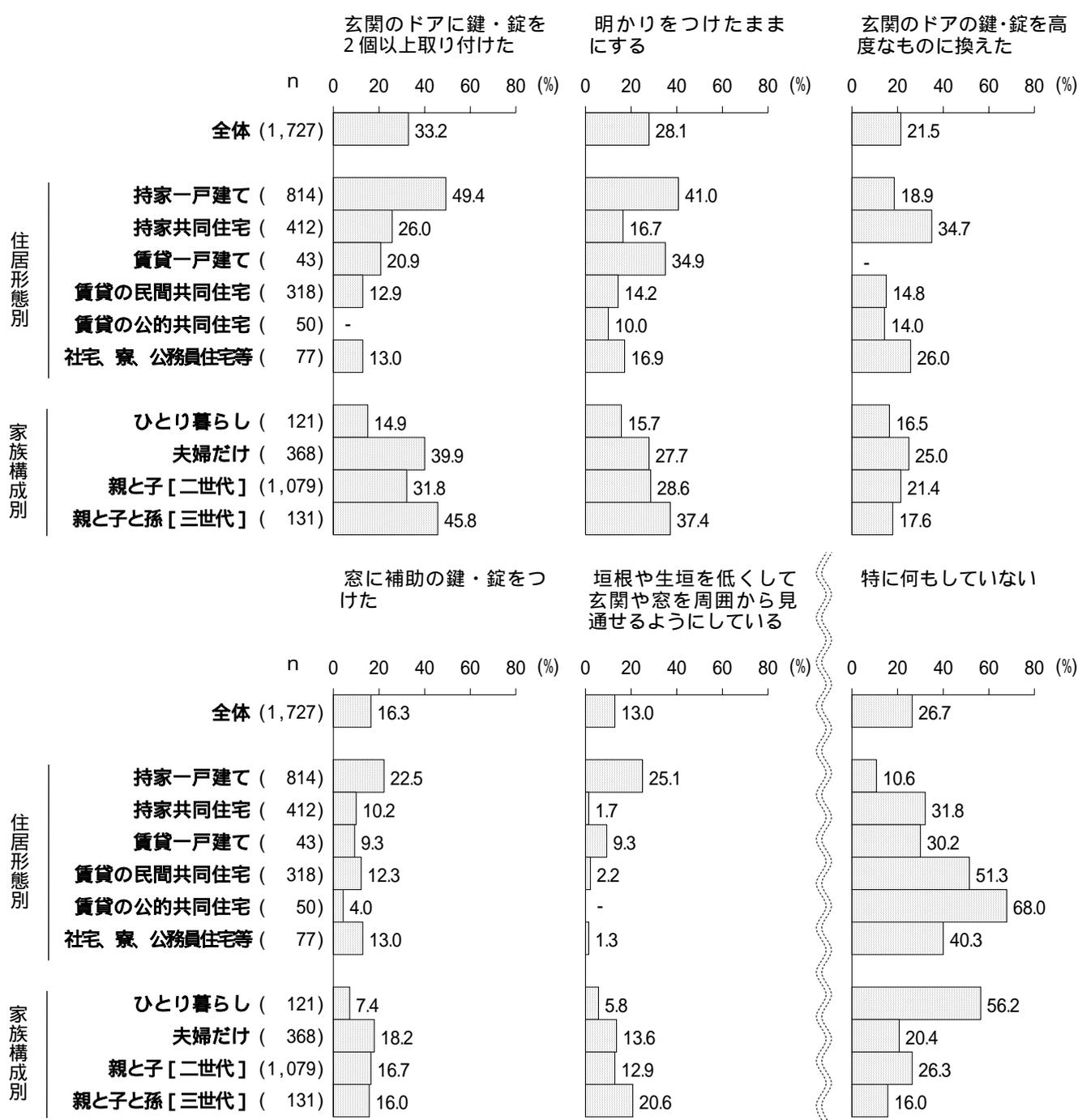
(上位5項目、「特に何もしていない」)



住居形態別でみると、「玄関のドアに鍵・錠を2個以上取り付けた」は“持家一戸建て”で顕著に高い割合を示し、ほぼ半数の家庭で行われている。一方、「特に何もしていない」では“共同住宅”(賃貸の民間共同住宅+賃貸の公的共同住宅)で高くなる傾向にあり、特に“賃貸の公的共同住宅”では7割近くを占めている。

家族構成別では、“親と子と孫[三世代]”で「玄関のドアに鍵・錠を2個以上取り付けた」が45.8%、「明かりをつけたままにする」が37.4%と高い割合を示している。“ひとり暮らし”では「特に何もしていない」が圧倒的に高く、過半数の人が回答している。(図表8-7)

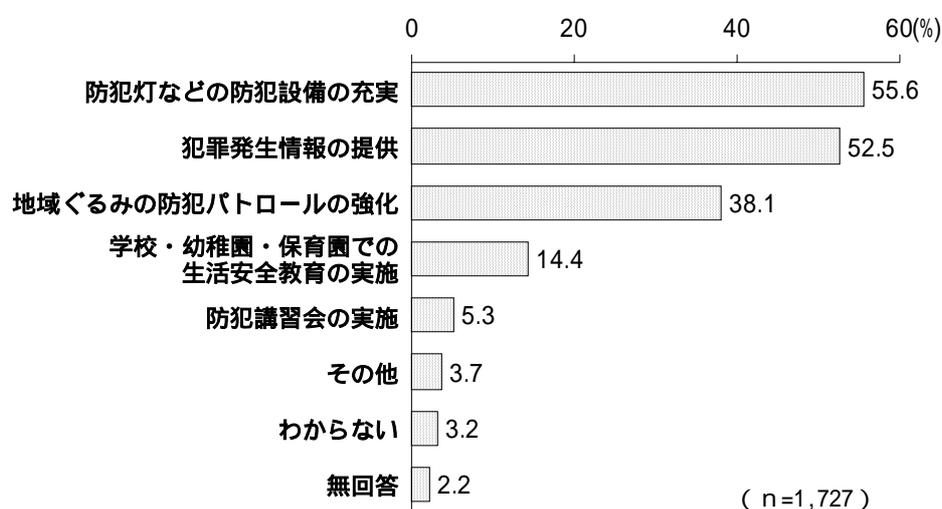
<図表8-7> 空き巣狙いなどの被害に遭わないためにしている事/住居形態別、家族構成別  
(上位5項目、「特に何もしていない」)



#### (4) 犯罪を防止するための有効な取り組み

問30 あなたは、犯罪を未然に防止するためには、区民としてどのような取り組みが有効だと思いますか。( は2つまで)

<図表8-8> 犯罪を防止するための有効な取り組み(複数回答)

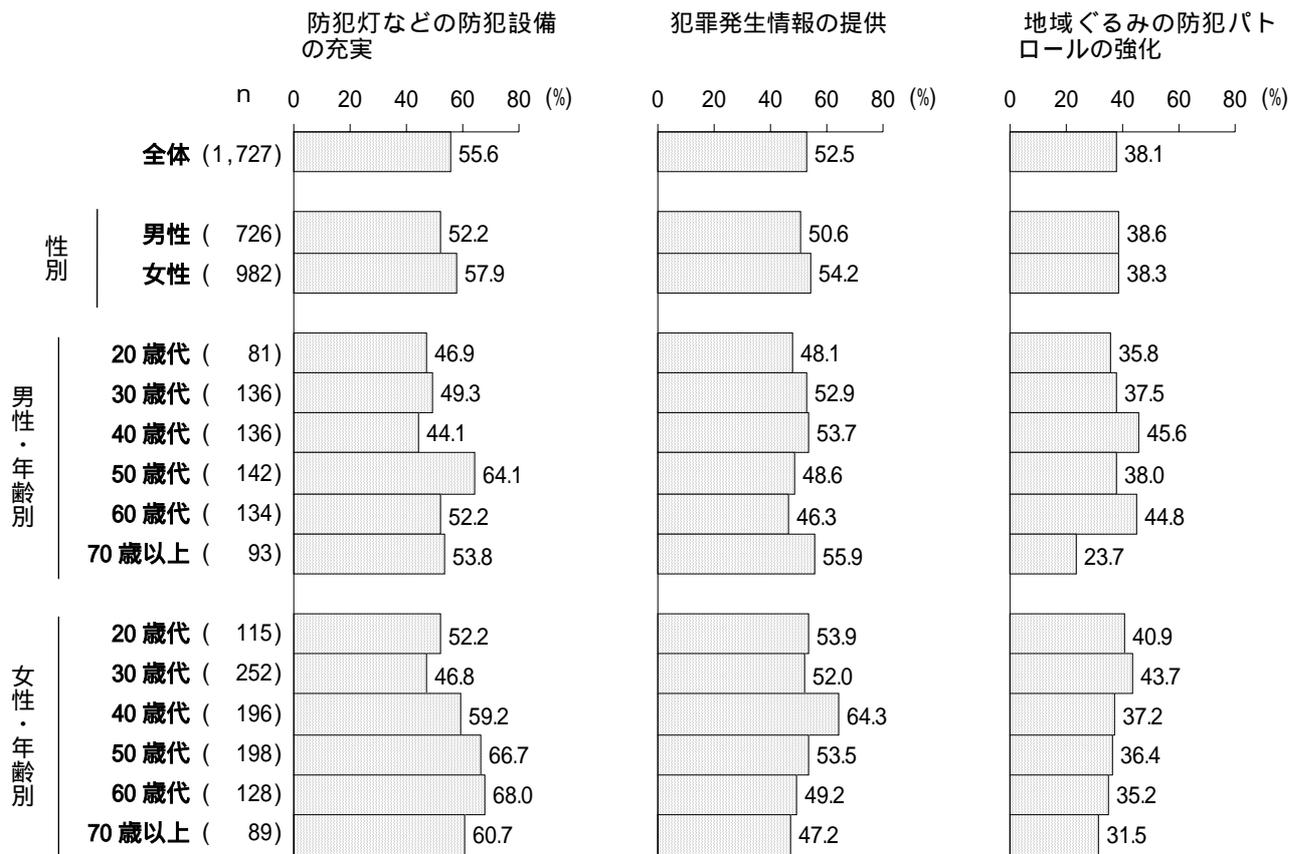


犯罪を防止するための有効な取り組みについて尋ねたところ、上位2項目は「防犯灯などの防犯設備の充実」(55.6%)と「犯罪発生情報の提供」(52.5%)で、ともに半数を超える人が回答している。次いで「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」が38.1%、「学校・幼稚園・保育園での生活安全教育の実施」が14.4%となっている。(図表8-8)

性別でみても、大きな違いはみられないが、「防犯灯などの防犯設備の充実」と「犯罪発生情報の提供」は女性の方が男性よりもやや高い割合を示している。

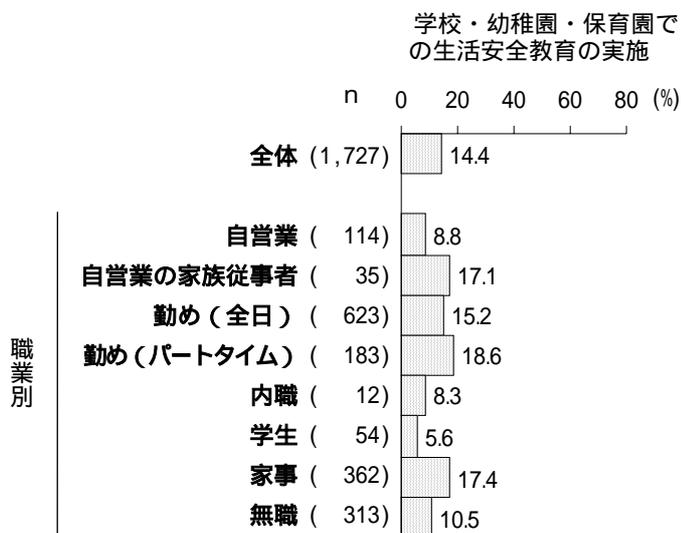
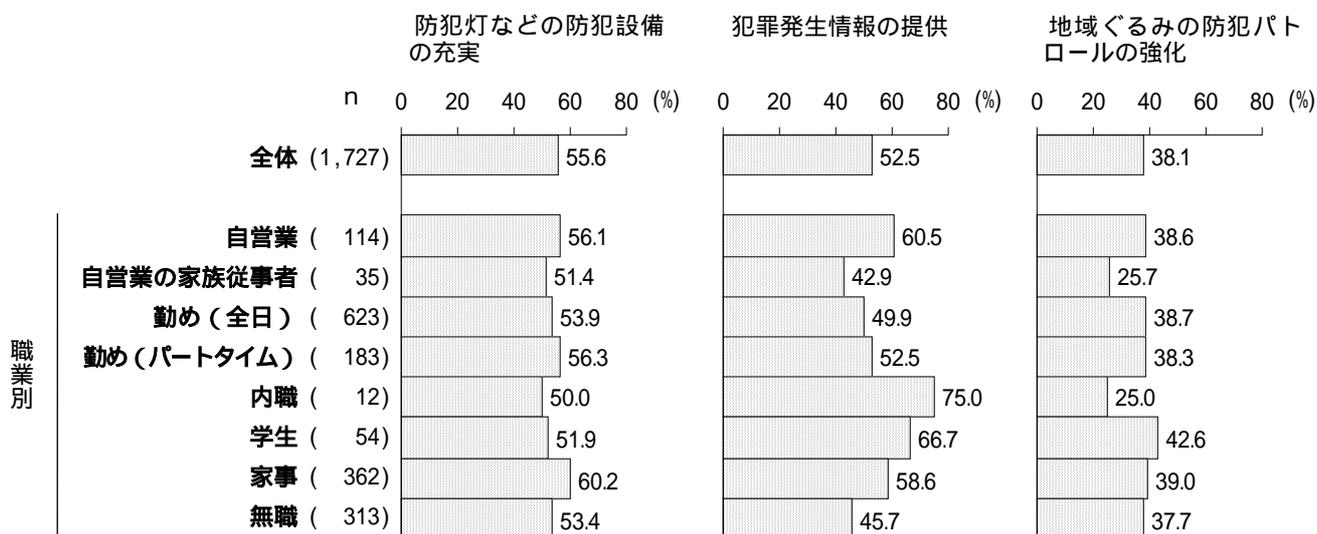
性・年齢別では、「防犯灯などの防犯設備の充実」は男性の50歳代、女性の50歳代と60歳代で他の年齢に比べ比較的高く、いずれも6割台半ばとなっている。「犯罪発生情報の提供」では女性の40歳代で64.3%と高くなっている。(図表8-9)

<図表8 - 9> 犯罪を防止するための有効な取り組み / 性別、性・年齢別（上位4項目）



職業別でみると、「防犯灯などの防犯設備の充実」は“家事”でやや割合が高く、6割に達している。“学生”と“自営業”では「犯罪発生情報の提供」が最も多く、特に“学生”では3人に2人が回答している。(図表8-10)

<図表8-10> 犯罪を防止するための有効な取り組み/職業別(上位4項目)



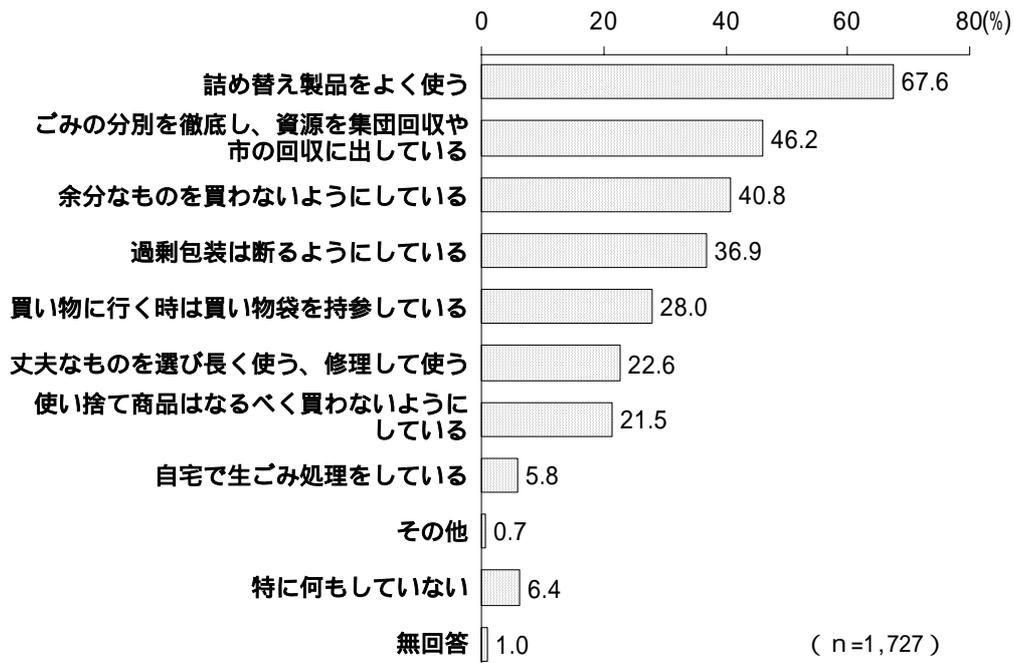
注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## 9 ごみ減量について

### (1) ごみを減らすために気をつけている事

問 31 あなたのご家庭では、ごみを減らすために普段から何か気をつけていることはありますか。(はいいくつでも)

<図表9 - 1> ごみを減らすために気をつけている事(複数回答)

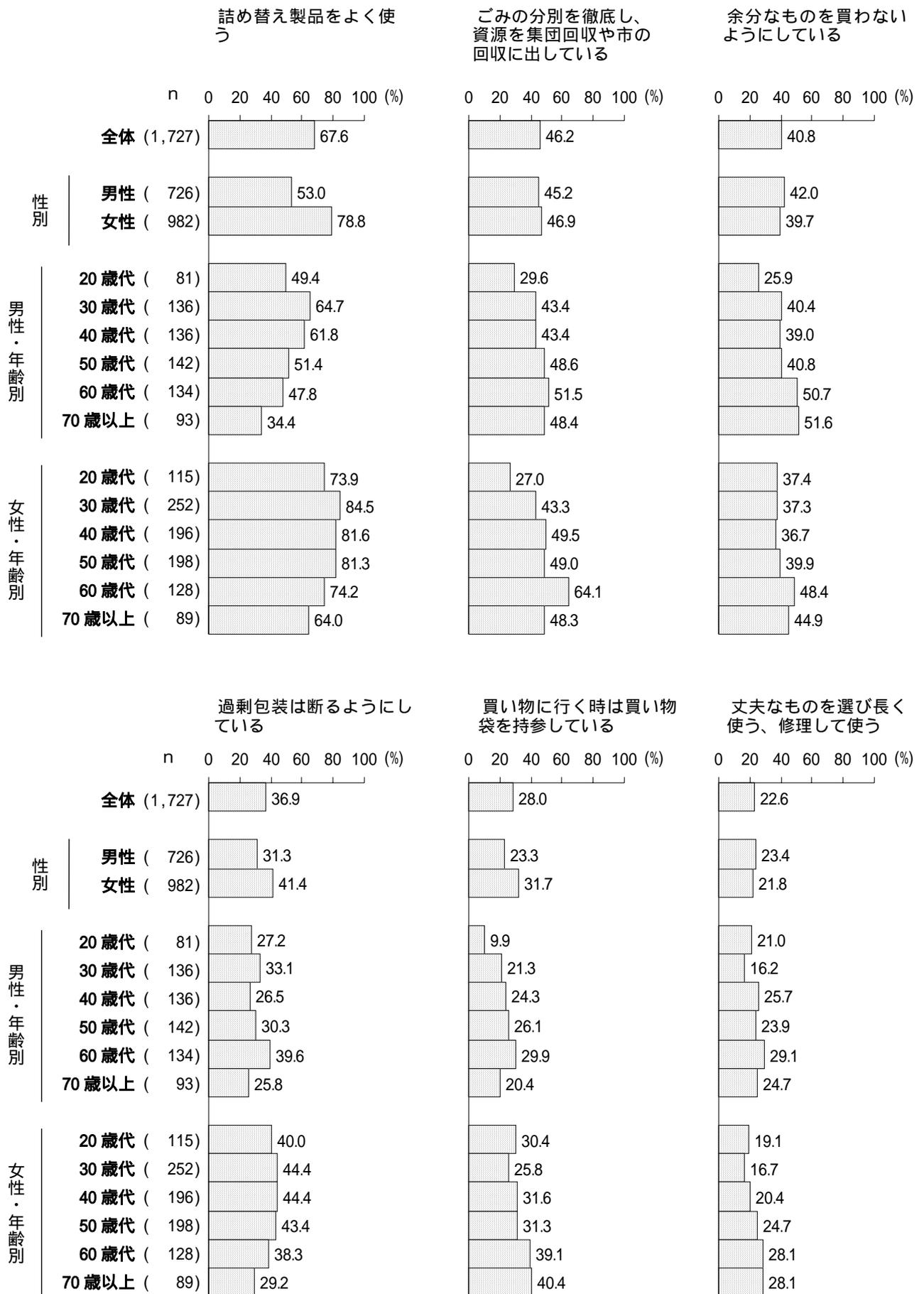


ごみを減らすために気をつけている事を尋ねたところ、最も高率だったのは「詰め替え製品をよく使う」で、67.6%となっている。次いで、「ごみの分別を徹底し、資源を集団回収や市の回収に出している」が46.2%、「余分なものを買わないようにしている」が40.8%となっている。以下「過剰包装は断るようになっている」(36.9%)、「買い物に行く時は買い物袋を持参している」(28.0%)、「丈夫なものを選び長く使う、修理して使う」(22.6%)、「使い捨て商品はなるべく買わないようにしている」(21.5%)の順に続く。(図表9 - 1)

性別でみると、「詰め替え製品をよく使う」「過剰包装は断るようになっている」「買い物に行く時は買い物袋を持参している」の3項目は、女性の方が男性よりも高い割合を示しており、とりわけ「詰め替え製品をよく使う」ではその差が約26ポイントである。

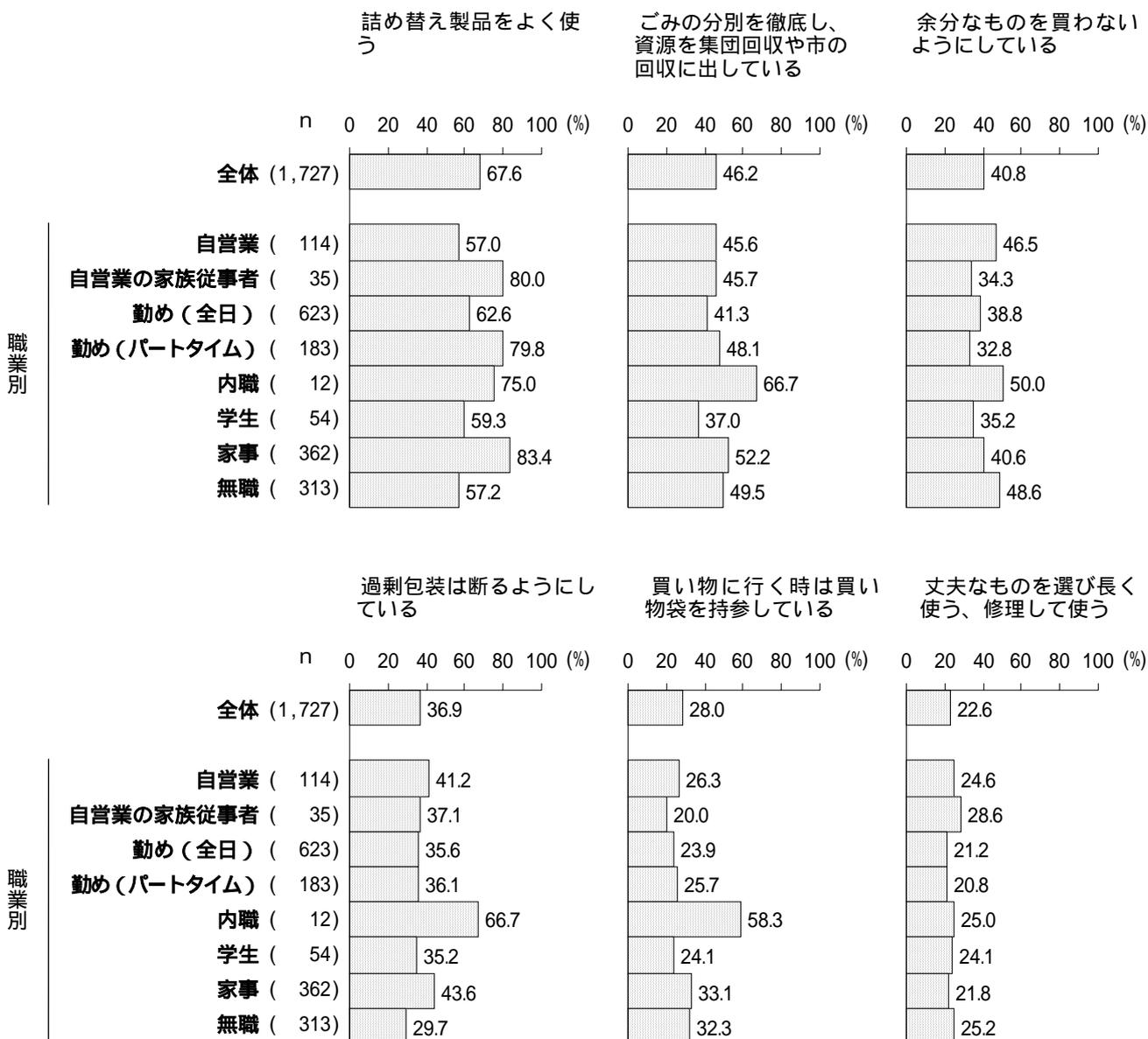
性・年齢別では、「詰め替え製品をよく使う」は男性では30歳代で64.7%と最も高く、以降年代が上がるにしたがって減少しているが、女性では30歳代～50歳代で比較的高い割合を示し、いずれも8割を超えている。(図表9 - 2)

<図表9 - 2> ごみを減らすために気をつけている事/性別、性・年齢別（上位6項目）



職業別でみると、「詰め替え製品をよく使う」は“家事”で83.4%と最も割合が高く、これに“自営業の家族従事者”(80.0%)、“勤め(パートタイム)”(79.8%)が続いている。(図表9-3)

<図表9-3> ごみを減らすために気をつけている事/職業別(上位6項目)

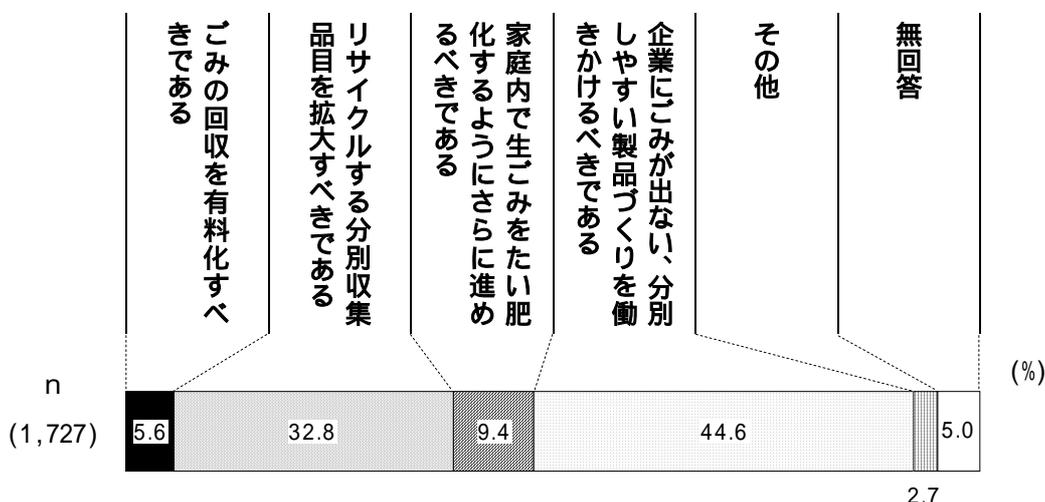


注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## (2) ごみを減らすためにすべき事

問 32 あなたは、ごみを減らすために、特にどのようなことをすべきだと思いますか。  
( は1つだけ )

< 図表 9 - 4 > ごみを減らすためにすべき事



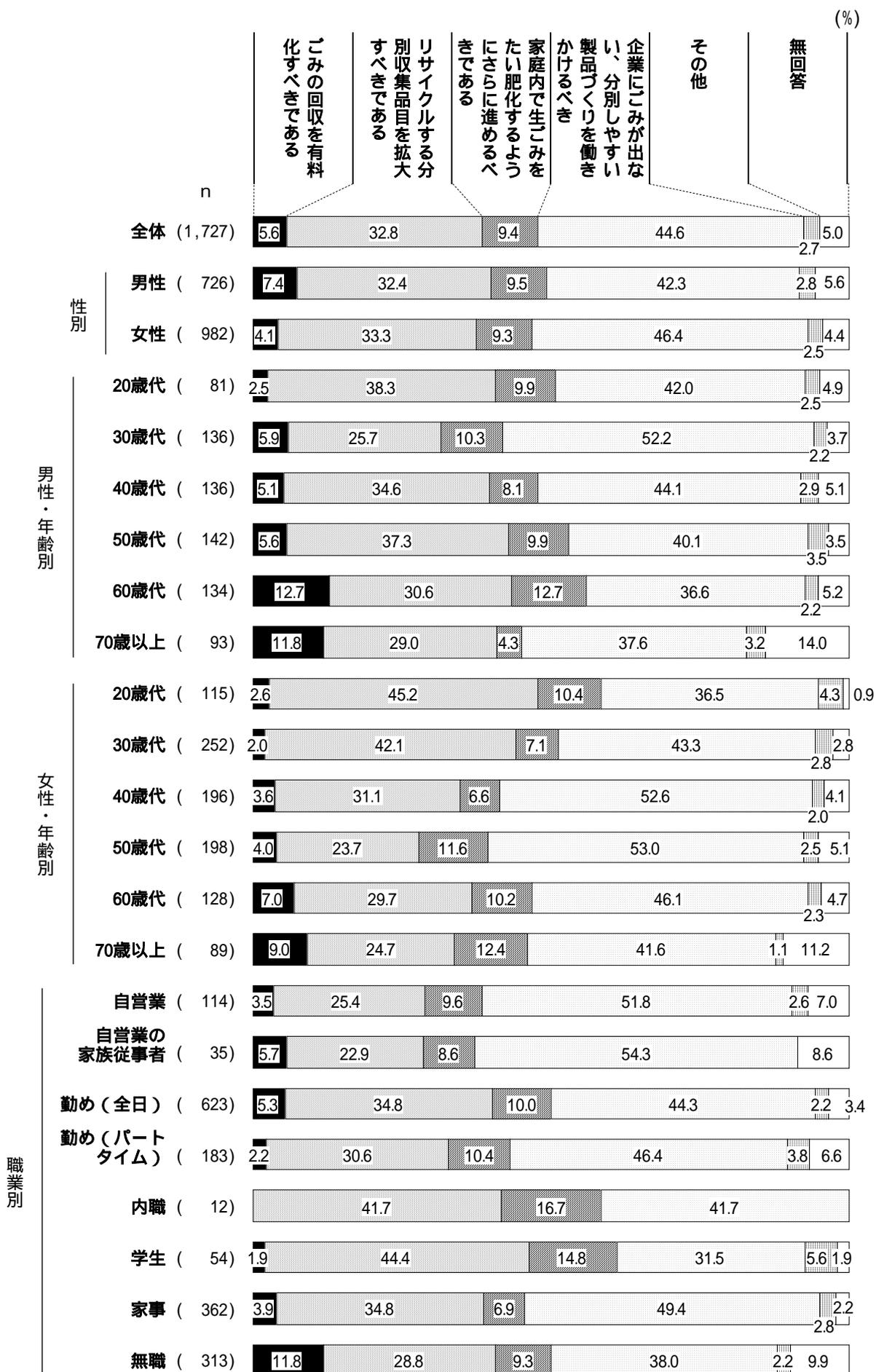
ごみを減らすためにすべき事を尋ねたところ、「企業にごみが出ない、分別しやすい製品づくりを働きかけるべきである」(44.6%)が最も多く、半数近くを占めている。次いで「リサイクルする分別収集品目を拡大すべきである」が32.8%と多い。(図表9-4)

性別でみても、大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「企業にごみが出ない、分別しやすい製品づくりを働きかけるべきである」は、男性では30歳代、女性では40歳代と50歳代で他の年齢に比べ高く、いずれも過半数を占めている。女性の20歳代では「リサイクルする分別収集品目を拡大すべきである」が最も多く、その割合は4割台半ばとなっている。

職業別では、「企業にごみが出ない、分別しやすい製品づくりを働きかけるべきである」は、“自営業”と“自営業の家族従事者”でやや高く、ともに過半数を占める。“学生”では「リサイクルする分別収集品目を拡大すべきである」が最も多く、4割台半ばの人が回答している。(図表9-5)

< 図表 9 - 5 > ごみを減らすためにすべき事 / 性別、性・年齢別、職業別



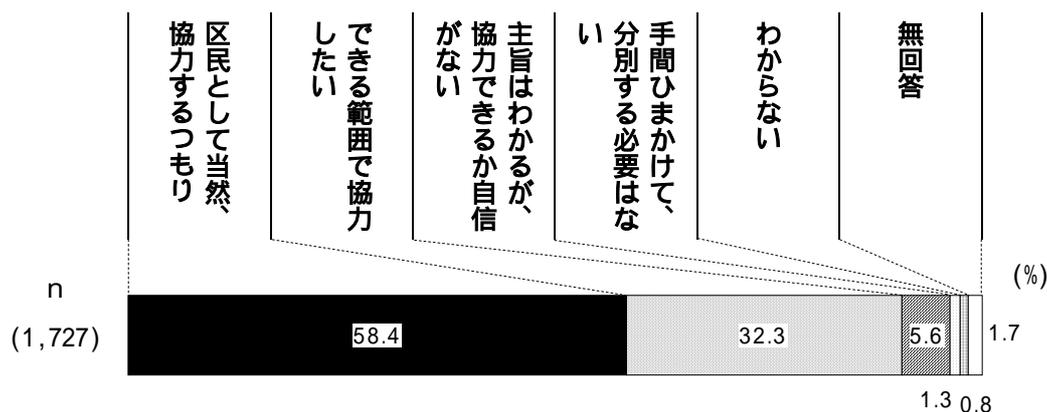
### ( 3 ) 家庭ごみの分別収集品目が増える事に対する考え

問 33 青葉区では、平成 17 年 4 月より、家庭ごみの分別収集の品目が次のように増えます。あなたは、このことについてどのようにお考えですか。( 1 は 1 つだけ )

【分別種類】

家庭ごみ 缶・びん・ペットボトル 古布	スプレー缶 粗大ゴミ	燃えないごみ 小さな金属類	使用済み乾電池 古紙(新聞、雑誌類、段ボール、紙パック)	プラスチック製容器包装
---------------------------	---------------	------------------	---------------------------------	-------------

< 図表 9 - 6 > 家庭ごみの分別収集品目が増える事に対する考え



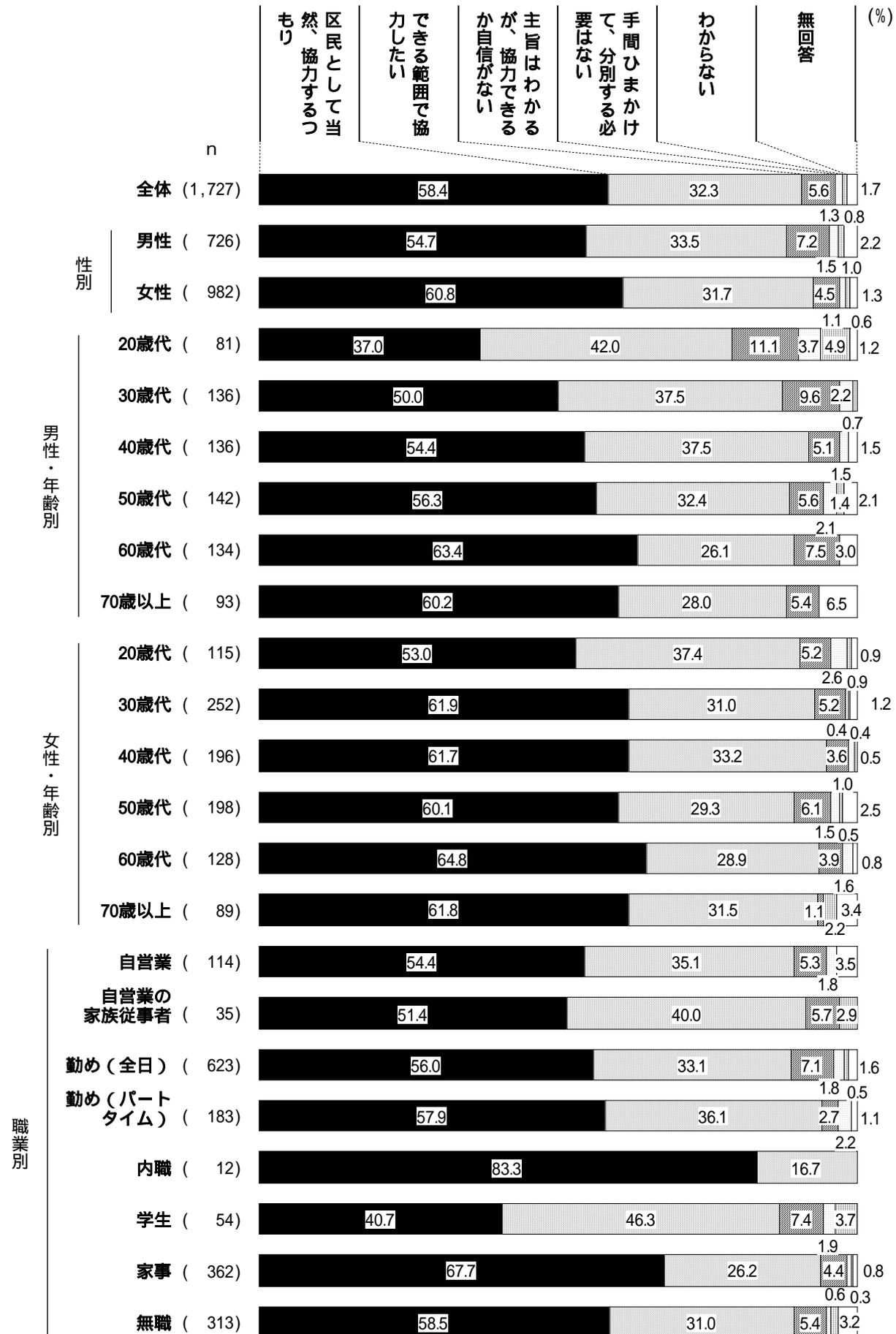
家庭ごみの分別収集品目が増える事について尋ねたところ、「区民として当然、協力するつもり」が 58.4% と多数を占める。また、「できる範囲で協力したい」が 32.3% となっており、ほとんどの人が分別収集の品目の増加に対して協力的であると言える。一方、「主旨はわかるが、協力できるか自信がない」は 5.6% となっている。( 図表 9 - 6 )

性別でみると、「区民として当然、協力するつもり」は女性の方が男性よりも高い割合を示している。

性・年齢別では、年代を超えて協力する意向が高いものの、男性の 20 歳代では他の年齢に比べやや低くなっている。

職業別では、「区民として当然、協力するつもり」は“家事”で特に高い割合を示し、6 割台半ばの人が回答している。一方、“学生”では他に比べやや協力への意向が低くなっている。( 図表 9 - 7 )

<図表9 - 7> 家庭ごみの分別収集品目が増える事に対する考え / 性別、性・年齢別、職業別



注1 / “内職”については基数が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

## 10 自由意見

この調査の最後の項目として、意見や提案を自由回答形式で求めたところ、1,727 人のうち 458 人から延べ 718 件の意見・提案が寄せられた。

以下は、回答内容を分類し、まとめたものである。1 人で複数の意見を回答している場合は、それぞれ 1 件として数えている。

最も意見が多かったのはごみ問題に関するもので、特に「分別の基準を明確にしてほしい」という要望が多くあげられている。

ごみ問題について	258件
分別の基準を明確にしてほしい	44
従来のごみ収集には問題があった・不思議だった	18
分別に協力する・賛成	18
分別したごみを置いておく場所がない・部屋がごみだらけになる	15
ごみの減量には企業や店の努力が必要	13
ごみの減量には市民の意識の向上が必要	13
分別することによるメリットやその後どうなるのかを知りたい	11
常時回収できる回収ボックス等を設置してほしい	10
不法投棄が心配・困っている	9
収集日や収集回数を増やしてほしい・減らさないでほしい	7
たばこやごみのポイ捨ての取締りをしてほしい	7
分別の主旨・目的を明確にしてほしい	7
ごみを正しく出せていない人がいる	7
ごみの分別にはPRが必要	6
ごみの分別・収集方法はなるべく単純分類にしてほしい	5
ごみ袋に町名や名前を記入した方が良い	5
ごみの有料化はしないほうが良い・負担の減少をしてほしい	5
リサイクル品を回収してほしい・情報がほしい	5
集積場をキレイにしてほしい	5
ごみを有料化したほうが良い	5
カラス対策をしてほしい	4
ごみの分別が上手く出来るか不安	4
ごみ収集の時間に問題がある	3

ごみ問題について	258件
生ごみ処理機の配付（補助金等）	3
従来のごみ収集のままだいい	3
ごみの分別に協力したくない・反対	3
ごみの集積場を大きくしてほしい・近くに設置してほしい	3
ごみ収集車のアナウンスの音量が少し大きい・夜間のマナーが悪い	2
分別ごみの回収方法に問題がある	2
粗大ごみをリサイクル品にしてはどうか	2
スーパーの袋やビニール袋の再利用の検討をしてほしい	2
ごみの個別回収を検討してほしい	2
粗大ごみの持込を行える処理場を設けてほしい	1
粗大ごみ等有料回収物の支払いはコンビニでも出来るようにしてほしい	1
ごみ収集車の音楽はいいと思う	1
ビールのペットボトル化はごみになるので反対	1
川崎ごみ処理場の臭いがきつく、頭が痛くなる	1
「燃えないごみ」を増やす事は環境面から考えてよくない	1
リサイクルセンターを使えるようにしてほしい	1
新規の住宅地開発の際は、ごみ集積所の設置を絶対条件にした方がよい	1
ごみの分別について知らなかった	1
今後も祝日にごみの回収をしてほしい	1
公共施設について	91件
文化センターや図書館の整備	19
各施設の職員の対応について	17
各施設の窓口業務等を土・日・祝にもしてほしい	8
公園の整備	7
各公共施設までが遠い	5
公共施設へのアクセスをよくしてほしい	5
様々な届出や処理が役所まで行かなくても出来るようにしてほしい	4
郵便局や銀行が近くにない	3
交番・派出所の設置	3
区役所や出張所・行政サービスコーナーを青葉台駅近所につくってほしい	2

<b>公共施設について</b>	<b>91件</b>
職員の意識向上・育成	2
区役所の駐車場の整備	2
子供達が気軽に相談できる所がほしい	1
子どもの国の駐車料金を割引・優待等をしてほしい	1
相談窓口を設置してほしい	1
保健所の検査日を増やしてほしい	1
公共施設が少ない	1
区内の貴重な遺跡や石造物について案内板や道標を整備してほしい	1
市の設備が北部に少ない	1
地区センターを増やしてほしい	1
青葉区民は町田市の施設を利用出来ず不公平	1
駅前開発をしてほしい	1
区役所別館を残してほしい	1
病院の増設・整備	1
スポーツ施設がほしい	1
地域ケアプラザの授乳室の設置	1
<b>防犯・治安・防災について</b>	<b>66件</b>
パトロールの強化	17
街灯の設置・メンテナンス	15
防犯対策の強化	12
安全な街づくり（子どもが安心して生活できる環境）	11
警察官を見かけない・交番にいない	5
騒音の取締りをしてほしい	4
地区に放送設備がほしい	1
防犯灯等の電気代を公共で負担してほしい	1

<b>道路・交通について</b>	<b>49件</b>
駅周辺の駐車・駐輪違反の取締り	17
駐車違反の取締り	12
駐車場の増設・整備	5
車・自転車のマナーが悪い	4
駐輪場の増設・整備	4
駅周辺の交通渋滞を減らしてほしい	3
住宅街を大型車が通行するのは危険	2
土日の車の渋滞を減らしてほしい	1
駐輪場の代金が高すぎる	1
<b>公共交通について</b>	<b>46件</b>
道路・歩道の整備が必要	18
バスや電車の本数を増やしてほしい・交通機関が不便	16
田園都市線の通勤ラッシュを改善してほしい	3
信号やミラーの取付をしてほしい	3
公立小学校へのバス通学の交通費の免除をしてほしい	2
電柱の撤去（電線の地中化）をしてほしい	1
R246の道路工事をなるべく早く終わらせてほしい	1
都内へのアクセスをよくしてほしい	1
バス代を安くしてほしい	1
<b>社会福祉について</b>	<b>33件</b>
子育て支援	11
高齢化対策	11
乳児歯科検診などの福祉サービスの充実	2
障害者のデイケア、ショートステイ、入所の為の施設の増設	2
医療費の公費負担の年齢を上げてほしい	2
介護者への手助け	1
子どもの教育資金の補助を幅広くしてほしい	1
子供の予防接種、検診を近所の診療所で実施できるようにしてほしい	1
高齢者、障害者等が安心して住める環境にしてほしい	1
小児医療助成に所得制限をもうけないでほしい	1

<b>アンケートについて</b>	<b>32件</b>
問題が多すぎる・分かりにくい	7
アンケート結果を有効活用してほしい	7
アンケートの主旨を明確にしてほしい	6
アンケート結果を広く公表・フィードバックしてほしい	5
調査が今後区政にどのように反映されるのか確認したい	3
色々な面で見直すいい機会になった	2
調査の意見に対する回答がほしい	2
<b>地域交流について</b>	<b>26件</b>
ボランティア活動をしたい・情報がほしい	7
自治会や町内会があるのか分からない	4
自治会等に参加していない・関心がない	4
自治会や町内会の必要性を感じない	3
回覧板が多い、期限が過ぎている	2
外国人との交流をはかる場を知りたい	1
子供に積極的に参加してもらえようイベントや講習を地域や学校と協力してほしい	1
人口増加により地域との関わりが希薄になるのはさびしい	1
青葉区民祭を盛り上げて行きたい	1
地域の広域避難場所が分からない	1
地域ぐるみで防犯や助け合いが出来るような街になるとよい	1
<b>自然・景観について</b>	<b>23件</b>
自然保護	7
街並の景観をよくしてほしい	7
土手・河川の整備	4
環境汚染の対策	2
商店等の商品や旗(のぼり)などの規制	2
車のディーゼル車規制を早く実現してほしい	1

教育について	15件
教育の中で、街づくりの意識をさせるようにしてほしい	4
公立中学・高校のレベルアップをしてほしい	2
教育水準と先生の資質が低い	2
幼～小学校レベルへの物心両面での投資をしてほしい	1
美しが丘西地区に小学校がほしい	1
青少年に対する健全なる指導教育をもっと真剣に考えるべき	1
教育改革に真剣に取り組んでほしい	1
親の育児の放棄が目につく	1
学区の見直しをしてほしい	1
中学校の給食導入を検討してほしい	1
その他	79件
住みやすい街づくりや区政に積極的に取り組んでほしい	13
税金の無駄遣いをしないでほしい・有益に使ってほしい	10
青葉区が好き・住みやすい	10
各種情報をもっと積極的にしてほしい	9
犬の飼い主のマナーが悪い・犬猫の糞尿の後始末	5
近くにスーパー・ディスカウントスーパーがほしい・買物が不便	3
居住物件（賃貸等）のあっせん、紹介をしてほしい	3
議員や公務員の人員・給料のカット	2
携帯電話の電波が悪い	2
区民に対する区役所の活動を（ボランティアや学習教室の開校など）増やしてほしい	2
各課の横のつながりをよくしてほしい	2
税金が高すぎる	2
公共事業の見直しをしてほしい	1
老人パワーの活用方を具体的に考えると元気な老人の生き甲斐につながるのではないかな？	1
施設や区からの情報などを利用していきたい	1
お店や駅、電車や会社等も冷暖房を過剰にしないでほしい	1
横浜市の財政が不安	1
青葉台駅周辺は青葉台 丁目と整理してほしい	1
急速な人口増加の為、マンション等の建築許可をもう出さないでほしい	1

その他	79件
各種制度が始まってしまうと効果や評価・改善活動が甘い	1
虹ヶ丘の大学、企業の原子力研究が不安	1
芸術文化レベルが低すぎる	1
日本一の劇団「四季」の本拠地があるのにアプローチも活用もしていないのはとても残念	1
携帯電話から市・区などへ意見・要望のメールを送れるようにしてほしい	1
小金持ちの町「横浜」を脱却すべき	1
その他	3

# 調查票

## 調査票

# 平成16年度青葉区区民意識調査

### 【調査ご協力をお願い】

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、青葉区では「青葉区区民意識調査」を実施することとなりました。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様様の日常生活について行動や意識を伺い、今後の区政の参考とするために行うものです。

なお、本調査は区内に居住する満20歳以上の方3,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

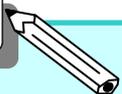
お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の結果は統計的に処理されますので、あなたのご意見が直接外部に公表されることは絶対にありません。また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。

平成16年9月

青葉区長 橋本 繁

ご記入にあたって



封筒のあて名のご本人様をご回答ください。

回答方法は、各設問の中で該当する回答（選択肢）の番号を で囲んでください。

の数は、（ は1つだけ）（ は2つまで）のように示してありますので、それに合わせてつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。

質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。特にことわり書きがない場合は、そのままお答えください。

鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

ご記入いただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月30日（木）までにご投函ください。（お名前の記入は不要です）

この調査に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

横浜市 青葉区 区政推進課 企画調整係 ☎045-978-2217

< あなたご自身について >

問1 あなたの性別は。( は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢は。( は1つだけ)

1 20～24歳	5 40～44歳	9 60～64歳
2 25～29歳	6 45～49歳	10 65～69歳
3 30～34歳	7 50～54歳	11 70～74歳
4 35～39歳	8 55～59歳	12 75歳以上

問3 あなたは、青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)に、いつからお住まいになっていますか。( は1つだけ)

1 昭和19年(1944年)以前	7 平成2年～6年(1990～1994年)
2 昭和20年～29年(1945～1954年)	8 平成7年～11年(1995～1999年)
3 昭和30年～39年(1955～1964年)	9 平成12年～14年(2000～2002年)
4 昭和40年～49年(1965～1974年)	10 平成15年以降(2003年～)
5 昭和50年～59年(1975～1984年)	11 わからない
6 昭和60年～平成元年(1985～1989年)	

問4 あなたが青葉区に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。  
( は1つだけ)

1 生まれてからずっと青葉区内	5 宮前区、麻生区を除く川崎市内
2 緑区、都筑区	6 横浜市、川崎市を除く神奈川県内
3 緑区、都筑区を除く横浜市内	7 東京23区内
4 宮前区、麻生区、町田市	8 その他( )

問5 あなたのお住まいはこの中のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 持家一戸建て	5 賃貸の公的共同住宅[公営・公団・公社等]
2 持家共同住宅[分譲マンション等]	6 社宅、寮、公務員住宅等
3 賃貸一戸建て	7 その他( )
4 賃貸の民間共同住宅[賃貸マンション、アパート等]	

問6 あなたの世帯の家族形態は、現在、この中のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 ひとり暮らし	4 親と子と孫 [三世代]
2 夫婦だけ	5 その他( )
3 親と子 [二世代]	

問7 あなたの住んでいる町は次のうちどちらですか。以下の選択肢は五十音順になっています。

( は1つだけ)

【あ】

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1 青葉台一丁目    | 14 美しが丘一丁目  | 27 荇田北一丁目 |
| 2 青葉台二丁目    | 15 美しが丘二丁目  | 28 荇田北二丁目 |
| 3 あかね台一丁目   | 16 美しが丘三丁目  | 29 荇田北三丁目 |
| 4 あかね台二丁目   | 17 美しが丘四丁目  | 30 荇田西一丁目 |
| 5 あざみ野一丁目   | 18 美しが丘五丁目  | 31 荇田西二丁目 |
| 6 あざみ野二丁目   | 19 美しが丘西一丁目 | 32 荇田西三丁目 |
| 7 あざみ野三丁目   | 20 美しが丘西二丁目 | 33 荇田西四丁目 |
| 8 あざみ野四丁目   | 21 美しが丘西三丁目 | 34 荇田西五丁目 |
| 9 あざみ野南一丁目  | 22 梅が丘      | 35 榎が丘    |
| 10 あざみ野南二丁目 | 23 荇子田一丁目   | 36 大場町    |
| 11 あざみ野南三丁目 | 24 荇子田二丁目   | 37 恩田町    |
| 12 あざみ野南四丁目 | 25 荇子田三丁目   |           |
| 13 市ヶ尾町     | 26 荇田町      |           |

【か】

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 38 柿の木台  | 41 上谷本町 | 44 黒須田 |
| 39 桂台一丁目 | 42 鴨志田町 |        |
| 40 桂台二丁目 | 43 鉄町   |        |

【さ】

- |          |            |            |
|----------|------------|------------|
| 45 桜台    | 50 新石川一丁目  | 55 すずき野二丁目 |
| 46 さつきが丘 | 51 新石川二丁目  | 56 すずき野三丁目 |
| 47 寺家町   | 52 新石川三丁目  | 57 すみよし台   |
| 48 下谷本町  | 53 新石川四丁目  |            |
| 49 しらとり台 | 54 すずき野一丁目 |            |

【た】

- |             |        |          |
|-------------|--------|----------|
| 58 たちばな台一丁目 | 60 田奈町 | 62 つつじが丘 |
| 59 たちばな台二丁目 | 61 千草台 |          |

【な】

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 63 奈良町   | 66 奈良三丁目 | 69 成合町 |
| 64 奈良一丁目 | 67 奈良四丁目 |        |
| 65 奈良二丁目 | 68 奈良五丁目 |        |

【は】

- |           |           |  |
|-----------|-----------|--|
| 70 藤が丘一丁目 | 71 藤が丘二丁目 |  |
|-----------|-----------|--|

【ま】

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 72 松風台   | 75 緑山   | 78 もみの木台 |
| 73 みすずが丘 | 76 もえぎ野 |          |
| 74 みたけ台  | 77 元石川町 |          |

【わ】

- |        |  |  |
|--------|--|--|
| 79 若草台 |  |  |
|--------|--|--|

問8 あなたの職業はどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 自営業	6 学生
2 自営業の家族従事者	7 家事
3 勤め(全日)	8 無職
4 勤め(パートタイム)	9 その他( )
5 内職	

→(問11へ)

< 通勤・通学について >

問9～問10は、問8で「1」～「6」のいずれかを回答した方のみお答えください。

問9 あなたの通勤、通学先はどちらですか。( は1つだけ)

1 自宅	6 宮前区、麻生区を除く川崎市内
2 青葉区内	7 横浜市、川崎市を除く神奈川県
3 緑区、都筑区	8 東京23区内
4 青葉区、緑区、都筑区を除く横浜市内	9 その他( )
5 宮前区、麻生区、町田市	

問10 通勤・通学のため、自宅からどちらの駅を普段利用していますか。( は1つだけ)

1 たまプラーザ駅	7 田奈駅	13 センター北駅
2 あざみ野駅	8 長津田駅	14 センター南駅
3 江田駅	9 恩田駅	15 玉川学園駅
4 市が尾駅	10 こどもの国駅	16 柿生駅
5 藤が丘駅	11 十日市場駅	17 その他( )
6 青葉台駅	12 中山駅	18 普段、駅は利用しない

問11 あなたの自宅から最寄り駅まで(問10で回答した方はその駅まで)は主に何を利用して行きますか。( は1つだけ)

1 徒歩	3 バイク	5 自家用車
2 自転車	4 バス	6 その他( )

問12 あなたの自宅から最寄り駅まで、上記の交通手段で通常(出社・登校するとき)何分かかりますか。( は1つだけ)

1 3分以内	4 15分程度
2 5分程度	5 20分程度
3 10分程度	6 25分以上

< 買い物について >

問13 ふだんの買い物や、たまに行く買い物の買い物先は、主にどちらですか。また、その際の主な交通手段は何ですか。( はそれぞれ1つずつ)

(1) 買い物に行く場所

	み野 青葉台、たまプラーザ、あざみ野	その他の青葉区内	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	新横浜駅周辺	横浜・桜木町・元町	1～5以外の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内	その他( )
記載例 ----->	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(ア) ふだんの買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(イ) たまに行く買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(2) 主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他( )
(ア) ふだんの買い物	1	2	3	4	5	6	7
(イ) たまに行く買い物	1	2	3	4	5	6	7

問14 この1年間で以下のような方法での買い物をしたことがありますか。( はいいくつでも)

1 通販カタログ	4 共同購入
2 テレビショッピング	5 お店の配達
3 インターネット	6 いずれも利用していない

< 日常生活について >

問15 あなたは、次の（ア）～（ケ）の生活環境についてどの程度満足していますか。

（ はそれぞれ1つずつ）

	満足	やや満足	どちらとも いえません	やや不満	不満
記載例 ----->	①	2	3	4	5
（ア）自然環境	1	2	3	4	5
（イ）歴史・文化	1	2	3	4	5
（ウ）良好な街並み	1	2	3	4	5
（エ）日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
（オ）医療サービスの状況	1	2	3	4	5
（カ）福祉サービスの状況	1	2	3	4	5
（キ）教育や文化水準の高さ	1	2	3	4	5
（ク）近所とのつきあい	1	2	3	4	5
（ケ）通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5

問16 あなたが日々の生活の中で、不足もしくは不便と思われる事は何ですか。（ は3つまで）

1 公園・緑地	11 病院・診療所
2 ごみのリサイクル・減量化	12 図書館
3 道路の幅員	13 スポーツ施設
4 駅の駐輪場	14 公民館・地区センターなど
5 駅の駐車場	15 女性の働く場所
6 日常の交通手段（バス・鉄道）	16 高齢者のための施設
7 保育園・幼稚園	17 障害者のための施設
8 小学校、中学校	18 交番・警察
9 子どもの遊び場や子育て支援のための施設	19 その他（ ）
10 日用品の店	20 特になし

< 地域活動・地域社会について >

問17 あなたは、今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげるような地域の活動に参加した事がありますか。（はいくつでも）

- 1 自治会・町内会活動
- 2 まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション
- 3 道路や公園・マンションの庭などの清掃活動
- 4 子供会・婦人会・老人クラブへの参加
- 5 福祉・保健のボランティア活動
- 6 自然環境や公園・河川の保全に関する活動
- 7 街づくりに関する活動
- 8 地域の防災や防犯に関する活動
- 9 音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動
- 10 共同購入・生協活動などの消費者活動
- 11 子育てサークル
- 12 P T A活動
- 13 古着の回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動
- 14 隣近所の人たちとのホームパーティー等の交流
- 15 その他（ ）
- 16 特に何もしていない -----> （問17 - 1へ）

（問17で「16 特に何もしていない」とお答えの方に）

問17 - 1 参加していない理由は何ですか。（は2つまで）

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 興味がない            | 4 近所と関わりを持つことが煩わしい  |
| 2 仕事などが忙しく参加する暇がない | 5 住んでいる地域以外で活動をしている |
| 3 近所づきあいがいい        | 6 その他（ ）            |

問18 あなたは、この1～2年の間に職業以外の社会的活動（ボランティアやN P O〔民間非営利団体〕など、自分の持つ力を社会に役立てようと市民自らが行う活動）を行ったことがありますか。（はいくつでも）

- 1 社会福祉に関する活動（高齢者や障害者等の介護、身の回りの世話、給食、保育など）
- 2 保健・医療に関する活動（病院ボランティア、検診の手伝いなど）
- 3 学習活動に関する指導等の活動（料理、書道、語学の指導など）
- 4 国際交流・協力に関する活動（通訳、技術援助、留学生援助など）
- 5 児童・青少年育成に関する活動（ボーイスカウト、ガールスカウトの指導など）
- 6 スポーツ・レクリエーションに関する活動（スポーツレクリエーション指導、学校クラブ活動指導など）
- 7 防災・災害救助に関する活動（自主防災活動、災害ボランティアなど）
- 8 防犯・安全に関する活動（児童生徒の通学途上における防犯、高齢者交通安全活動など）
- 9 まちづくりに関する活動（建築協定や地区計画に関する活動など）
- 10 自然・環境保護に関する活動（自然観察、環境美化、リサイクル活動など）
- 11 人権擁護に関する活動（男女共同参画、平和促進など）
- 12 その他（ ）

問19 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか。( は1つだけ)

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1 加入している  | 3 わからない |
| 2 加入していない |         |

(問19で「2 加入していない」とお答えの方に)

→問19 - 1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。( は2つまで)

- |                    |
|--------------------|
| 1 加入することの利益を感じないから |
| 2 いろいろな役をやらされそうだから |
| 3 近所づきあいが煩わしい      |
| 4 加入を勧誘されなかったから    |
| 5 その他( )           |
| 6 自治会・町内会がない       |
| 7 活動をしているかわからない    |

問20 あなたは、自治会や町内会の加入について、どう思われますか。( は1つだけ)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 住民全員が加入すべき                    |
| 2 できるかぎり住民全員が加入すべき              |
| 3 自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき |
| 4 任意なのだから加入してもしなくてもよい           |
| 5 わからない                         |

問21 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか。( は1つだけ)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 家族のように親しくつきあっている | 4 あいさつをする程度   |
| 2 家に行き来したり、親しく話をする | 5 ほとんどつきあいがいい |
| 3 ときどき話をする程度       |               |

問22 あなたは、この1年の間に、下記の施設を利用したことがありますか。(はいいくつでも)

1 山内地区センター	18 青葉区生涯学習支援センター (区役所別館内)
2 藤が丘地区センター	19 市民活動支援センター市が尾プラザ (区役所別館内)
3 若草台地区センター	20 青葉区民文化センター(フィリアホール)
4 美しが丘西地区センター	21 くろがね青少年野外活動センター
5 奈良地区センター	22 美しが丘こどもログハウス
6 大場みすずが丘センター	23 山内図書館
7 鴨志田コミュニティハウス	24 緑図書館(緑区)
8 さつきが丘コミュニティハウス	25 ユートピア青葉(老人福祉センター)
9 山内コミュニティハウス	26 荏田地域ケアプラザ
10 桂台コミュニティハウス	27 もえぎ野地域ケアプラザ
11 すずき野コミュニティハウス	28 奈良地域ケアプラザ
12 青葉台コミュニティハウス	29 さつきが丘地域ケアプラザ
13 青葉公会堂	30 美しが丘地域ケアプラザ
14 青葉スポーツセンター	31 大場地域ケアプラザ
15 新石川スポーツ会館	32 鴨志田地域ケアプラザ
16 寺家ふるさと村四季の家	33 長津田地域ケアプラザ(緑区)
17 青葉国際交流ラウンジ (区役所別館内)	

< 情報・インターネットについて >

問23 あなたが、普段、最もよく利用している情報源は何ですか。(は1つ)

1 テレビ	5 ラジオ
2 新聞	6 インターネット
3 本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	7 友人・知人など
4 ミニコミ紙・タウン情報紙・広報誌など	8 その他( )

問24 あなたは、現在、電子メールのやりとりやホームページの閲覧などインターネット(携帯電話・PHSによるEメールを含む)を利用していますか。(は1つだけ)

1 利用している ----->(問24 - 1、問24 - 2へ)	2 利用していない ---->(問24 - 3へ)
-----------------------------------	---------------------------

(問24で「1 利用している」とお答えの方に)

問24-1 あなたは、インターネットをどちらで利用していますか。また、その際どのような機器を利用していますか。

【利用場所】( はいくつでも )

1 自宅	3 上記以外の外出先・移動中
2 職場・学校	4 その他( )

【利用機器】( はいくつでも )

1 パソコン	2 携帯電話・PHS	3 その他( )
--------	------------	----------

(問24で「1 利用している」とお答えの方に)

問24-2 インターネットをどのような目的で利用していますか。( はいくつでも )

1 電子メール	5 チャットや掲示板
2 ホームページの閲覧	6 ホームページを通じての情報発信
3 ソフトのダウンロード	7 その他( )
4 インターネット通信販売	

(問24で「2 利用していない」とお答えの方に)

問24-3 利用していない理由は何ですか。( は2つまで )

1 インターネットを利用できる情報機器を持っていない
2 インターネットにかかる料金が高い
3 インターネットを利用するための手続き・作業が面倒
4 操作方法などが難しい
5 インターネットを利用する必要性を感じない
6 その他( )

< 区役所との関わりについて >

問25 あなたは、横浜市や青葉区の広聴を利用した事がありますか。( はいくつでも )

1 市長への手紙	4 区役所あてに電子メールの送付
2 明日への提案箱(青葉区)	5 その他( )
3 インターネット市政提案箱	6 利用した事はない

問26 あなたは、この1年の間に、青葉区役所に何回いらっしゃった事がありますか。( は1つだけ)

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1 月1回以上    | 4 この1年の間には区役所に行っていない |
| 2 数ヶ月に1回程度 |                      |
| 3 年に1回程度   |                      |

(問26で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

→問26 - 1 その時の用事は何でしたか。( はいくつでも)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 住民票の手続き                          |
| 2 戸籍の手続き                           |
| 3 予防接種、健診など                        |
| 4 税金の手続きや証明書の取得                    |
| 5 健康保険や年金の届出・請求手続き                 |
| 6 その他の各種制度の申請手続き(子育てや高齢者介護、医療助成など) |
| 7 戸籍・年金・税金に関する相談                   |
| 8 福祉・保健・生活衛生に関する相談                 |
| 9 地域活動やまちづくりなどに関する相談               |
| 10 団体の活動                           |
| 11 区で行われる行事への参加                    |
| 12 その他( )                          |

### < 防災・防犯について >

問27 あなたは、普段、災害への備えを何かしていますか。( はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 消火器を備えている                  |
| 2 非常食・非常用飲料水を備えている           |
| 3 医薬品を備えている                  |
| 4 避難場所を確認している                |
| 5 家具の転倒防止等をしている              |
| 6 地域の防災訓練に参加している             |
| 7 家族で年に1～2回は災害時の事について話し合っている |
| 8 その他( )                     |
| 9 特に何もしていない                  |

問28 あなたは、ひったくり、強盗などの街頭の犯罪に遭わないため、どのようなことに気を付けていますか。( はいくつでも )

- 1 夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている
- 2 自転車に乗るときは、カゴに防犯ネットを使用している
- 3 バッグは車道と反対の方に持つようにしている
- 4 防犯ブザーなどを所持している
- 5 家の人に自動車などで送り迎えをしてもらう
- 6 その他( )
- 7 特に何もしていない

問29 あなたは、空き巣狙いなどの被害に遭わないため、どのようなことをしていますか。( はいくつでも )

- 1 玄関のドアの鍵・錠を高度なものに換えた
- 2 玄関のドアに鍵・錠を2個以上取り付けた
- 3 防犯カメラを設置した
- 4 留守にするとき近所に声かけをする
- 5 番犬を飼った
- 6 窓に補助の鍵・錠をつけた
- 7 窓に格子をつけた
- 8 垣根や生垣を低くして、玄関や窓を周囲から見通せるようにしている
- 9 塀の周りには足場になるものを置かない
- 10 明かりをつけたままにする
- 11 警備会社のサービスを導入した
- 12 その他( )
- 13 特に何もしていない

問30 あなたは、犯罪を未然に防止するためには、区民としてどのような取り組みが有効だと思いますか。( は2つまで )

- 1 犯罪発生情報の提供
- 2 防犯講習会の実施
- 3 学校・幼稚園・保育園での生活安全教育の実施
- 4 地域ぐるみの防犯パトロールの強化
- 5 防犯灯などの防犯設備の充実
- 6 その他( )
- 7 わからない

< ごみ減量について >

問31 あなたのご家庭では、ごみを減らすために普段から何か気をつけていることはありますか。  
( はいくつでも )

- 1 余分なものを買わないようにしている
- 2 自宅で生ごみ処理をしている
- 3 使い捨て商品はなるべく買わないようにしている
- 4 過剰包装は断るようになっている
- 5 詰め替え製品をよく使う
- 6 丈夫なものを選び長く使う、修理して使う
- 7 ごみの分別を徹底し、資源を集団回収や市の回収に出している
- 8 買い物に行く時は買い物袋を持参している
- 9 その他( )
- 10 特に何もしていない

問32 あなたは、ごみを減らすために、特にどのようなことをするべきだと思いますか。( は1つだけ )

- 1 ごみの回収を有料化すべきである
- 2 リサイクルする分別収集品目を拡大すべきである
- 3 家庭内で生ごみをたい肥化するようにさらに進めるべきである
- 4 企業にごみが出ない、分別しやすい製品づくりを働きかけるべきである
- 5 その他( )

問33 青葉区では、平成17年4月より、家庭ごみの分別収集の品目が次のように増えます。あなたは、このことについてどのようにお考えですか。( は1つだけ )

【分別種類】

家庭ごみ 缶・びん・ペットボトル 古布	スプレー缶 粗大ゴミ	燃えないごみ 小さな金属類	使用済み乾電池 古紙(新聞、雑誌類、段ボール、紙パック)	プラスチック製容器包装
---------------------------	---------------	------------------	---------------------------------	-------------

- 1 区民として当然、協力するつもり
- 2 できる範囲で協力したい
- 3 主旨はわかるが、協力できるか自信がない
- 4 手間ひまかけて、分別する必要はない
- 5 わからない

この他、ご意見やご提案などございましたら、ご記入ください。

長い時間ご協力いただきまして、ありがとうございました。  
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、  
9月30日(木)までにご投函ください。

平成 17 年 2 月発行

青葉区民意識調査  
報告書

企画・編集・発行 / 横浜市 青葉区 区政推進課 企画調整係  
横浜市青葉区市ヶ尾町 31-4

☎ 045-978-2217

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター  
東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号

☎ 03-3802-6724